

勝山市
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
アンケート調査結果

令和 6 年 5 月
勝山市

目 次

I 調査の概要

ページ番号

1	調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	実施要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	集計にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1

II 調査結果

1	回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	子どもの家族の状況等・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	子どもの育ちをめぐる環境・・・・・・・・・・・・	4
4	保護者の就労状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・・	13
6	地域の子育て支援事業の利用状況・・・・・・・・	18
7	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・	20
8	病気の際の対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
9	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預	27
10	放課後の過ごし方・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
11	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支	36
12	子育て環境及び支援・・・・・・・・・・・・・・・・	40
13	自由記述意見のまとめ・・・・・・・・・・・・・・	45

資料 アンケート調査票（未就学児童調査票、小学生調査票）

I 調査の概要

1 調査目的

子ども・子育て支援法に基づき令和2年3月に策定した勝山市子ども・子育て支援事業計画が令和6年度末をもって終了することから、勝山市における教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現状と課題を分析・整理し、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした第3期勝山市子ども・子育て支援事業計画策定のための基礎資料とするため、住民のアンケート調査を実施しました。

2 実施要領

- ・調査地域 勝山市全域
- ・調査対象 未就学児童調査：未就学児のいる全世帯の保護者 567人
小学生調査：小学生のいる全世帯の保護者 683人
(1世帯に2人以上いる場合は、年齢の小さい子どもについて回答)
- ・調査期間 令和6年1月15日(月)～令和6年1月30日(火)
- ・調査方法 利用施設を通じての配布・回収及び郵送による配布・回収
- ・回収結果 未就学児童調査：配布数567件、回収数512件、回収率90.3%
小学生調査：配布数683件、回収数655件、回収率95.9%

3 集計にあたって

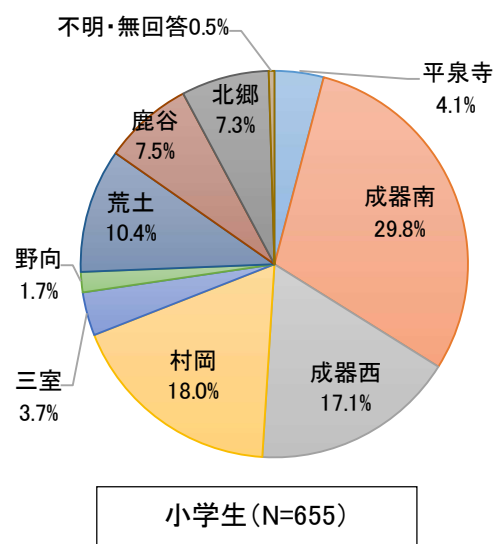
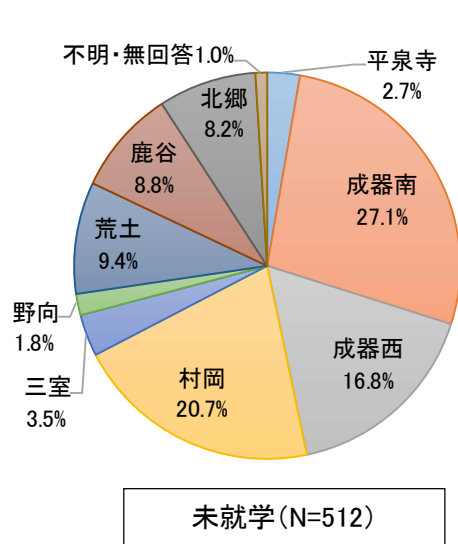
- ・回答結果の割合「%」は回収数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入し小数点第1位まで算出したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100%に満たないまたは100%を超える場合があります。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、集計結果の合計が100%を超えることがあります。
- ・図表中において「不明・無回答」には、無効回答(選んだ選択肢の判別が困難なもの、択一回答の設問で複数の選択肢を選んでいるものなど)が含まれます。
- ・グラフ及び表の「N」は、各設問における回答者数です。
- ・一部、選択肢を省略して表記している場合があります。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

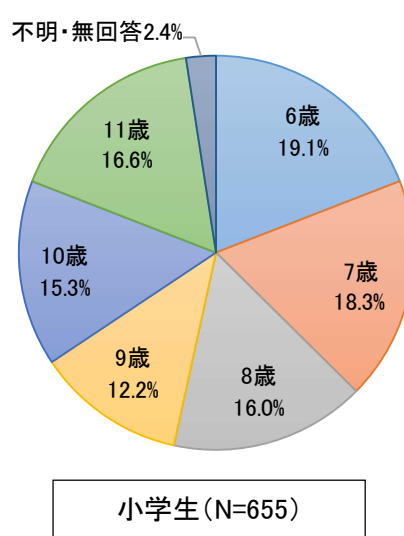
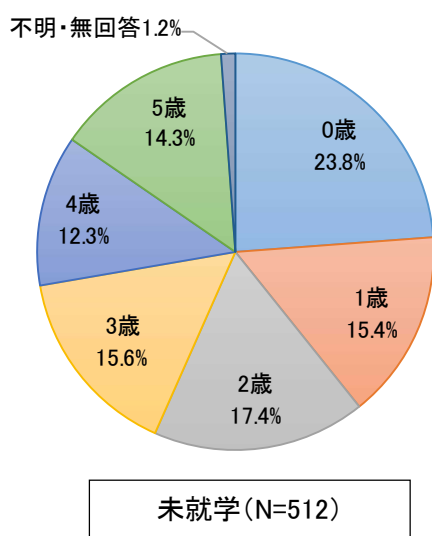
問1 居住地（小学校区）

住んでいる小学校区については、未就学児童の保護者（以下「未就学」といいます。）、小学生児童の保護者（以下「小学生」といいます。）ともに「成器南」が最も多く、次いで「村岡」、「成器西」となっています。



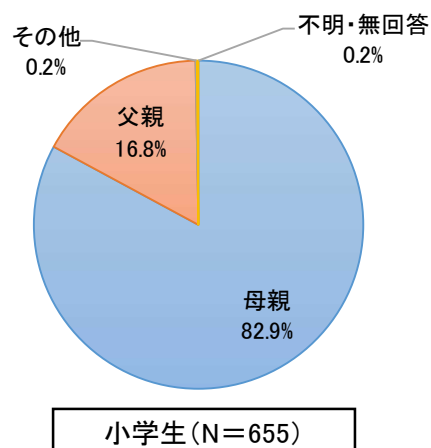
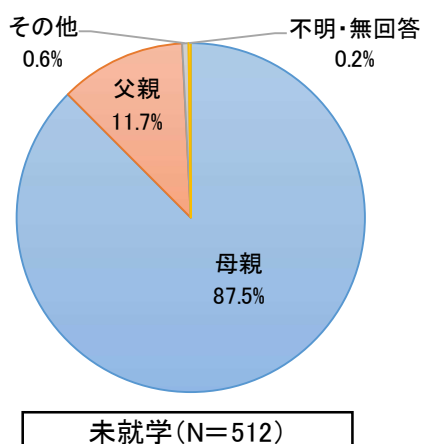
問2 子どもの年齢

お子さんの年齢は下記のような割合になっています。



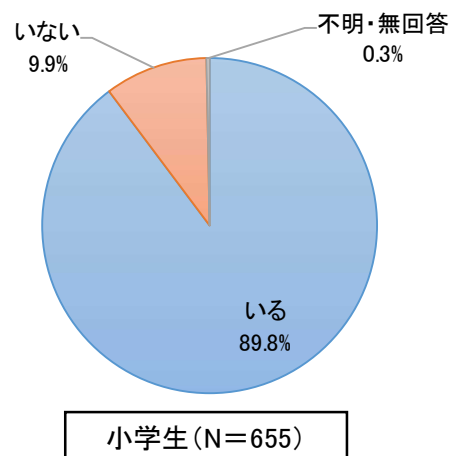
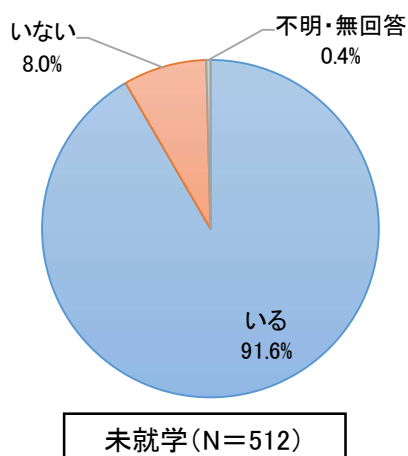
問3 調査票の回答者の子どもからみた続き柄

回答者については、「母親」が未就学で87.5%、小学生で82.9%となっています。



問4 調査票回答者の配偶者の有無

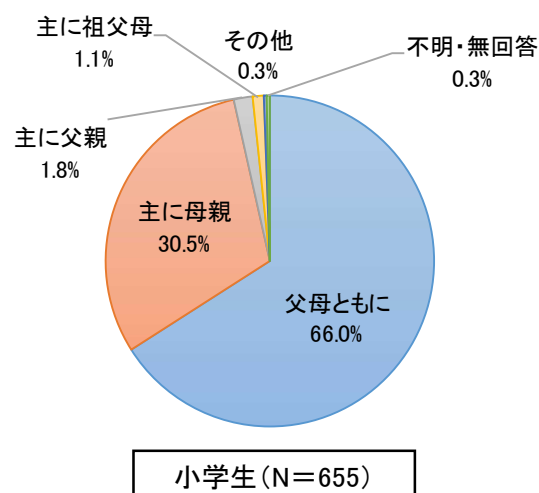
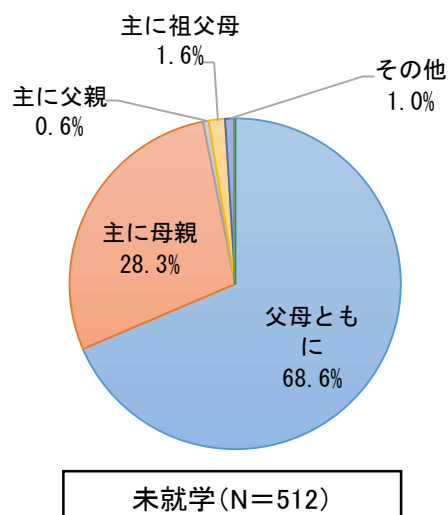
回答者の配偶者の有無については、「いる」が未就学で91.6%、小学生で89.8%となっています。



2 子どもと家族の状況等

問5 家庭内で子どもに対し主に子育て・教育する人

「父母ともに」が未就学で68.6%、小学生で66.0%と最も多くなっています。

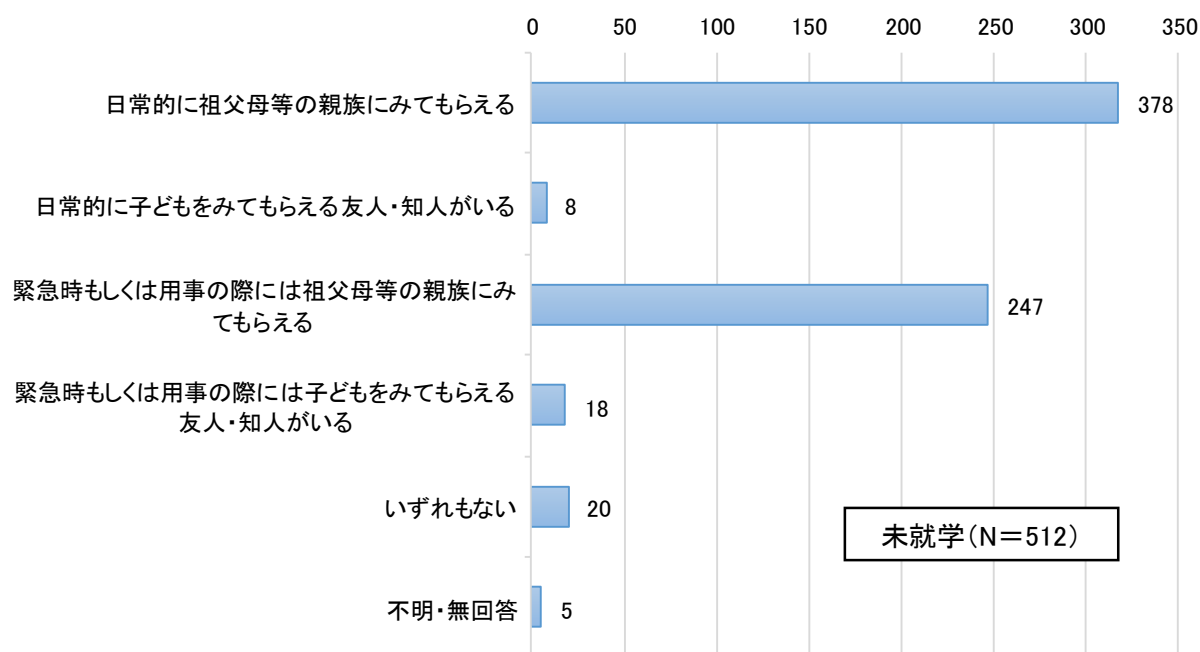


3 子どもの育ちをめぐる環境

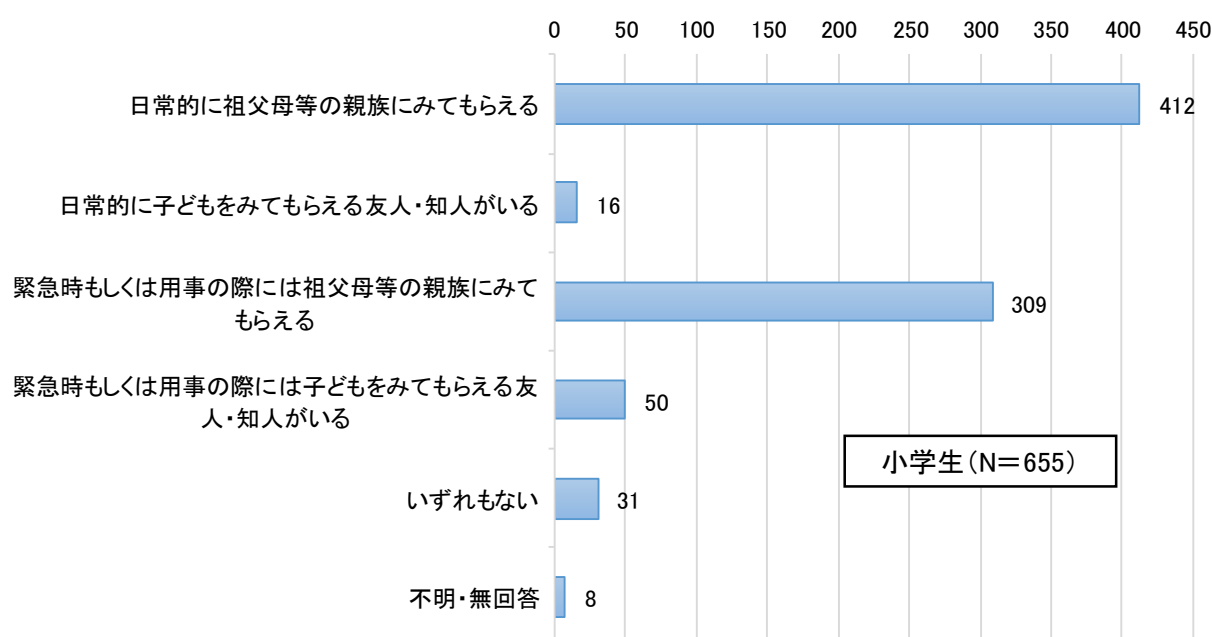
問6 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

未就学、小学生ともに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、次いで、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」となっています。

(人)

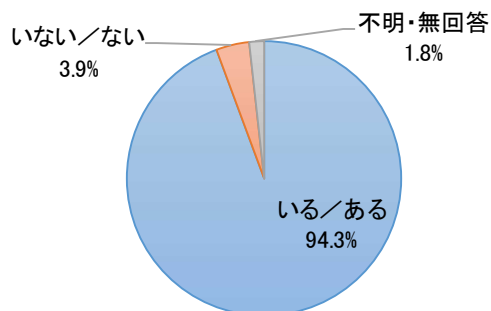


(人)

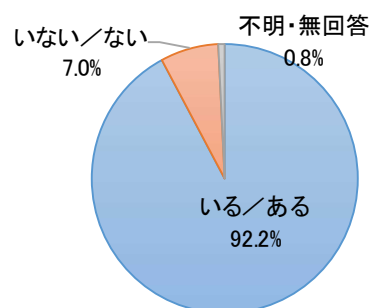


問7 子どもの子育て・教育に関する相談者・相談場所の有無

お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人・場所の有無については、「いる／ある」が未就学で94.3%、小学生で92.2%となっています。



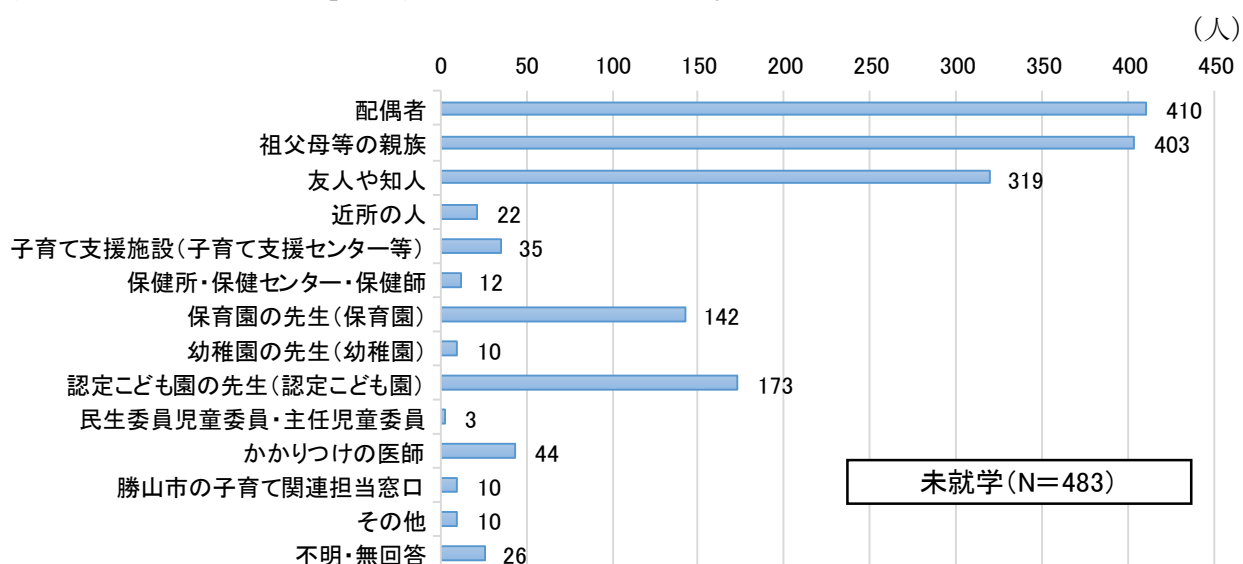
未就学(N=512)



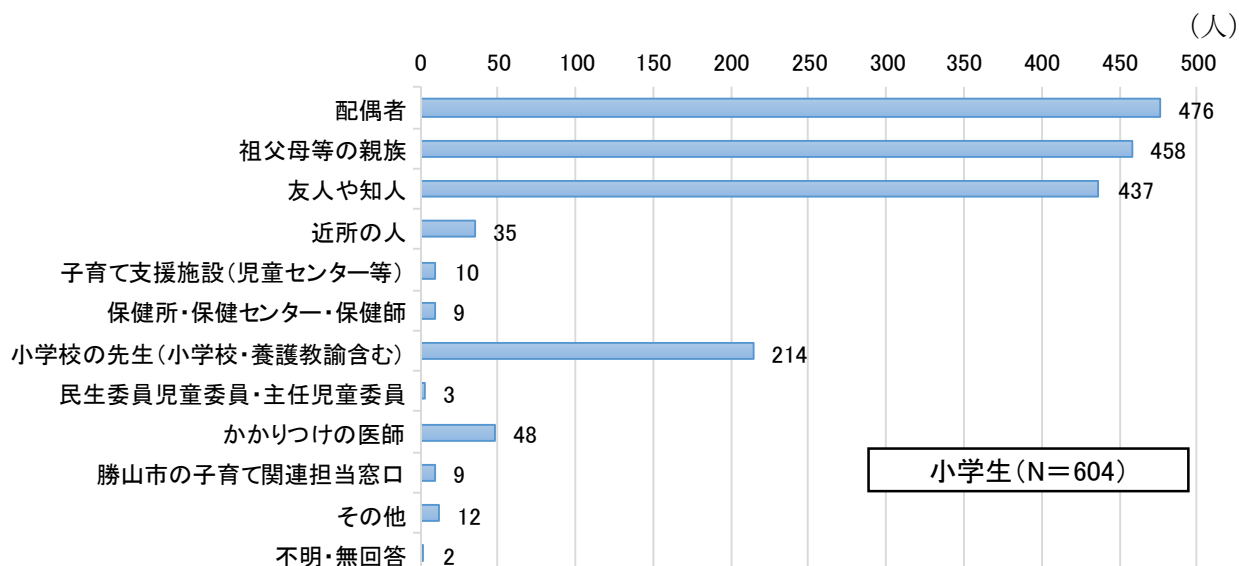
小学生(N=655)

問7-1 子どもの子育て・教育に関する相談者・相談場所（複数回答）

気軽に相談できる人・場所が「いる／ある」の回答のうち、その相談先については、未就学、小学生とも「配偶者」が最も多くなっています。



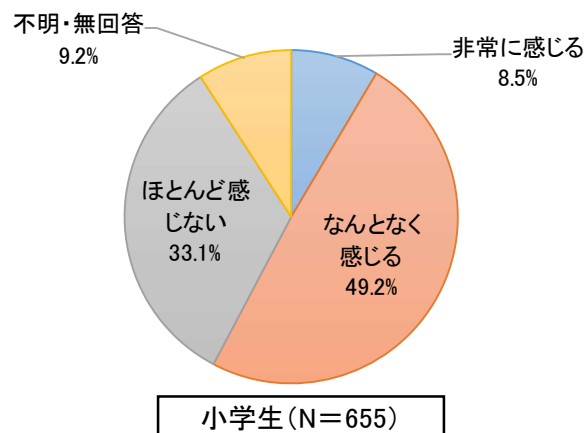
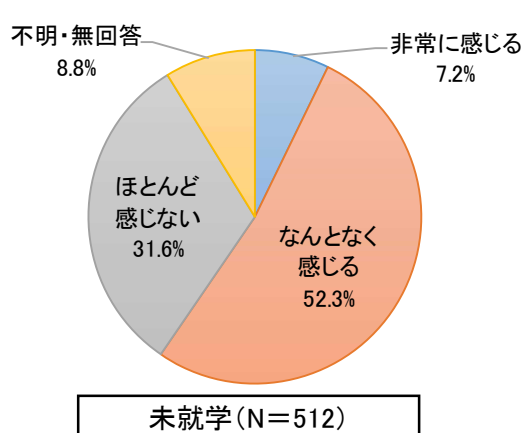
未就学(N=483)



小学生(N=604)

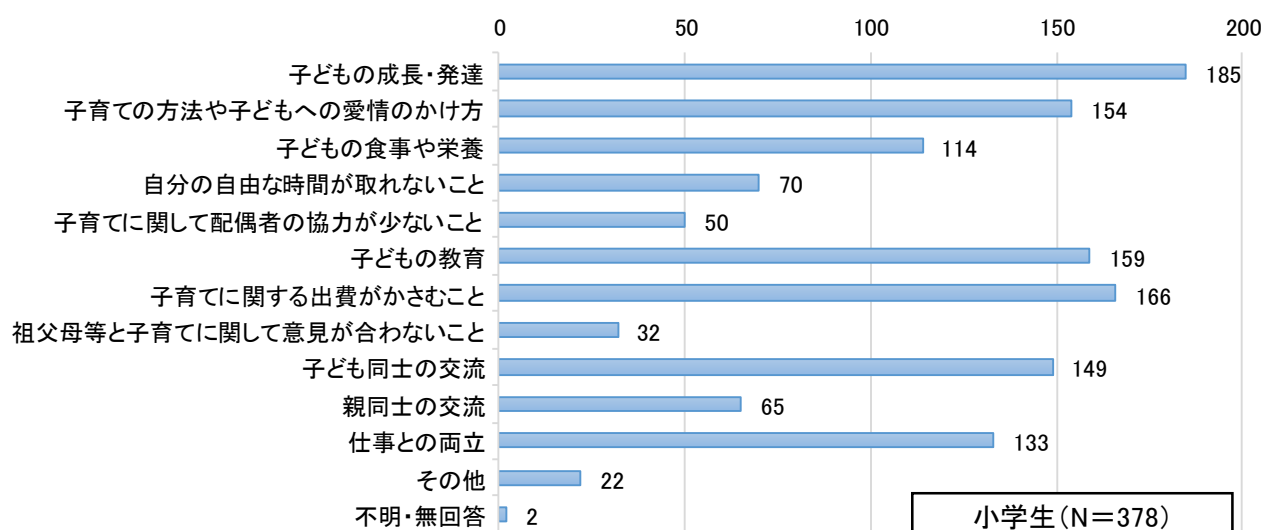
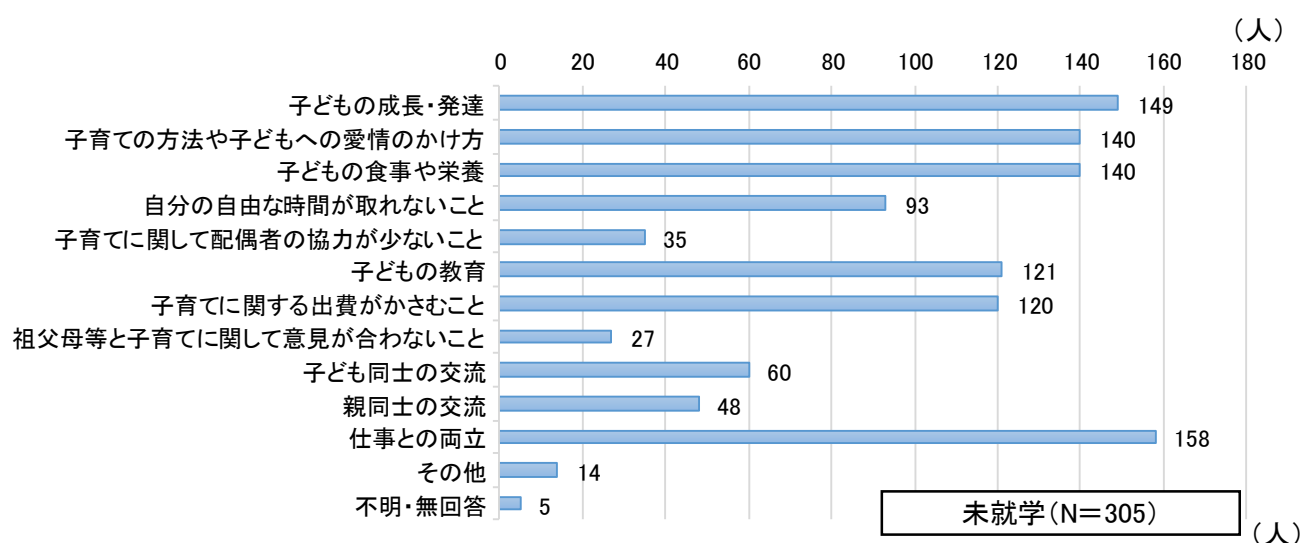
問7-2 子育てに関する不安や負担の有無

子育てに関する負担や不安については、未就学、小学生ともに、「非常に感じる」または「なんとなく感じる」と回答した方の割合が6割近くとなっています。



問7-3 子育てに関する不安や負担の感じている理由（複数回答）

未就学では、「仕事との両立」、小学生では「子どもの成長・発達」が多くなっています。

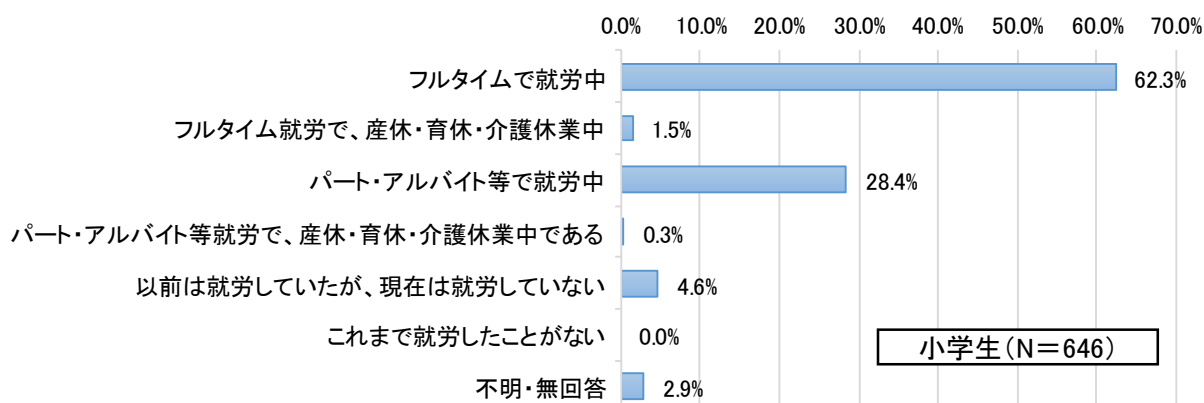
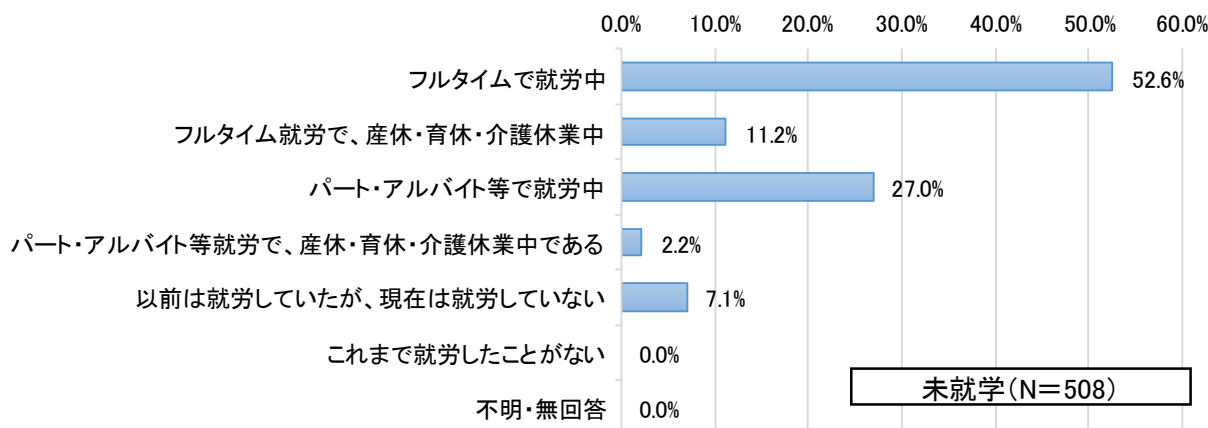


4 保護者の就労状況

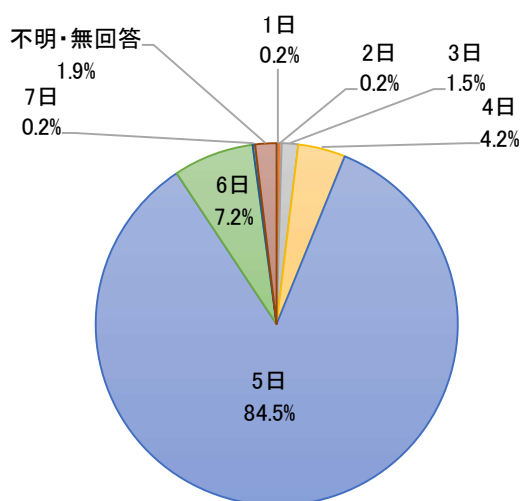
問8 保護者の就労状況

(1) 母親

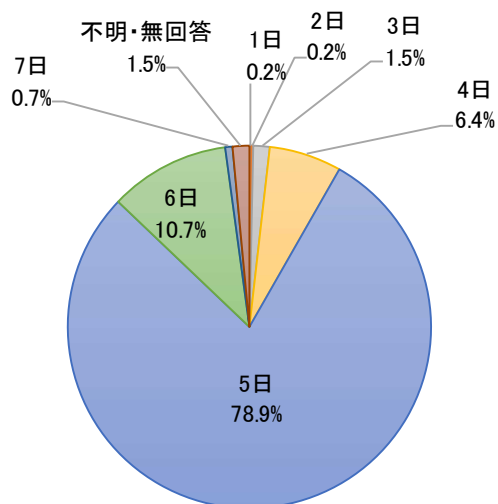
母親の就労状況については、未就学、小学生ともに「フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっています。



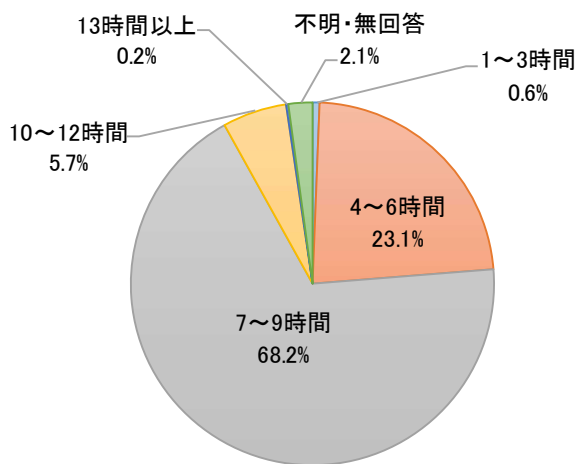
(1) -1 1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間



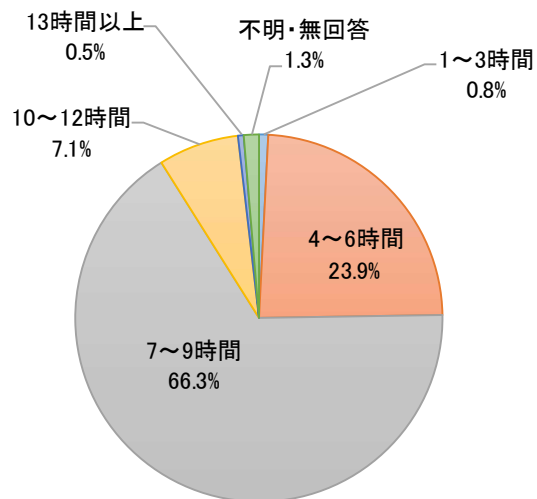
未就学: 母親の就労日数(N=472)



小学生: 母親の就労日数(N=606)

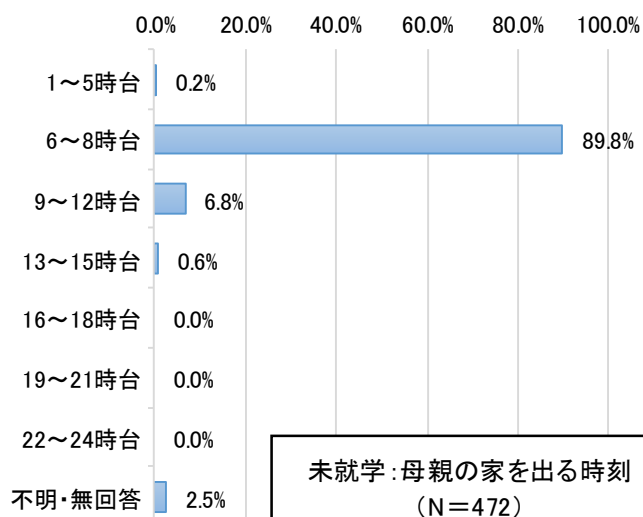


未就学：母親の就労時間(N=472)

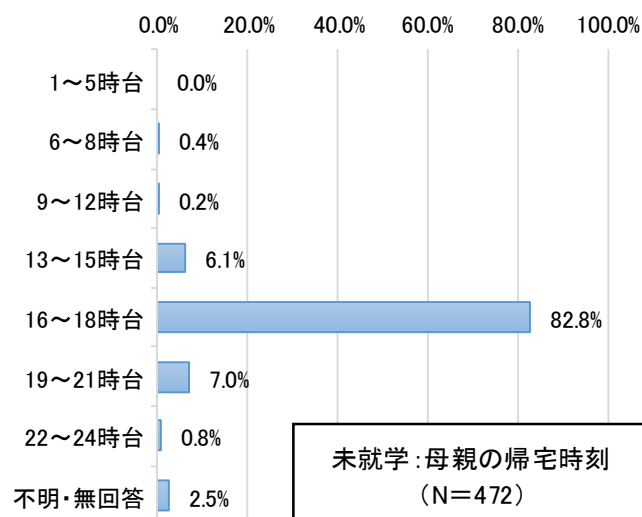


小学生：母親の就労時間(N=606)

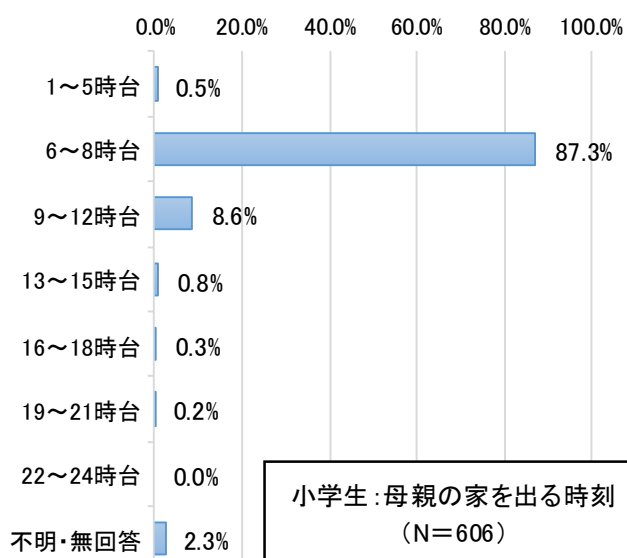
(1) - 2 家を出る時刻及び帰宅時刻



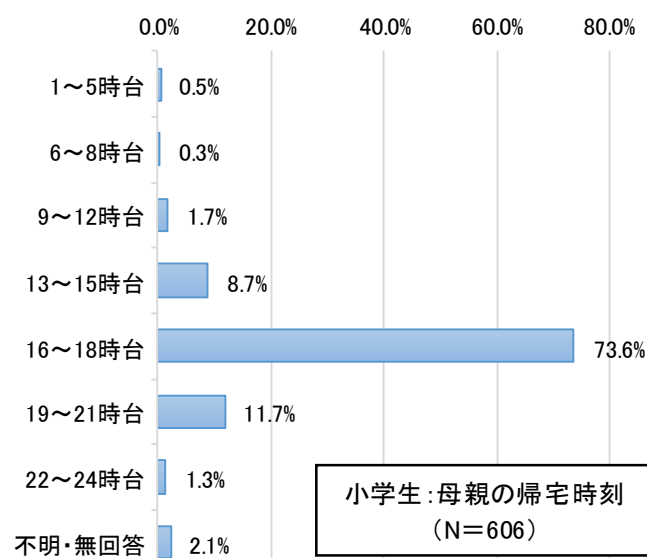
未就学：母親の家を出る時刻
(N=472)



未就学：母親の帰宅時刻
(N=472)



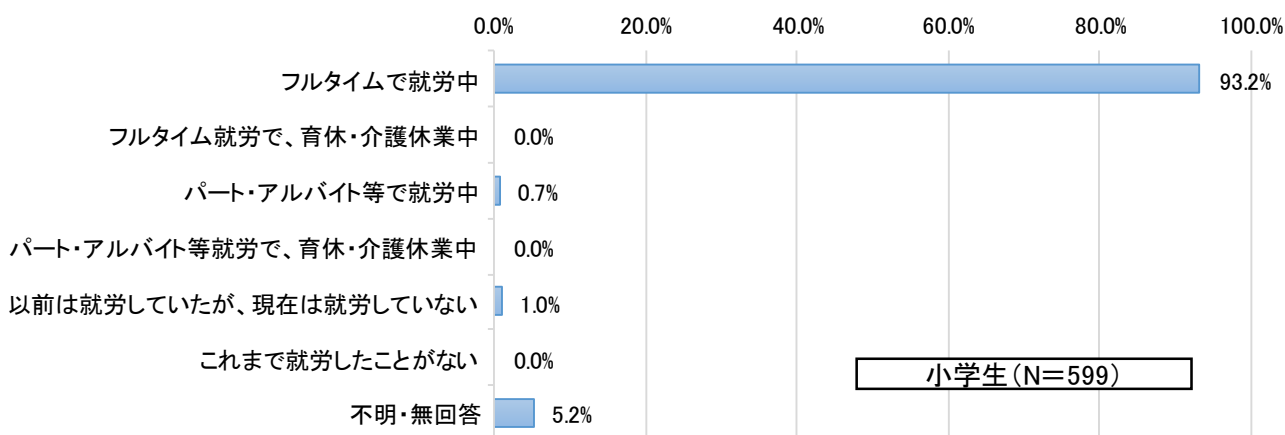
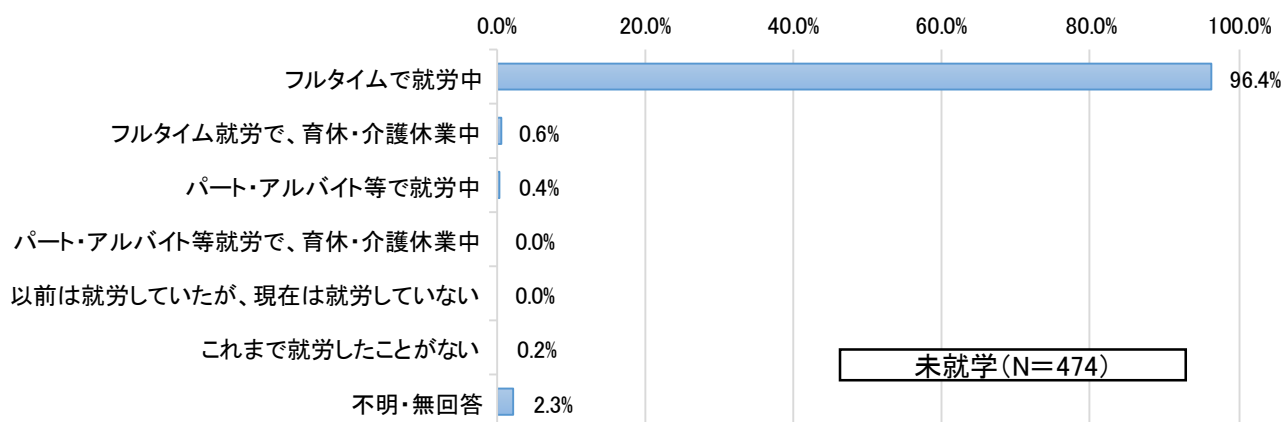
小学生：母親の家を出る時刻
(N=606)



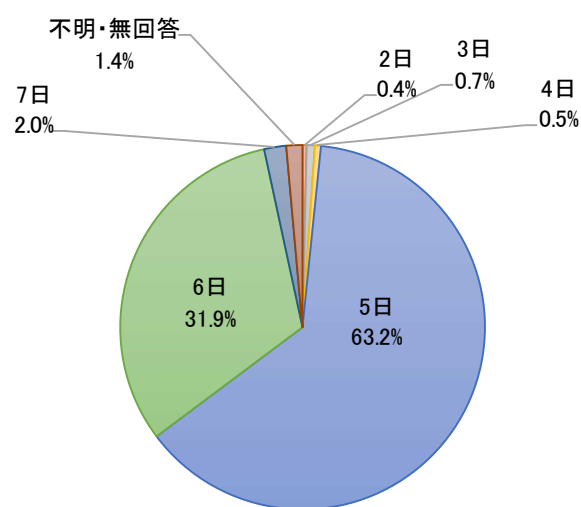
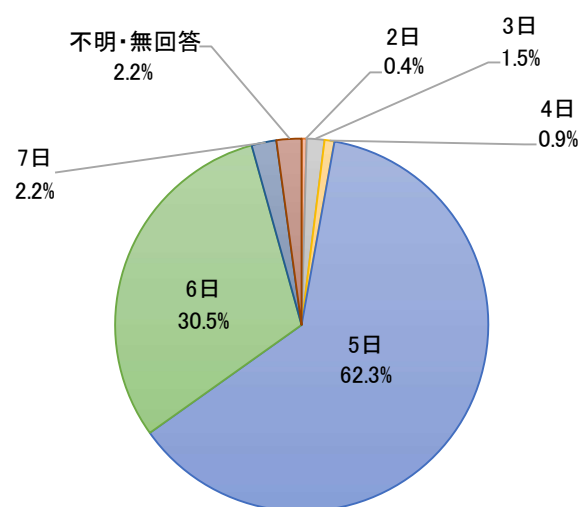
小学生：母親の帰宅時刻
(N=606)

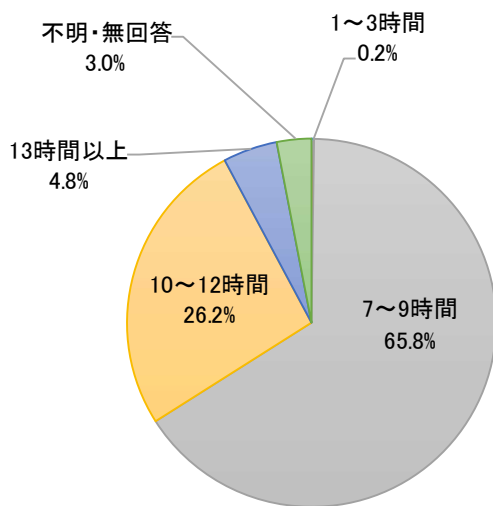
(2) 父親

父親の就労状況については、未就学、小学生ともに「フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が大多数を占めています。

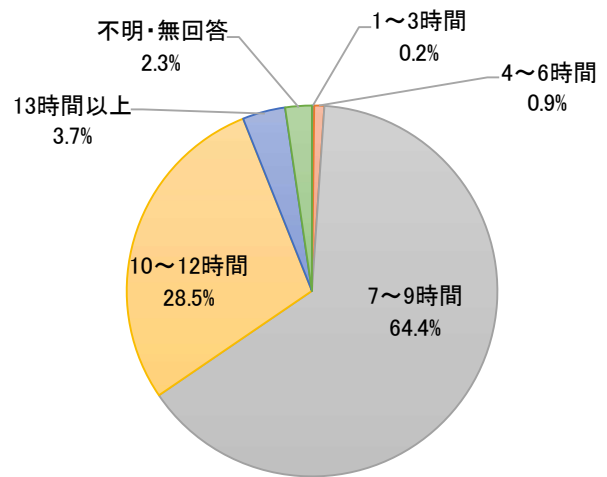


(2) - 1 1週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間



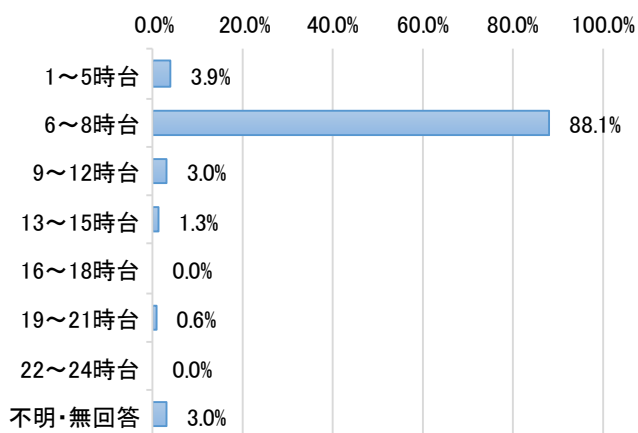


未就学：父親の就労時間 (N=462)

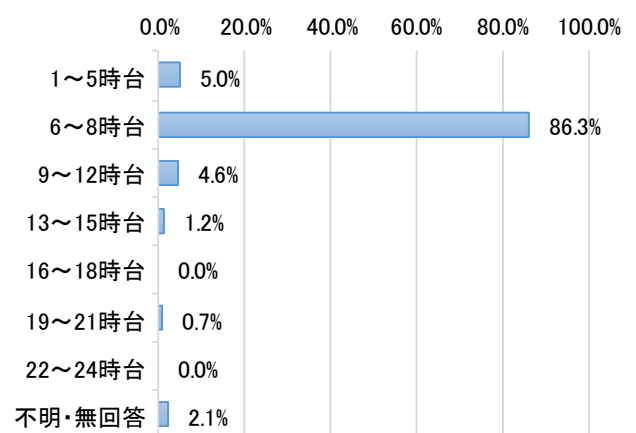


小学生：父親の就労時間 (N=562)

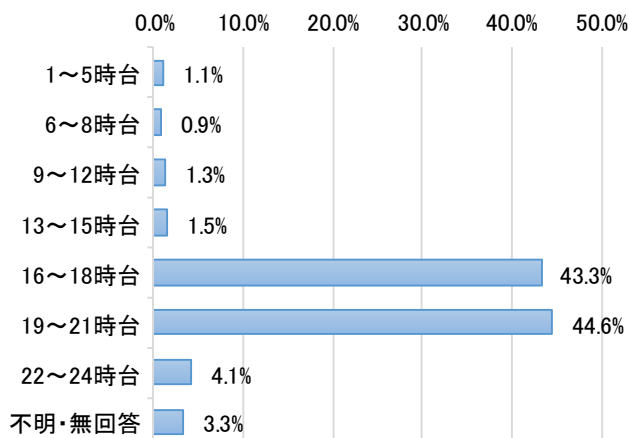
(2) - 2 家を出る時刻及び帰宅時刻



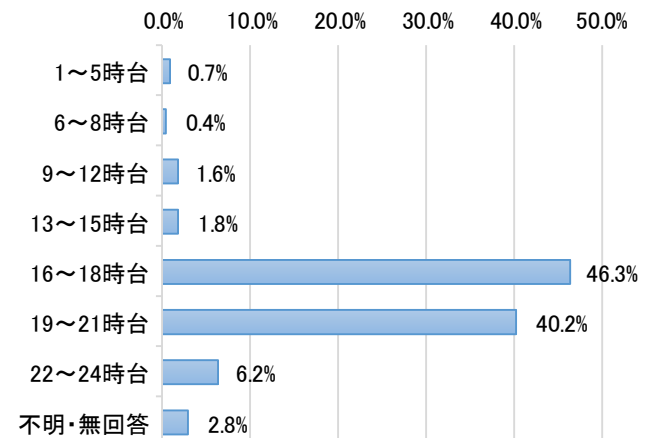
未就学：父親の家を出る時刻 (N=462)



小学生：父親の家を出る時刻 (N=562)



未就学：父親の帰宅時刻 (N=462)

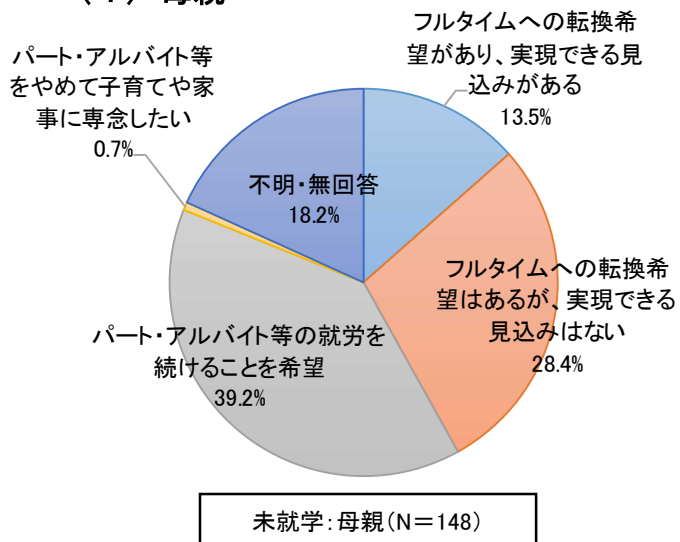


小学生：父親の帰宅時刻 (N=562)

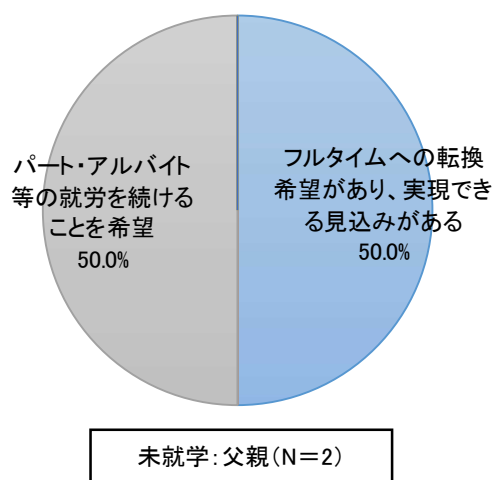
問9 パート・アルバイトの方のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで就労している場合のフルタイムへの転換希望については、母親では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が39.2%と最も多くなっています。

（１）母親



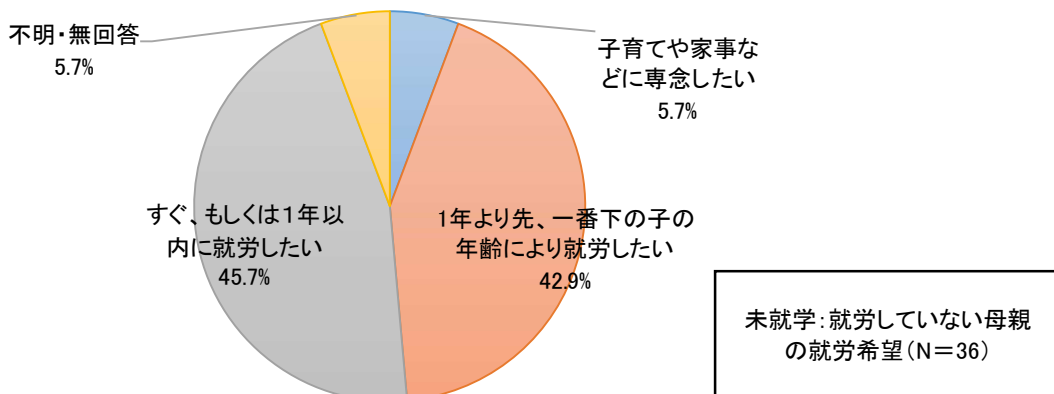
（２）父親



問10 就労していない方の就労希望

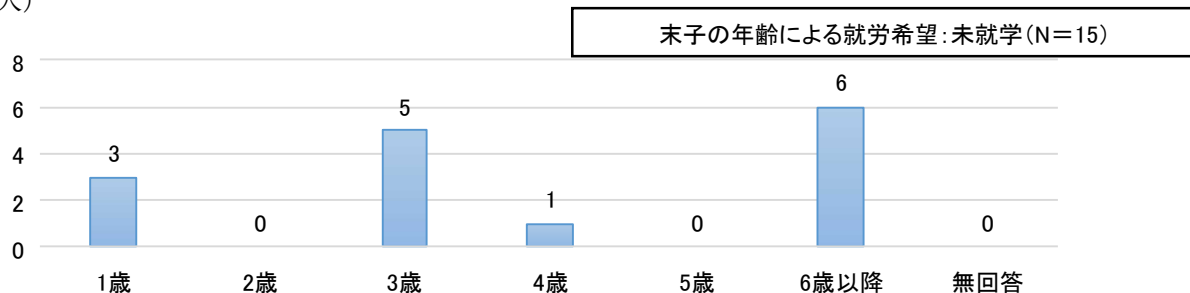
（１）母親

母親で以前就労していたが現在は就労していない、または就労したことがない場合の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が45.7%と最も多くなっています。

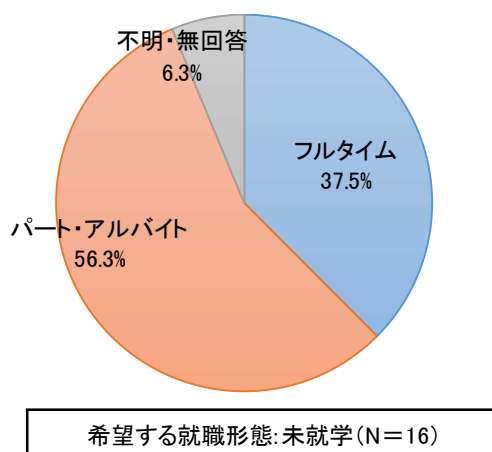


「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」と回答した方の、一番下の子の年齢による就労希望

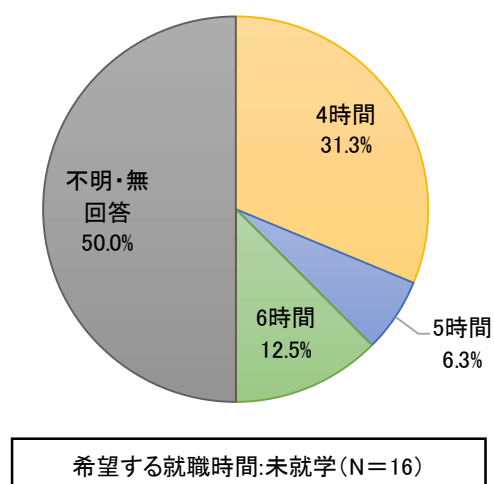
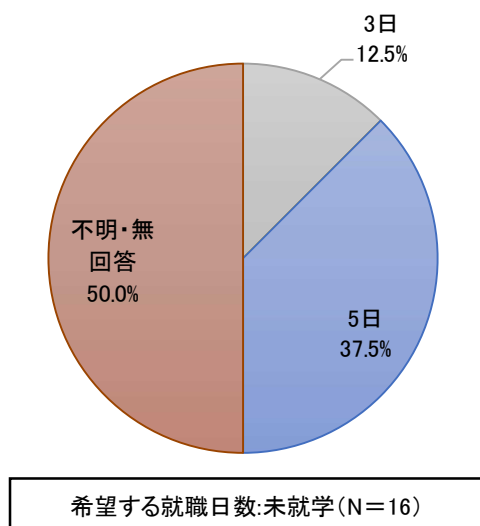
(人)



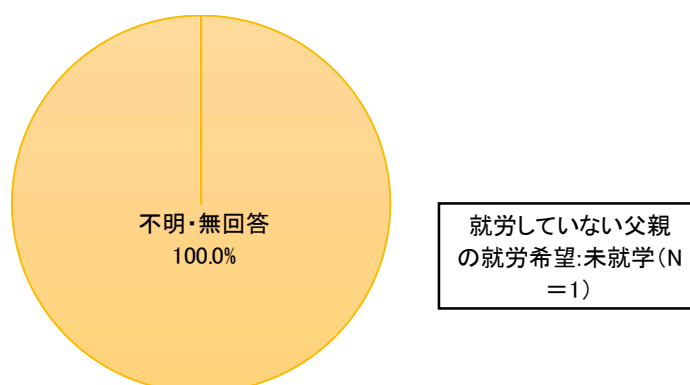
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態



パート・アルバイトの希望する日数・時間



(2) 父親



「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」と回答した方の、一番下の子の年齢による就労希望

該当なし

「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態

該当なし

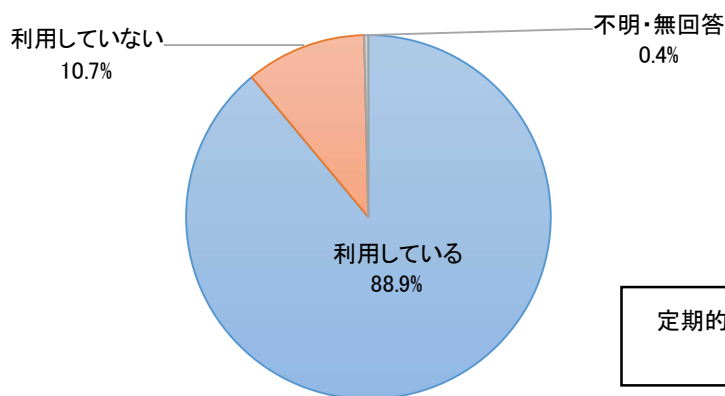
パート・アルバイトの希望する日数・時間

該当なし

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

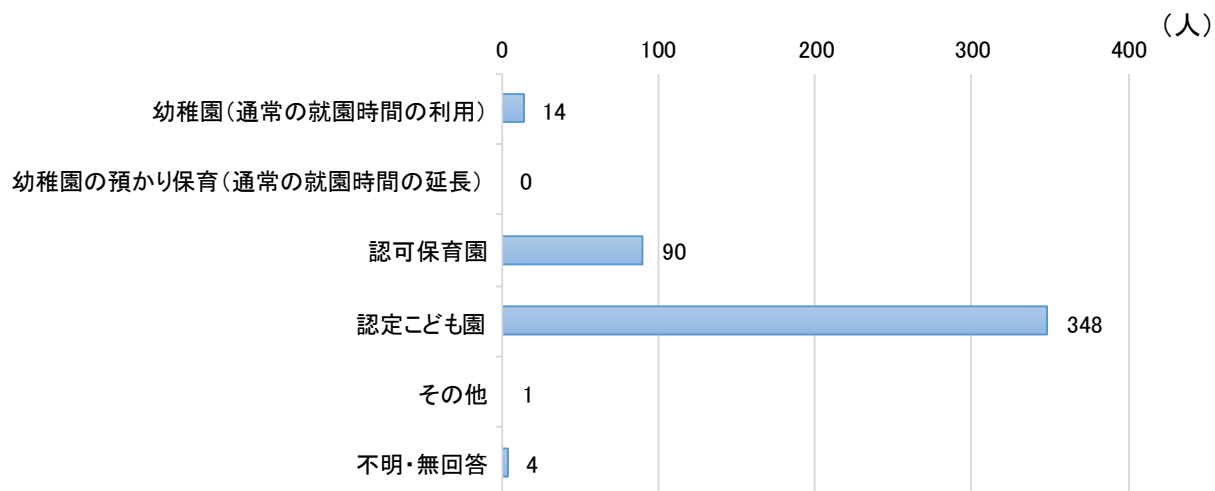
問１１ 幼稚園、保育園などの定期的な利用の有無

幼稚園や保育園、認定こども園などの定期的な教育・保育事業の有無については、「利用している」が88.9%となっています。



問１１－１ 幼稚園、保育園などの定期的な利用状況（複数回答）

平日の定期的な教育・保育事業の利用については、「認定こども園」が最も多く、次いで「認可保育園」となっています。

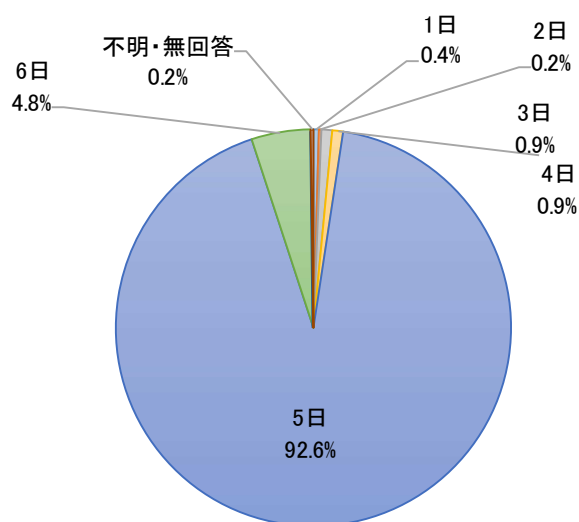


定期的な利用状況:未就学 (N=457)

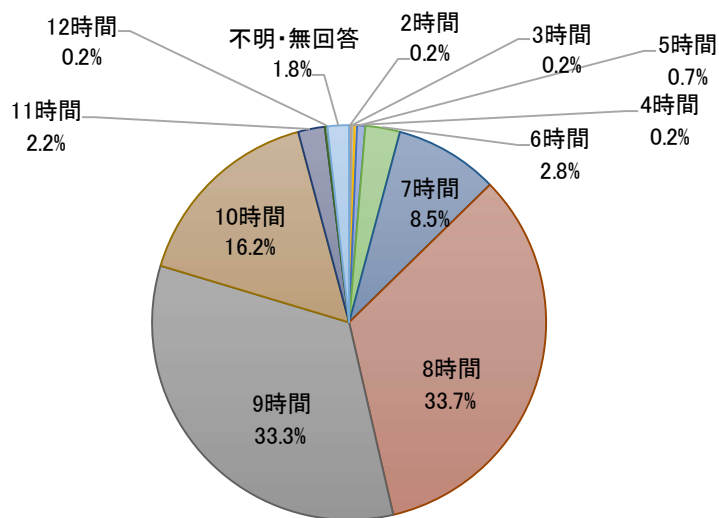
問 1 1-2 平日の定期的な教育・保育事業の利用頻度・時間、利用希望

(1) 現在

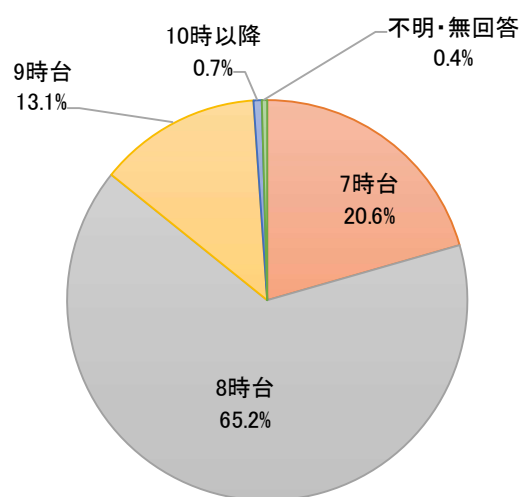
平日の定期的な教育・保育事業の利用日数については、1週当たり「5日」が92.6%と最も多く、1日当たりの利用時間については「8時間」が33.7%と最も多くなっています。また、利用開始時刻は「8時台」が65.2%と最も多く、利用終了時刻は「17時台」が46.8%と最も多くなっています。



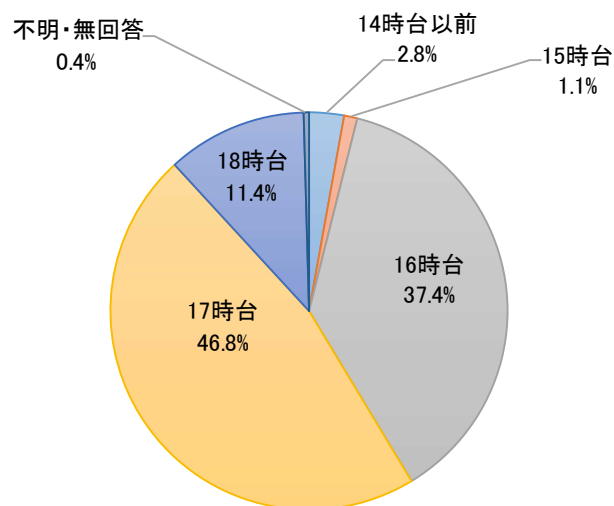
定期的な利用日数：未就学(N=457)



定期的な利用時間：未就学(N=457)



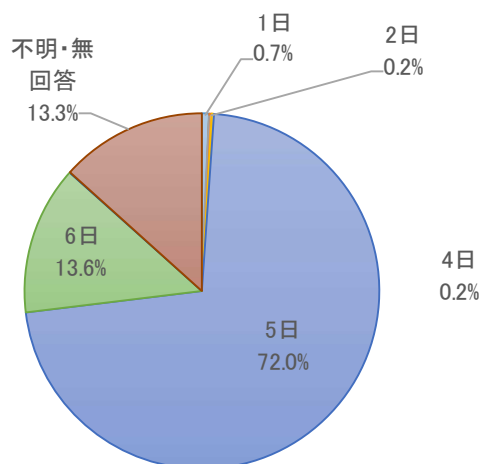
定期的な利用開始時刻：未就学(N=457)



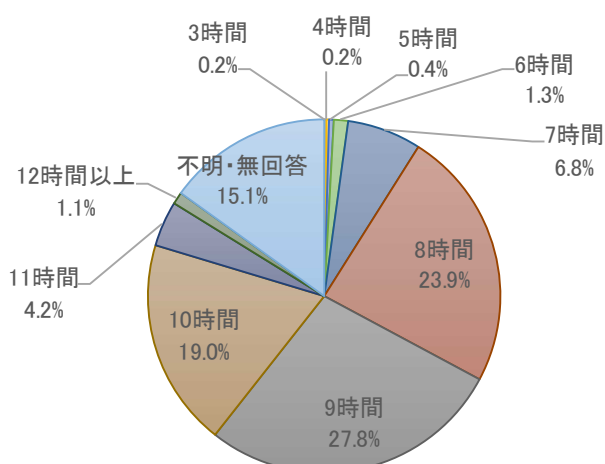
定期的な利用終了時刻：未就学(N=457)

(2) 希望

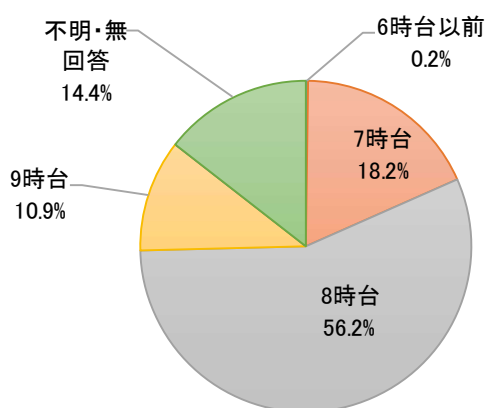
平日の定期的な教育・保育事業の利用日数については、1週当たり「5日」が72.0%と最も多く、1日当たりの利用時間については「9時間」が27.8%と最も多くなっています。また、利用開始時刻は「8時台」が56.2%と最も多く、利用終了時刻は「17時台」が39.8%と最も多くなっており、現在の利用状況と同様となっています。



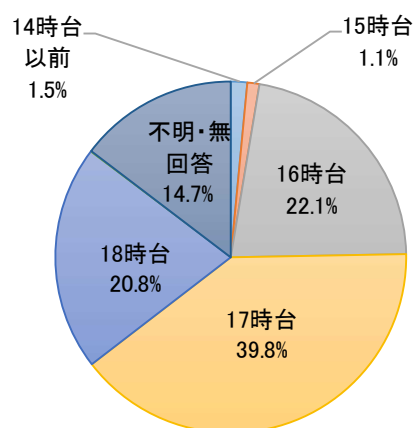
定期的な利用希望日数：未就学(N=457)



定期的な利用希望時間：未就学(N=457)



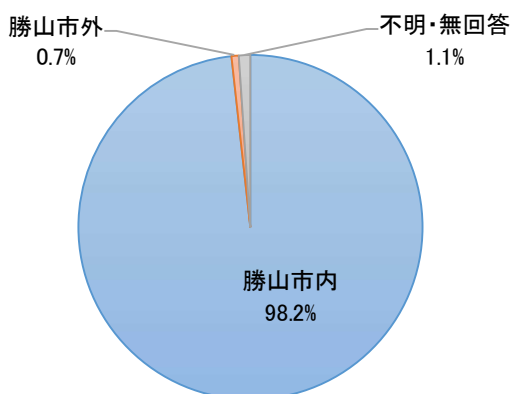
定期的な利用希望開始時刻：未就学(N=457)



定期的な利用希望終了時刻：未就学(N=457)

問11-3 利用している教育・保育事業の実施場所

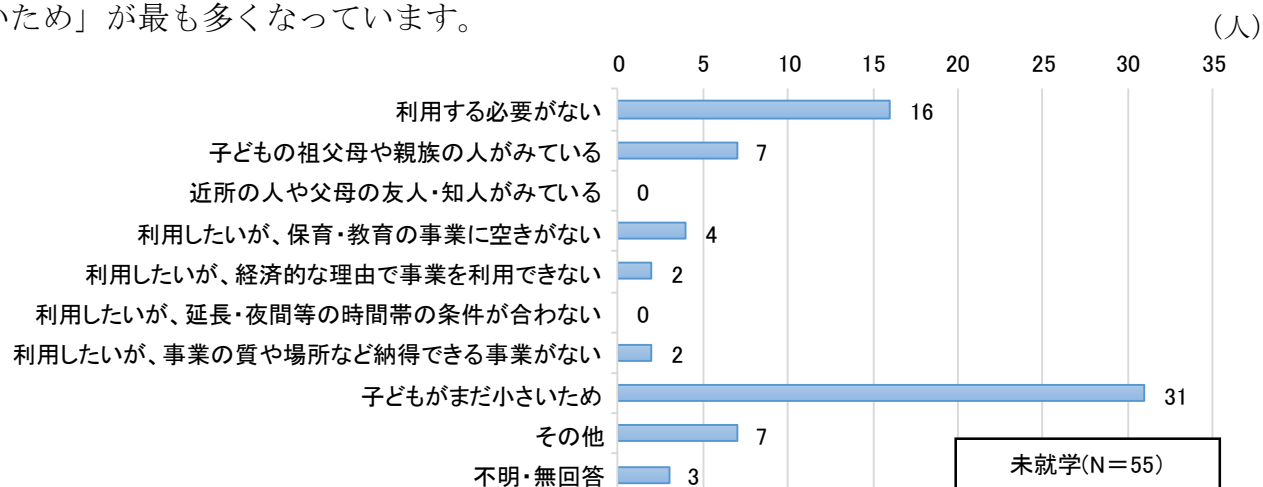
現在利用している教育・保育事業の実施場所については、「勝山市内」が98.2%となっています。



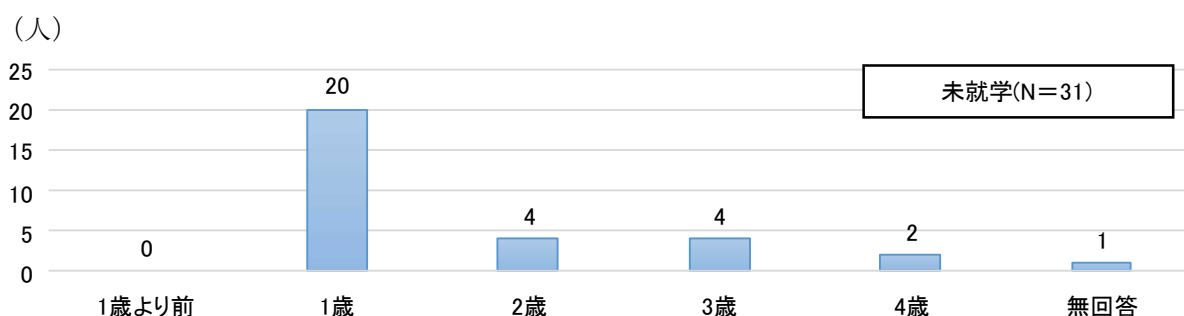
実施場所：未就学(N=457)

問 1 1-4 幼稚園、保育園などの定期的な利用をしていない理由（複数回答）

現在、教育・保育事業を利用していない場合、その理由については、「子どもがまだ小さいため」が最も多くなっています。

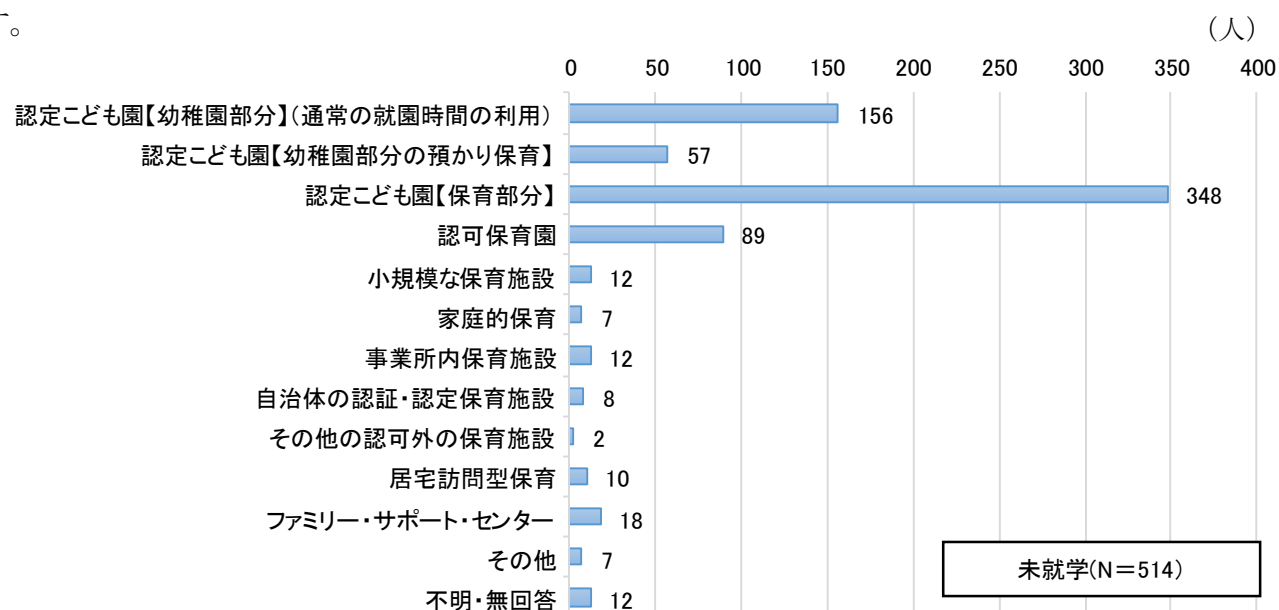


問 1 1-4 で「子どもがまだ小さいため」と答えた方について、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか



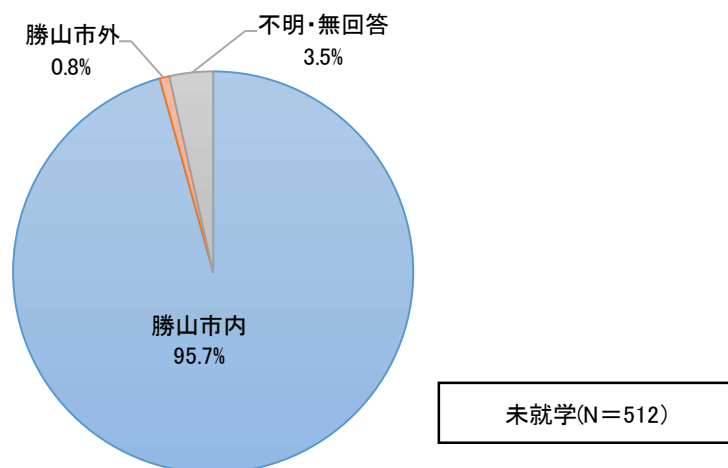
問 1 2 平日の教育・保育の事業の定期的な利用希望（複数回答）

平日の教育・保育事業の利用の有無に関わらず、定期的に利用したい事業については、「認定こども園【保育部分】」が最も多く、次いで「認定こども園【幼稚園部分】」となっています。



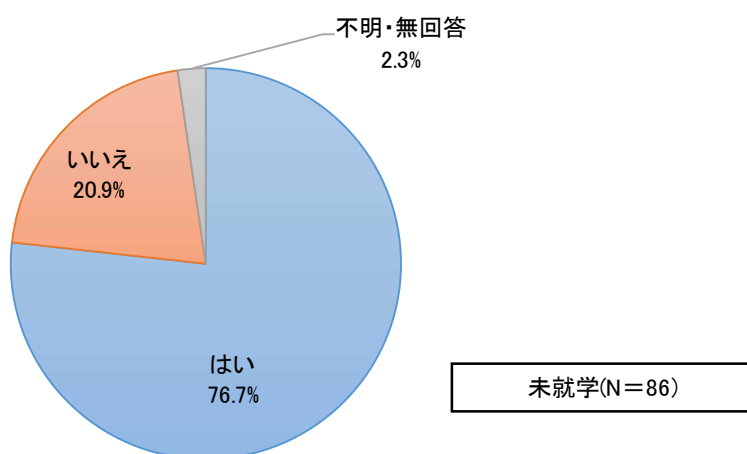
問 1 2-1 教育・保育事業の利用希望場所

教育・保育事業の利用希望については、「勝山市内」が 95.7%となっています。



問 1 2-2 幼稚園の利用希望

問 1 2 で「認定こども園【幼稚園部分】(通常の就園時間の利用)」または「認定こども園【幼稚園部分の預かり保育】」を選択し、かつ その他の事業も選択した方について、特に幼稚園の利用を強く希望するか尋ねたところ、76.7%が特に「認定こども園【幼稚園部分】(通常の就園時間の利用)」の利用を希望されています。

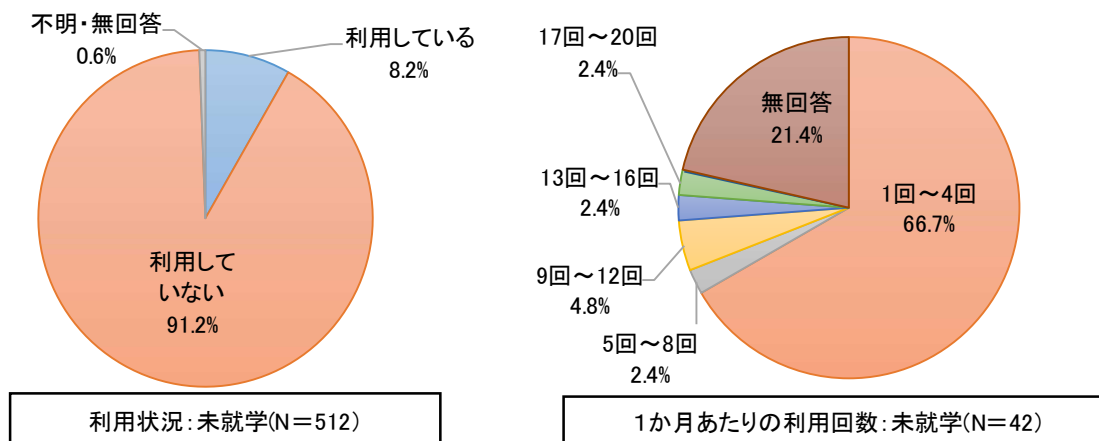


6 地域の子育て支援事業の利用状況

問 1 3 子育て支援センターの利用状況

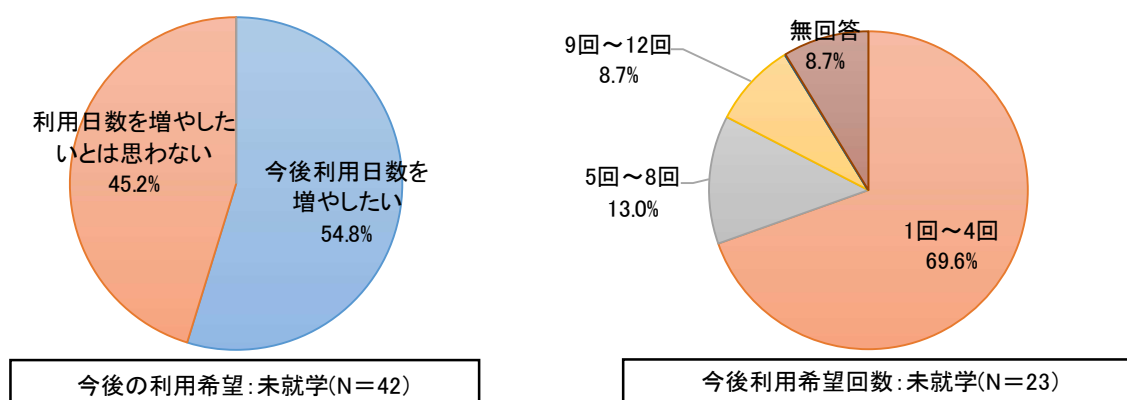
子育て支援センターの利用については、「利用している」が 8.2%で、その利用状況は、1ヶ月当たり「1回～4回」が 66.7%と最も多くなっています。

※1週あたりの回数で回答された方も1ヶ月あたりに換算している（1ヶ月4週で計算）。以下の設問についても同様。



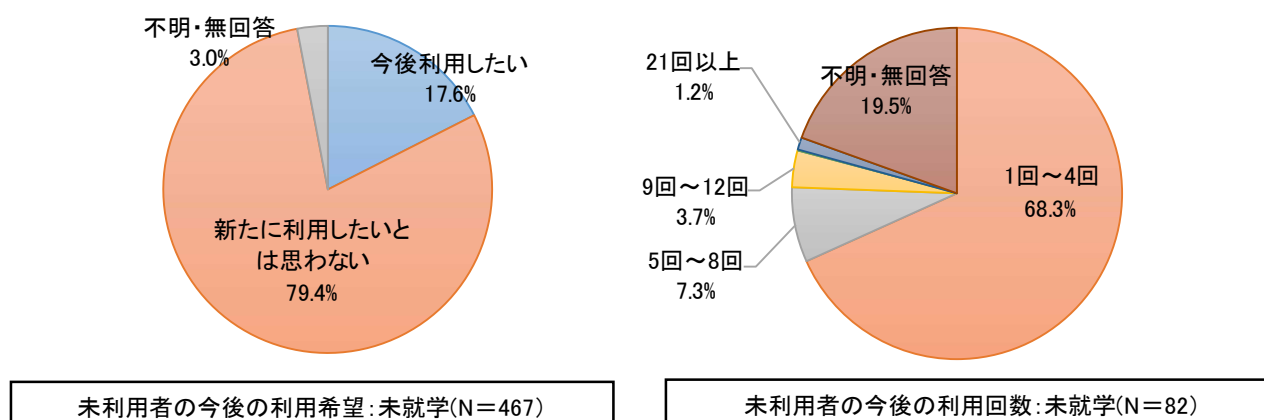
問 1 4-1 子育て支援センターをすでに利用している方の今後の利用希望

すでに利用している方のうち 54.8%が「今後利用日数を増やしたい」と回答し、増やしたい日数を含めた合計の利用回数は「1ヶ月当たり1回～4回」が 69.6%と最も多くなっています。



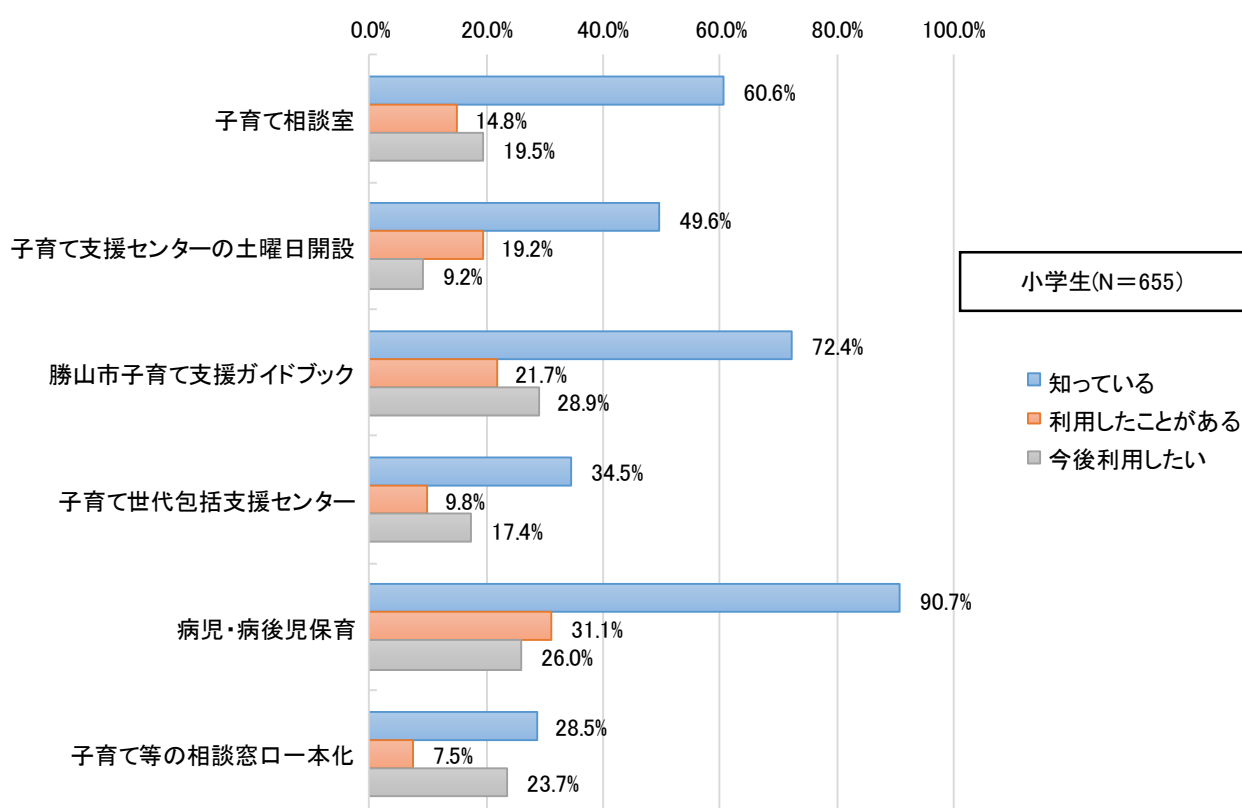
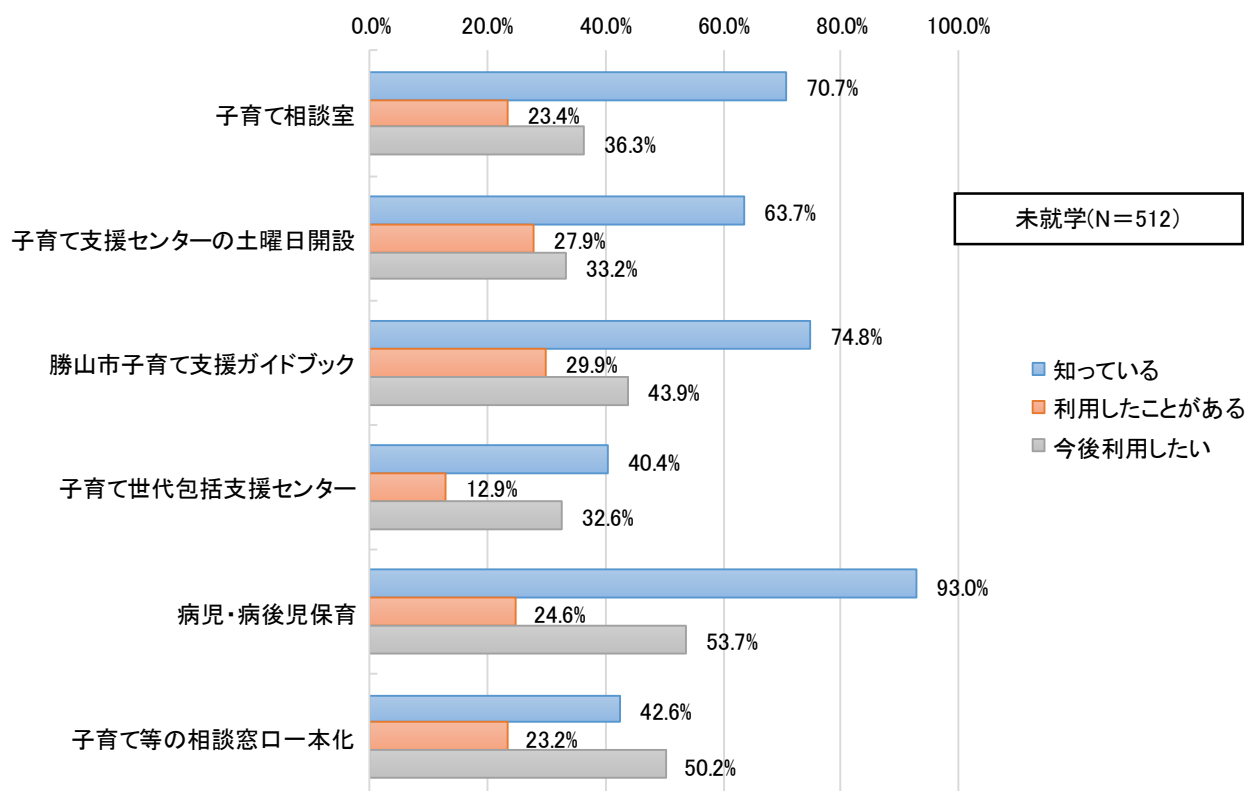
問 1 4-2 子育て支援センターを利用していない方の今後の利用希望

利用していない方のうち 17.6%が「今後利用したい」と回答し、その利用回数は「1ヶ月当たり1回～4回」が 68.3%と最も多くなっています。



問 1 5 各種子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望【小学生用は問 9】

病児・病後児保育の認知度は未就学、小学生ともに9割を超えており、未就学では今後利用したいが5割を超えています。また、子育て支援ガイドブックの認知度も7割を超えています。

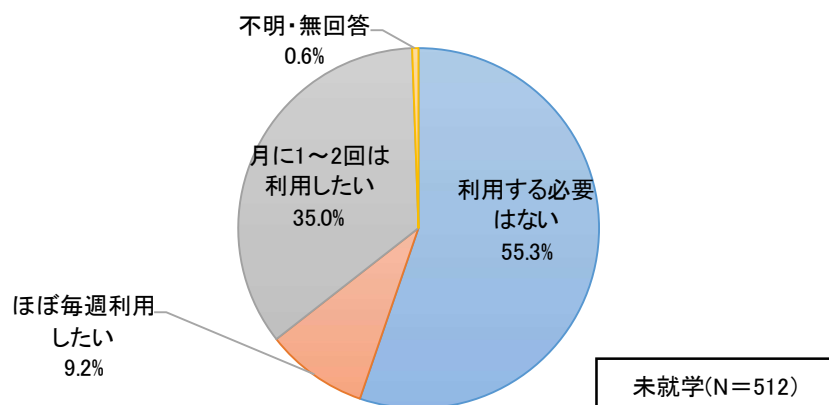


7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

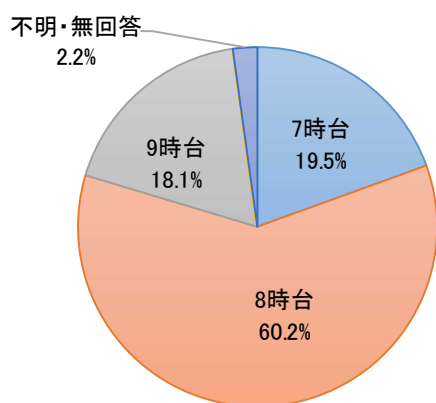
問16 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望と利用時間

土曜日の定期的な教育・保育事業（保育園・認定こども園等）の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が9.2%、「月に1～2回は利用したい」が35.0%となっています。日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が1.6%、「月に1～2回は利用したい」が16.4%となっており、土曜日は日曜日・祝日に比べて利用希望が高くなっています。

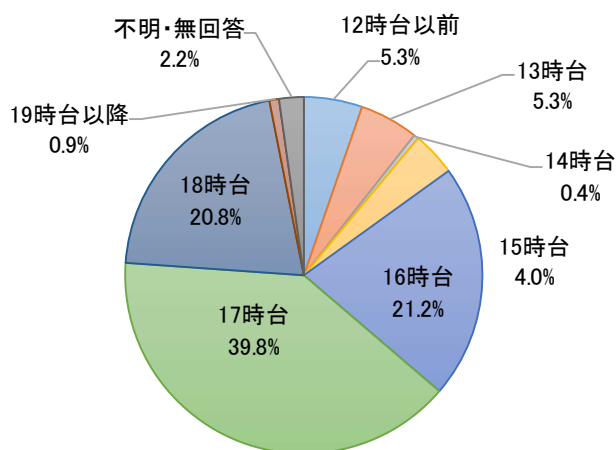
(1) 土曜日



利用したいと回答した方の利用希望時間帯

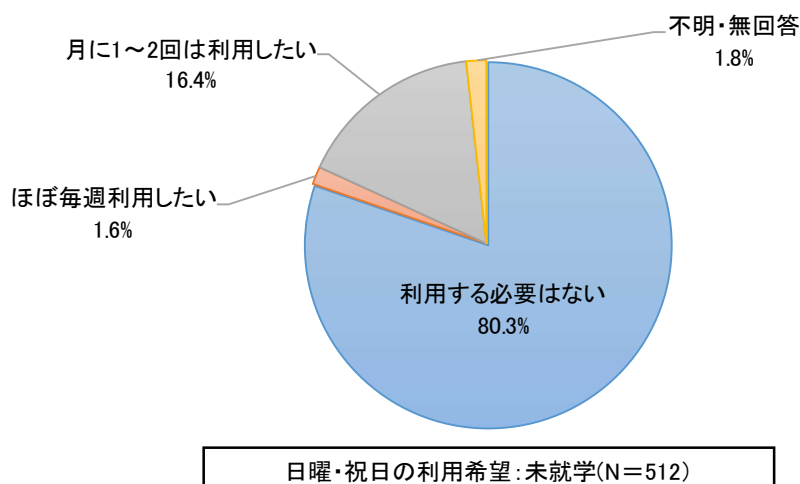


土曜日の利用希望開始時間: 未就学(N=226)

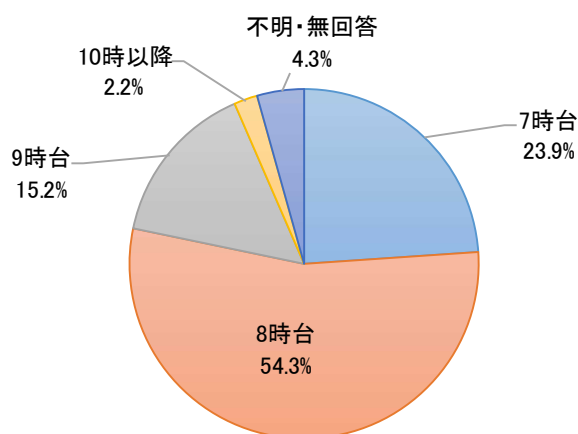


土曜日の利用希望終了時間: 未就学(N=226)

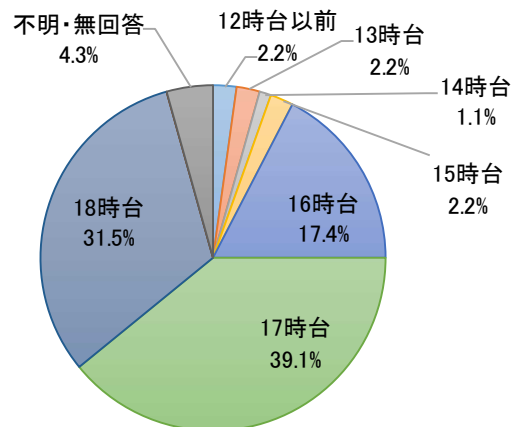
(2) 日曜・祝日



利用したいと回答した方の利用希望時間帯



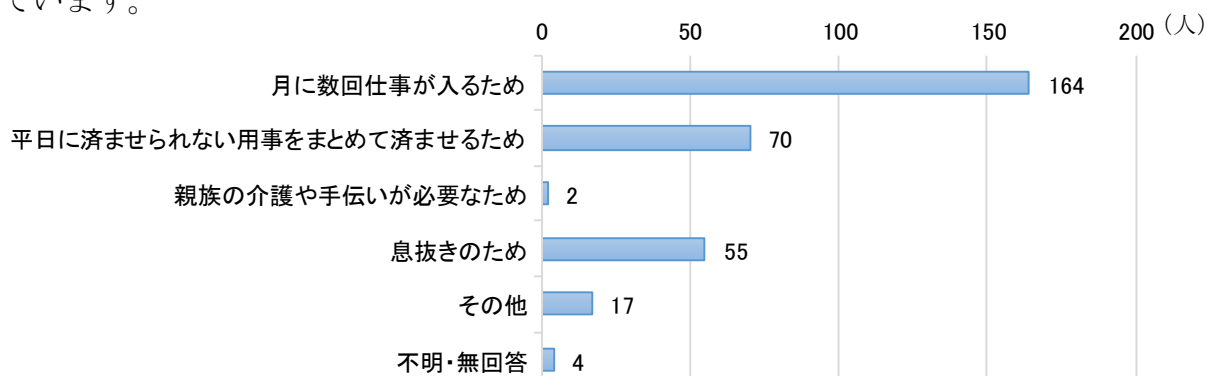
日曜・祝日の利用希望開始時間：未就学(N=92)



日曜・祝日の利用希望終了時間：未就学(N=92)

問 1 6-1 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業のために利用したい理由（複数回答）

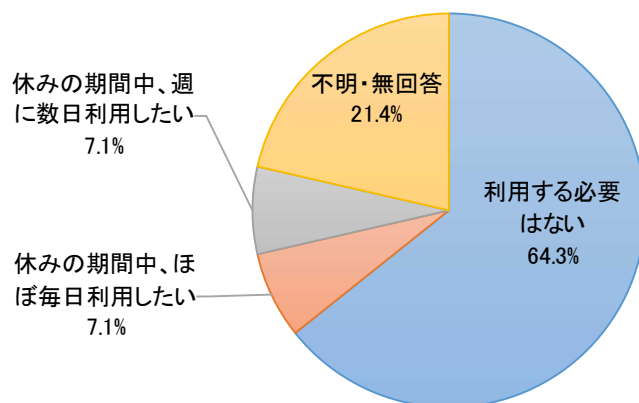
土曜日・日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、「月に1～2回は利用したい」の回答のうち、その理由については、「月に数回仕事が入るため」が最も多くなっています。



月に1～2回利用したい理由：未就学(N=204)

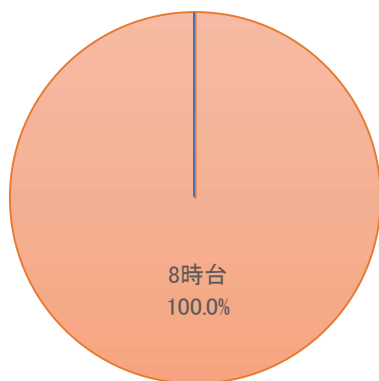
問 1 7 「幼稚園」利用者の長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望と希望時間

現在、幼稚園を利用している場合で、夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は7.1%となっています。

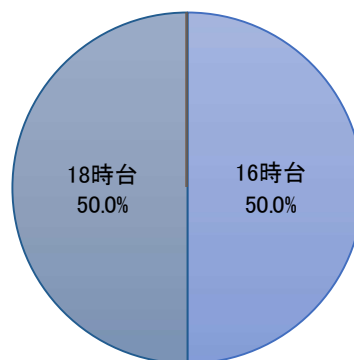


長期休暇中の利用：未就学(N=14)

利用したいと回答した方の利用希望時間帯



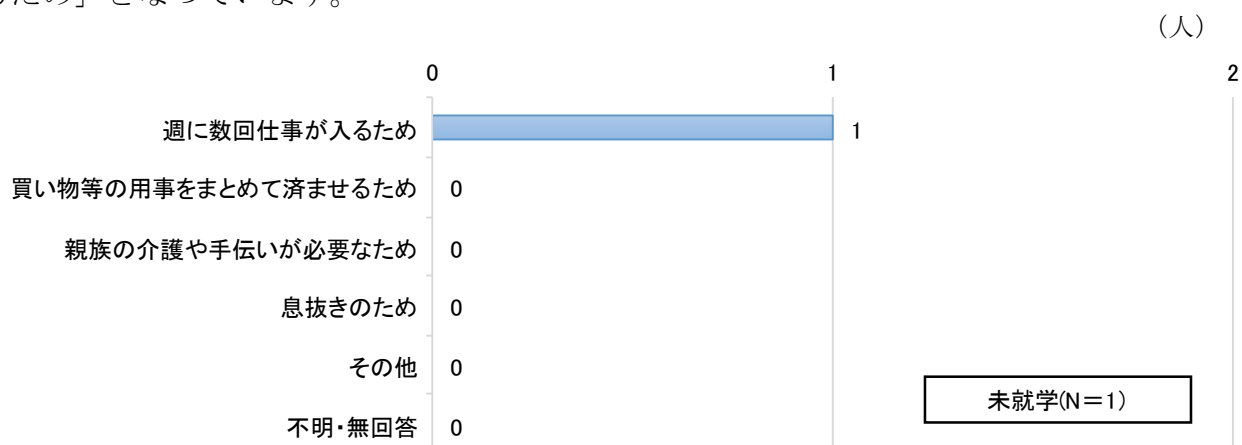
長期休暇中の利用開始時刻:未就学(N=2)



長期休暇中の利用終了時刻:未就学(N=2)

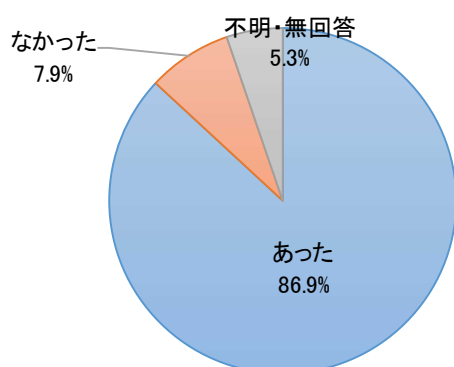
問 1 7-1 「幼稚園」利用者の長期休暇期間中の教育・保育の事業をたまに利用したい理由（複数回答）

現在、幼稚園を利用している場合で、夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望がある場合の「週に数日利用したい」理由については、「週に数回仕事が入るため」となっています。

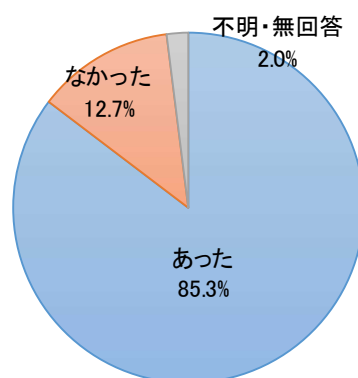


8 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 1 8 平日の定期的な教育・保育の事業の利用者で、この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無【小学生用は問 1 0】



病気やケガで利用できなかった:未就学(N=457)

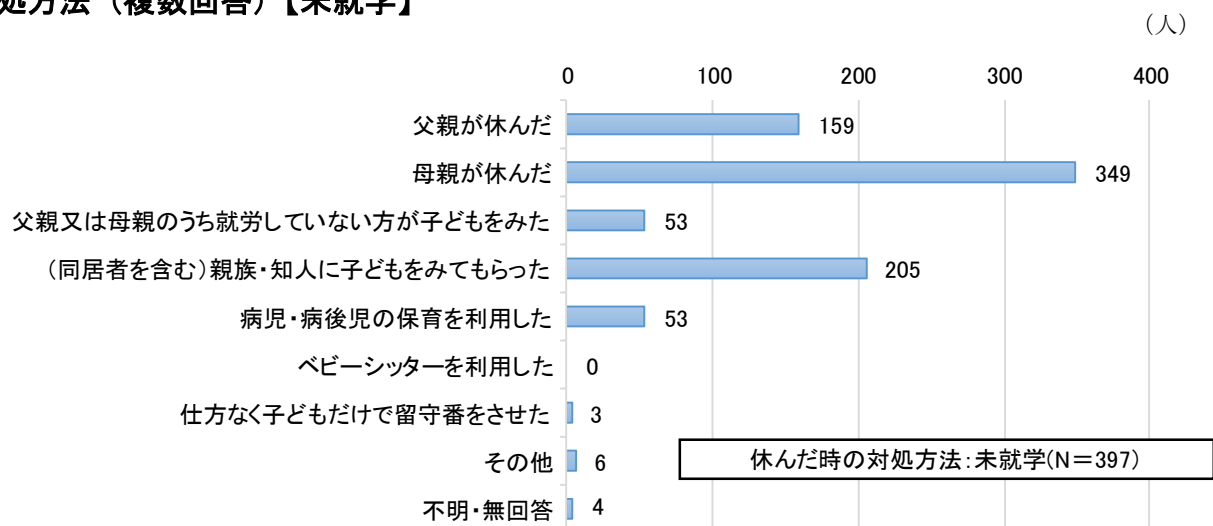


病気やケガで利用できなかった:小学生(N=655)

問 1 8-1 病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法（複数回答）【小学生用は問 1 0-1】

教育・保育事業の利用ができなかった場合の対処方法については、未就学、小学生ともに「母親が休んだ」が最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」となっています。

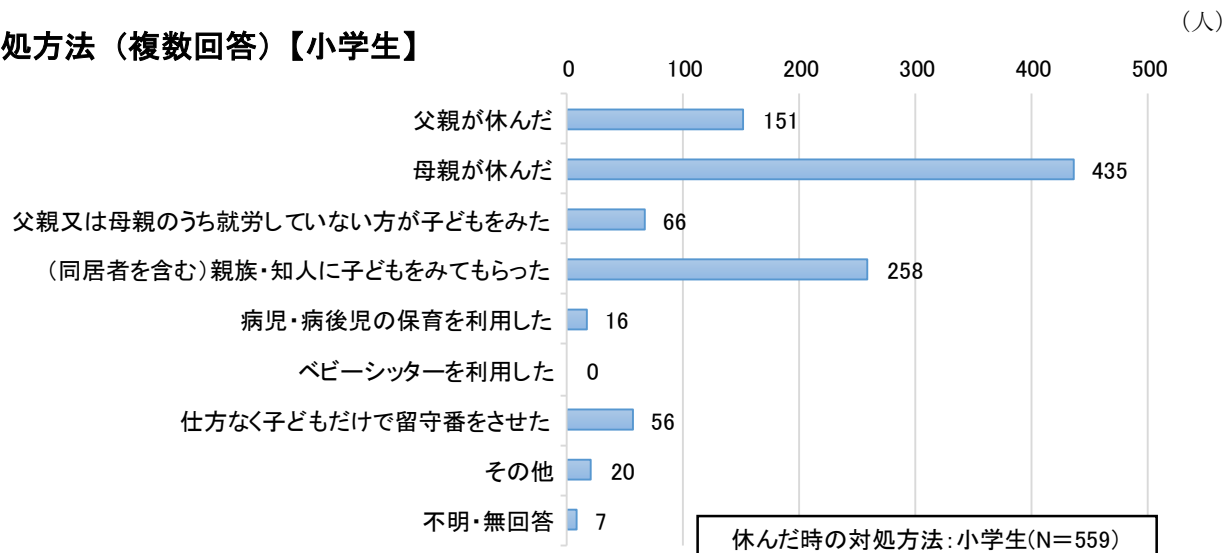
○対処方法（複数回答）【未就学】



教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法別の日数（未就学）

対処方法	数値回答者数	合計日数	平均日数
ア 父親が休んだ	151	687	5
イ 母親が休んだ	327	3,583	11
ウ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	47	455	10
エ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	195	1,544	8
オ 病児・病後児の保育を利用した	51	234	5
カ ベビーシッターを利用した	0	0	0
キ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	12	4
ク その他	3	13	4

○対処方法（複数回答）【小学生】

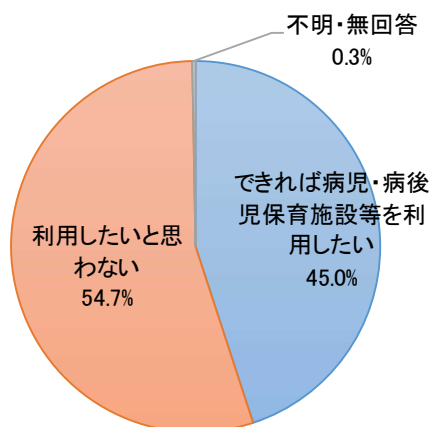


教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法別の日数（小学生）

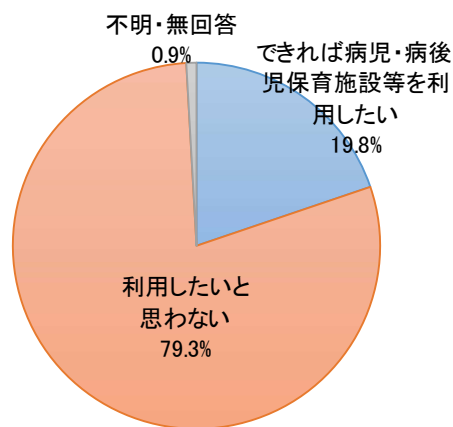
対処方法	数値回答者数	合計日数	平均日数
ア 父親が休んだ	145	422	3
イ 母親が休んだ	415	2,335	6
ウ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	61	368	6
エ（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	248	1,037	4
オ 病児・病後児の保育を利用した	15	37	2
カ ベビーシッターを利用した	0	0	0
キ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	52	163	3
ク その他	10	109	11

問 18-2 病児・病後児保育施設等の利用希望【小学生用は問 10-2】

父親または母親が休んだ場合の病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が、未就学では 45.0%、小学生では 19.8%となっており、未就学が小学生より 25.2 ポイント高くなっています。



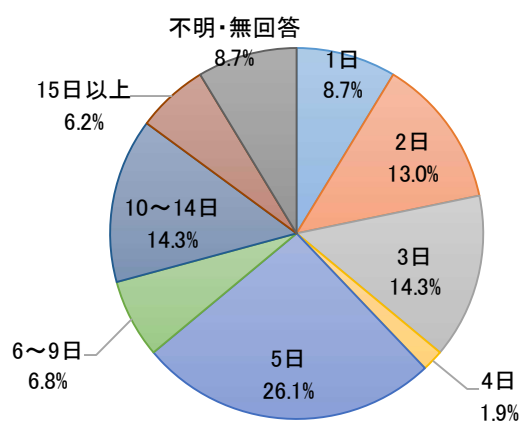
病児・病後児保育施設等利用希望：未就学(N=358)



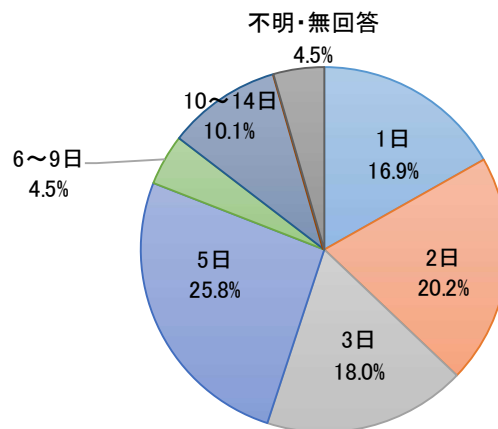
病児・病後児保育施設等利用希望：小学生(N=450)

できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと回答した方の利用希望日数

利用希望日数は、未就学では「5日程度以上」を希望するかが半数を超えています。



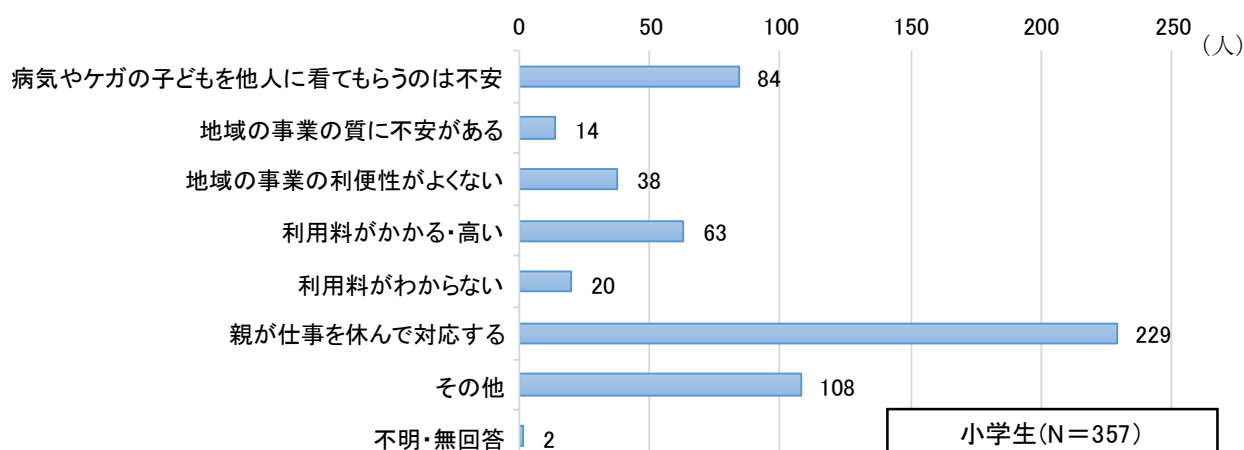
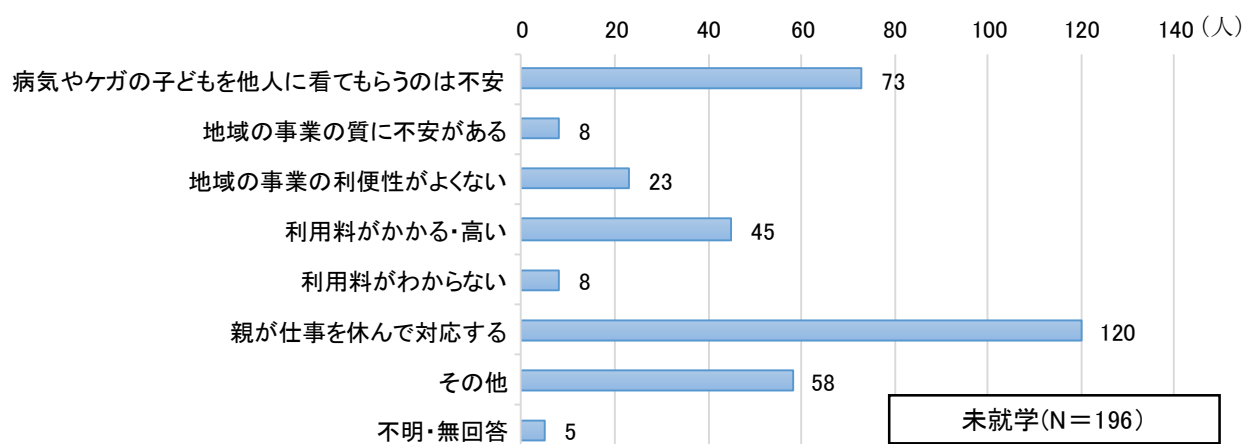
利用希望日数：未就学(N=161)



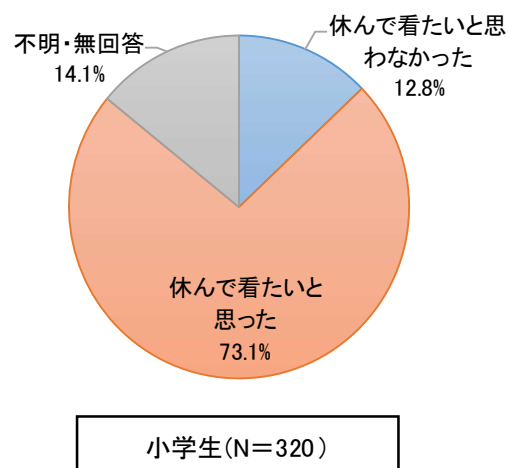
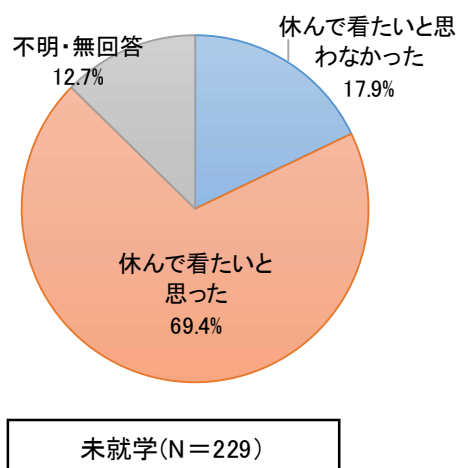
利用希望日数：小学生(N=89)

問 1 8-3 病児・病後児保育施設等を利用しない理由（複数回答）【小学生用は問 1 0-3】

父親または母親が休んだ場合で、利用しない理由を聞いたところ、未就学、小学生ともに「親が仕事を休んで対応する」が最も多くなっています。「その他」の主な内容は、「体調が悪い時には一緒にいてあげたい」などでした。

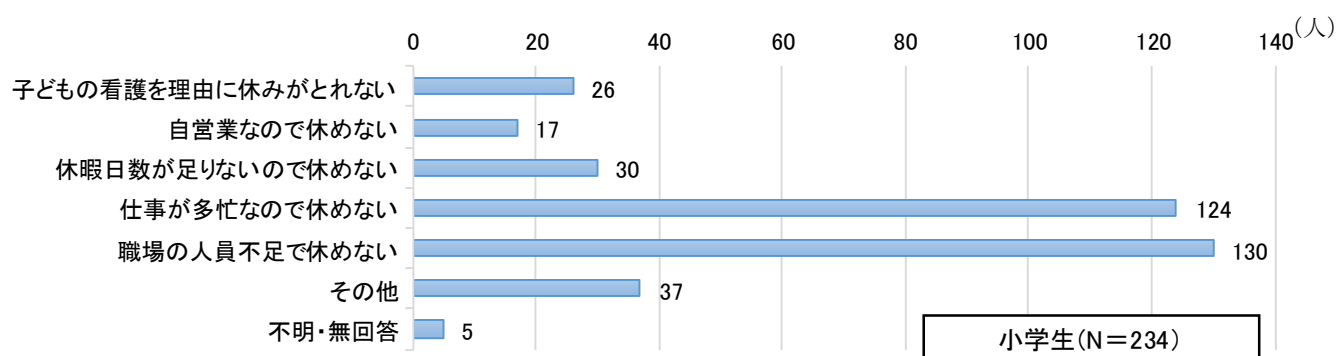
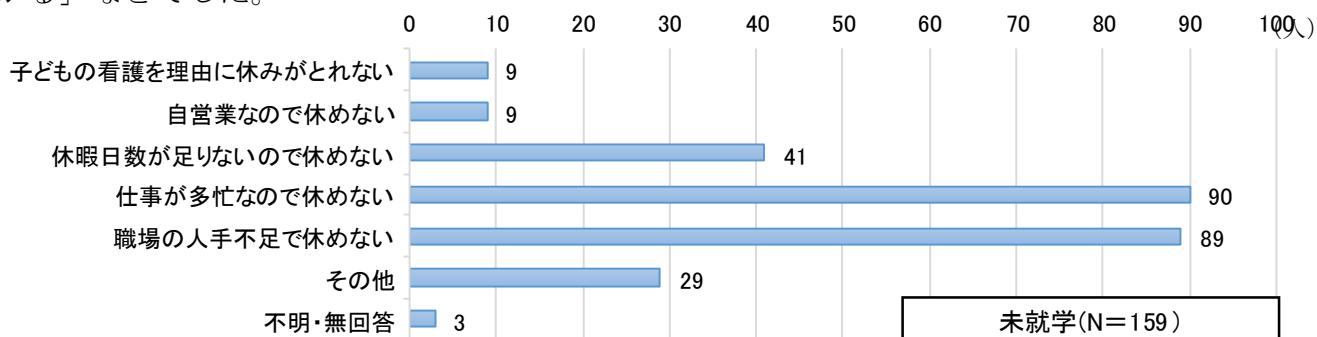


問 1 8-4 病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、できれば父母のいずれかが仕事を休んで見たかったか【小学生用は問 1 0-4】



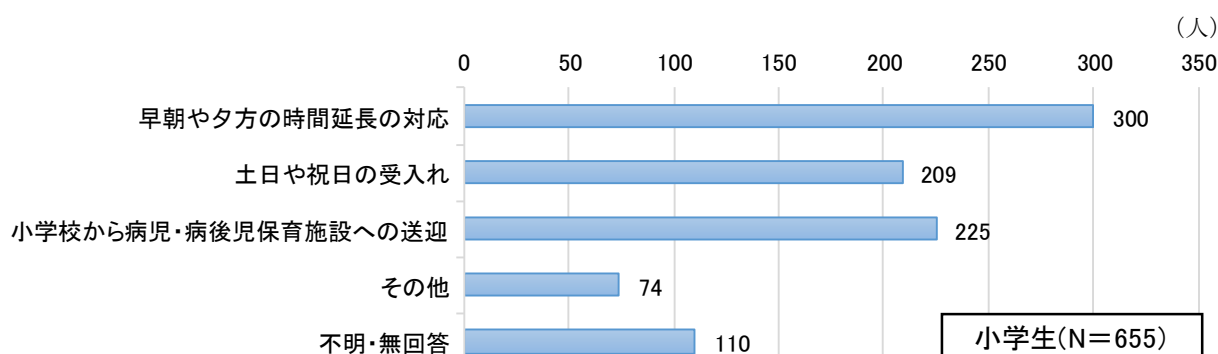
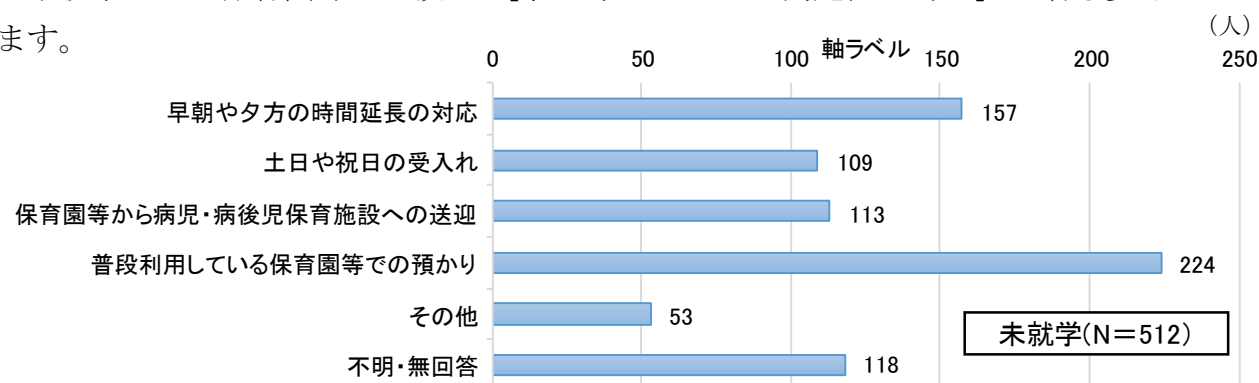
問 1 8-5 できれば父母のいずれかが仕事を休んで見たかったが、休んで看られなかった理由（複数回答）【小学生用は問 1 0-5】

仕事を休んで看られなかった理由は「仕事が多忙なので休めない」、「職場の人手不足で休めない」が多くなっています。その他の理由としては「連続で休めない」「職場に迷惑がかかる」などでした。



問 1 8-6 病児保育について、どのような機能があればより利用しやすいか（複数回答）【小学生用は問 1 0-6】

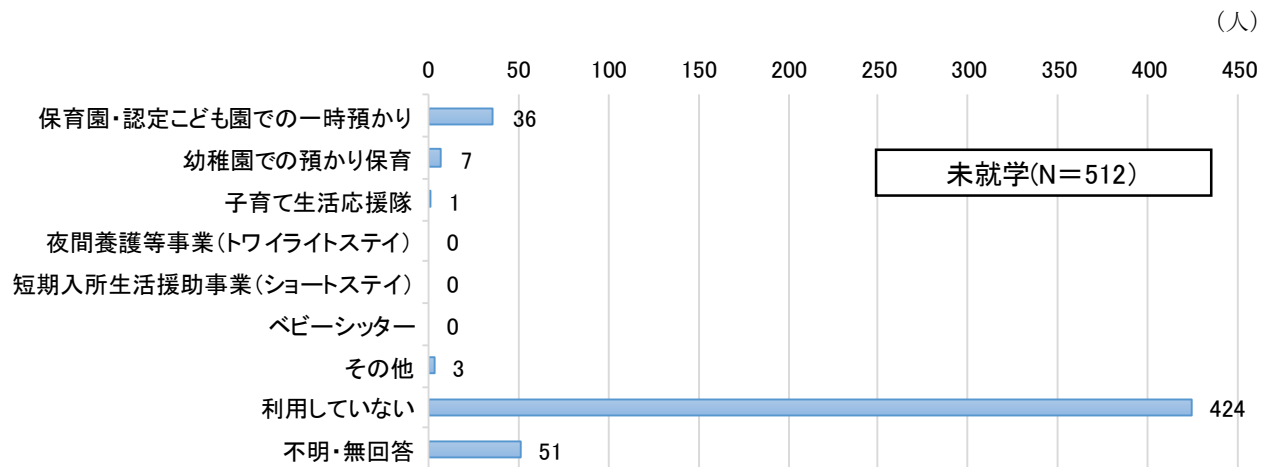
未就学では「保育園等での預かり」、小学生では「時間延長の対応」が最も多くなっています。



9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問19 子どもの不定期な事業の利用状況（複数回答）

保育園・認定こども園での一時預かりを利用されている方が36人となっており、その利用平均日数は16日となっています。

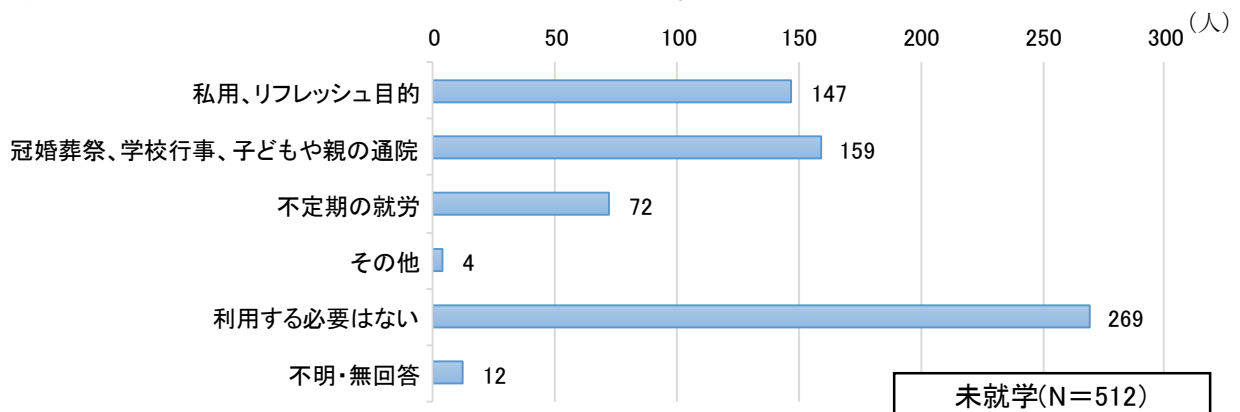


利用日数

対処方法	数値回答者数	合計日数	平均日数
1 保育園・認定こども園での一時預かり	32	523	16
2 幼稚園(認定こども園の幼稚園部分を含む)での預かり保育	7	159	23
3 子育て生活応援隊	1	10	10
4 夜間養護等事業:トワイライトステイ	0	0	0
5 短期入所生活援助事業:ショートステイ	0	0	0
6 ベビーシッター	0	0	0
7 その他	3	33	11

問20 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での年間の利用希望（複数回答）

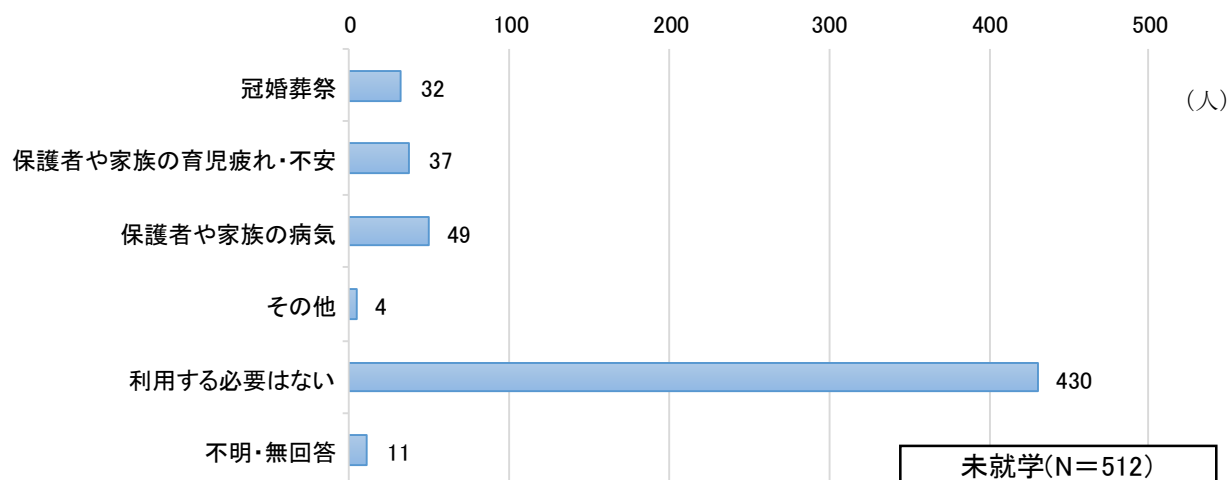
私用等での利用希望については「冠婚葬祭、学校行事、通院」「私用、リフレッシュ」が多く、その利用平均日数は8～9日となっています。



利用希望日数

理由	数値回答者数	合計日数	平均日数
ア 私用、リフレッシュ目的	144	1337	9
イ 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院	152	1160	8
ウ 不定期の就労	68	661	10
エ その他	4	33	8

問 2 1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要性和年間の泊数（複数回答）



利用希望日数

理由	数値回答者数	合計泊数	平均泊数
ア 冠婚葬祭	31	69	2
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安	36	120	3
ウ 保護者や家族の病気	49	189	4
エ その他	4	13	3

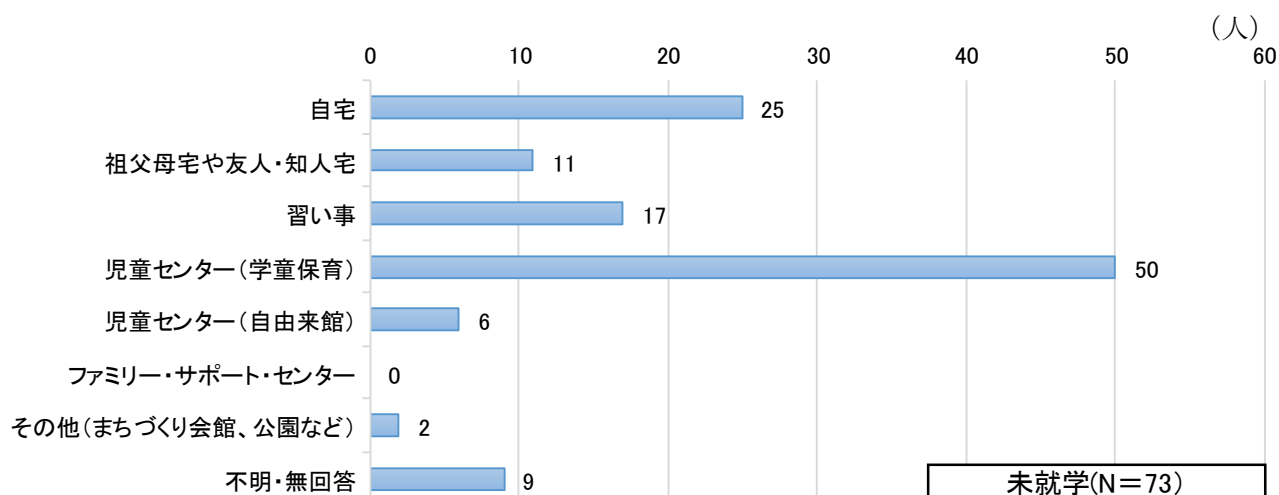
10 放課後の過ごし方

※未就学児は5歳以上児のみが回答対象

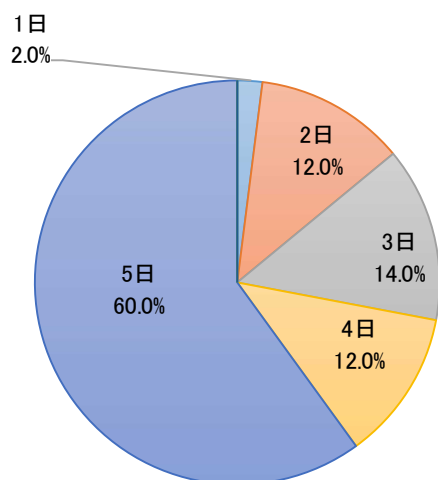
問 2 2 子どもの小学校低学年の放課後の過ごし方（複数回答）【小学生用は問 1 1】

【未就学_低学年の放課後の過ごし方】

未就学では、子どもが小学校低学年のうち「児童センター（学童保育）」の希望が最も多くなっています。

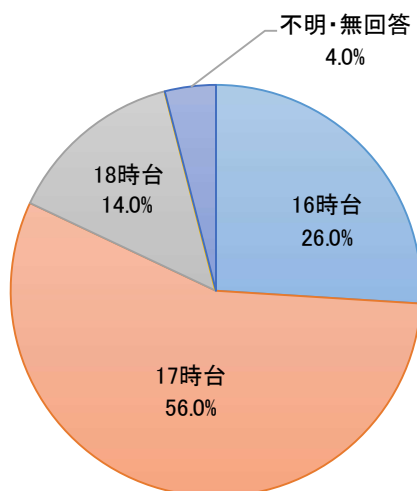


児童センター（学童保育）を選んだ方の利用希望日数



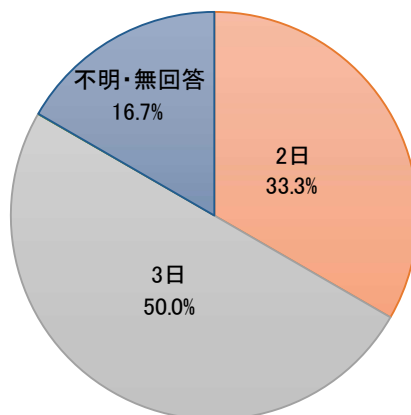
未就学(N=50)

児童センター（学童保育）を選んだ方の利用希望時間（下校時から〇〇時台まで）



未就学(N=50)

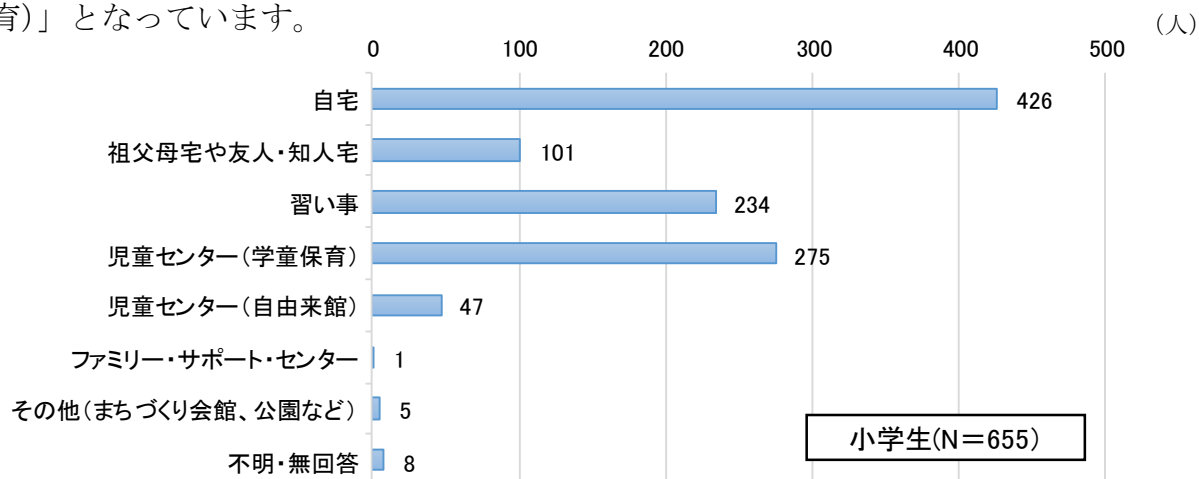
児童センター（自由来館）を選んだ方の利用希望日数



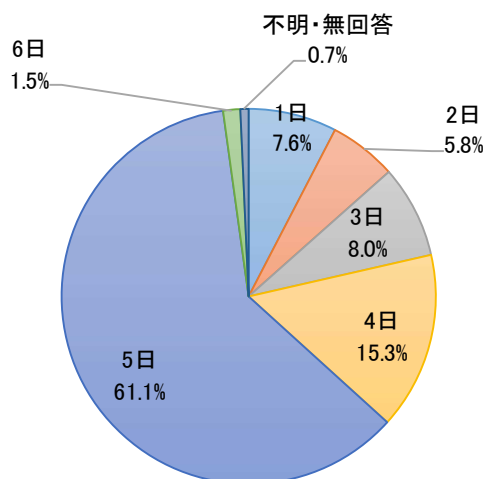
未就学(N=6)

【小学生_現在の放課後の過ごし方】

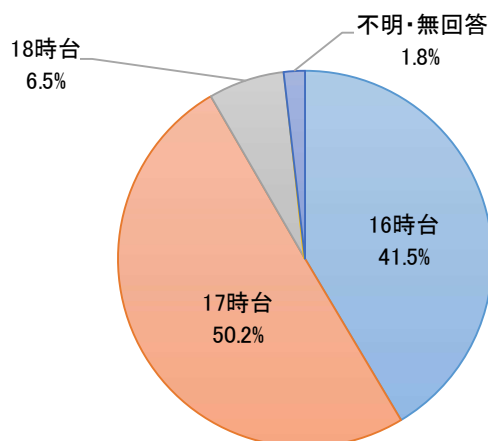
小学生の現在の放課後の過ごし方では、「自宅」が最も多く、次いで「児童センター（学童保育）」となっています。



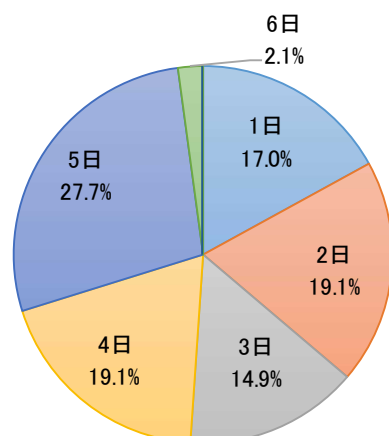
児童センター（学童保育）を選んだ方の利用日数



児童センター（学童保育）を選んだ方の利用希望時間（下校時から〇〇時台まで）



児童センター（自由来館）を選んだ方の利用希望日数

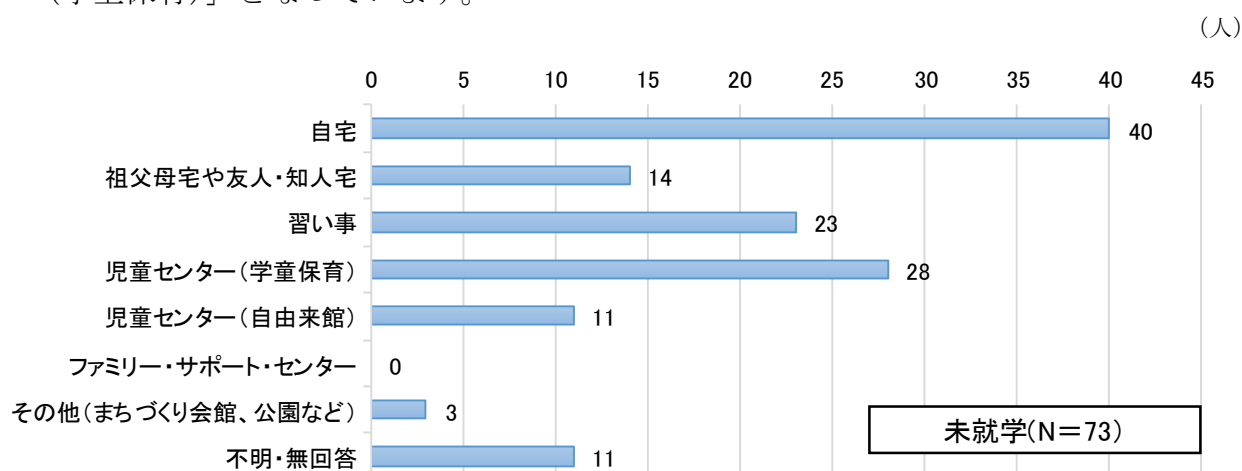


小学生(N=47)

問23 子どもの小学校高学年の放課後の過ごし方（複数回答）【小学生用は問12】

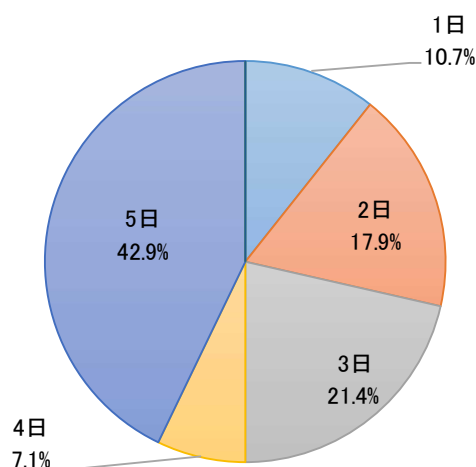
【未就学_高学年の放課後の過ごし方】

未就学では、高学年の放課後の過ごし方は「自宅」の希望が最も多く、次いで「児童センター（学童保育）」となっています。



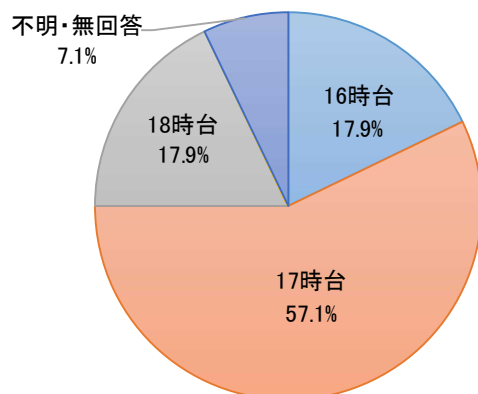
未就学(N=73)

児童センター（学童保育）を選んだ方の希望日数



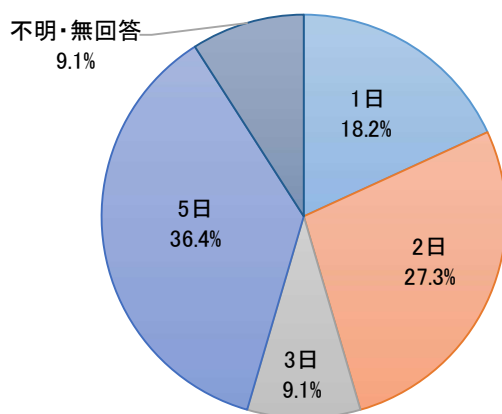
未就学(N=28)

児童センター（学童保育）を選んだ方の希望時間（下校時から□□時台まで）



未就学(N=28)

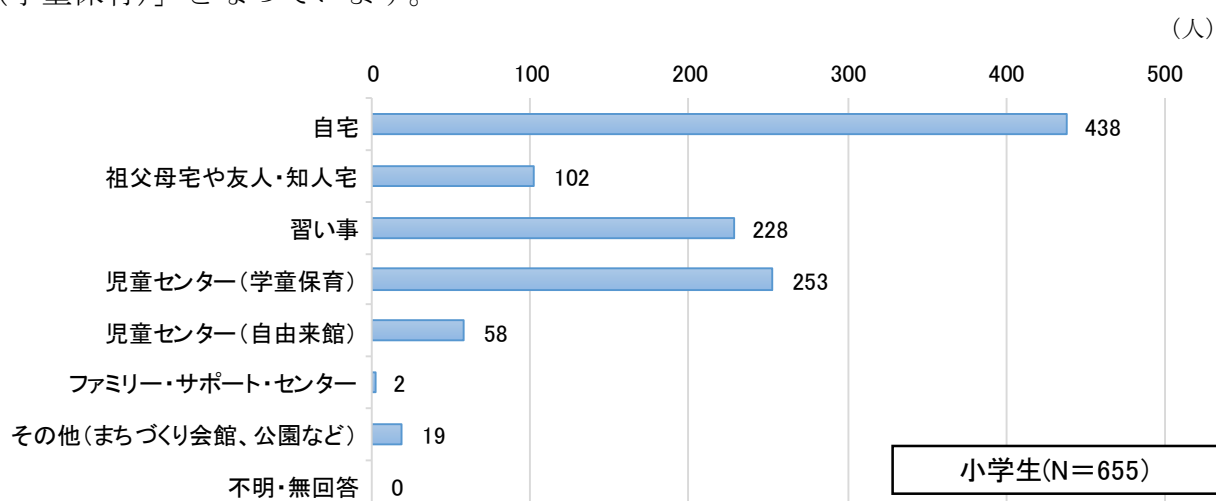
児童センター（自由来館）を選んだ方の希望日数



未就学(N=11)

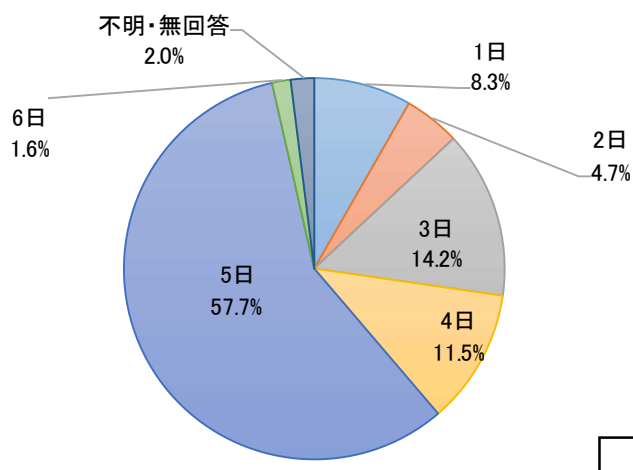
【小学生_今後の放課後の過ごし方】

小学生では、今後の放課後の過ごし方は「自宅」の希望が最も多く、次いで「児童センター（学童保育）」となっています。



小学生(N=655)

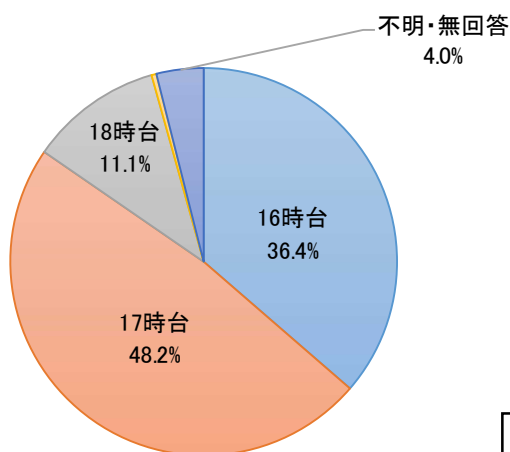
児童センター（学童保育）を選んだ方の希望日数



小学生(N=253)

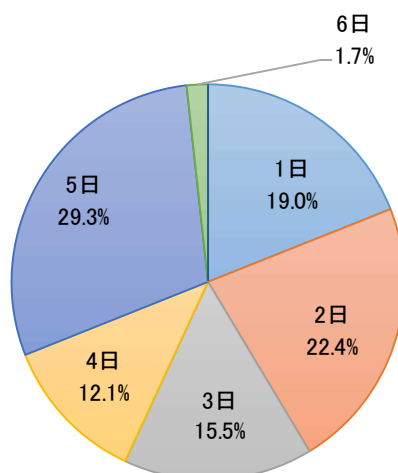
児童センター（学童保育）を選んだ方の希望時間（下校時から□□時台まで）

現在の利用状況と同様に、「17時台」が48.2%と最も多くなっています。



小学生(N=253)

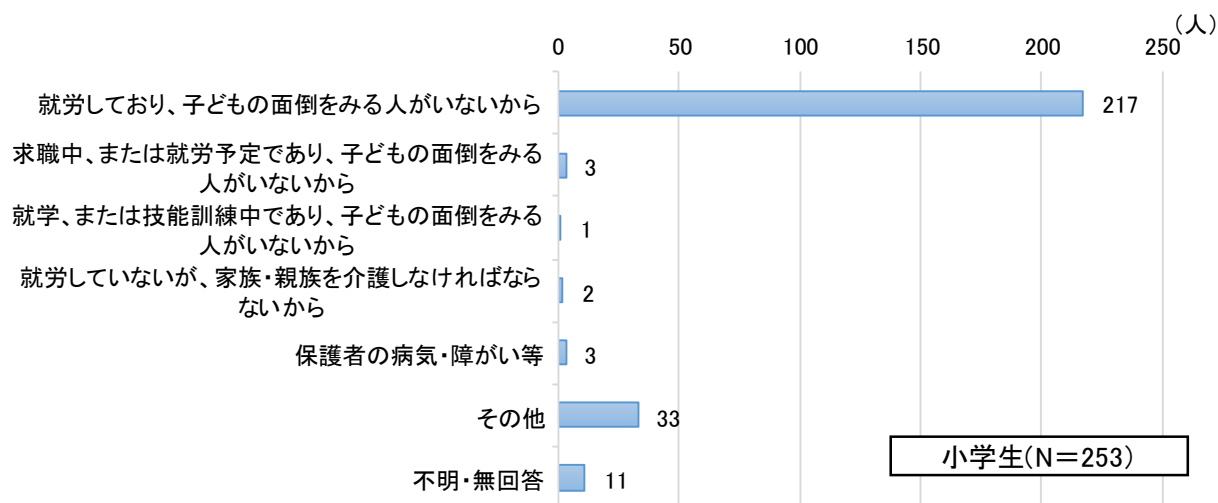
児童センター（自由来館）を選んだ方の希望日数



小学生(N=58)

【小学生】問１３（１） 児童センター（学童保育）を希望する理由（複数回答）

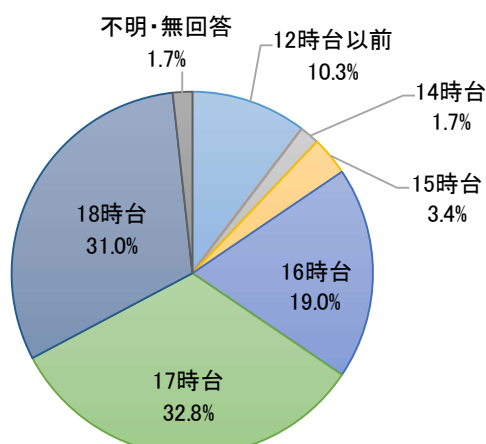
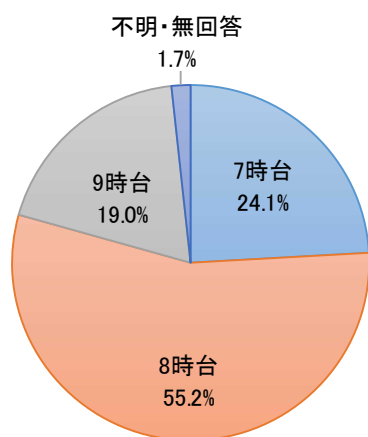
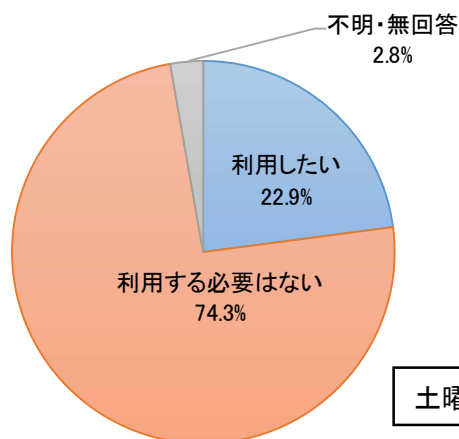
問１２で「児童センター（学童保育）」を選んだ方について、その希望する理由は、「就労しており、子どもの面倒をみる人がいないから」が最も多くなっています。



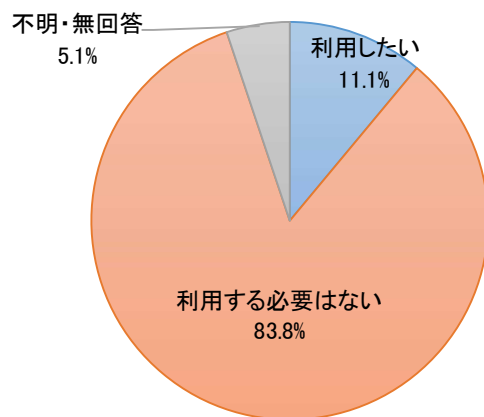
【小学生】問１３（２） 土曜日と日曜・祝日の児童センター（学童保育）の利用希望

問１２で「児童センター（学童保育）」を選んだ方について、土曜日と日曜・祝日の利用希望を聞いたところ、土曜日については22.9%が、日曜・祝日については11.1%が「利用したい」と回答しています。

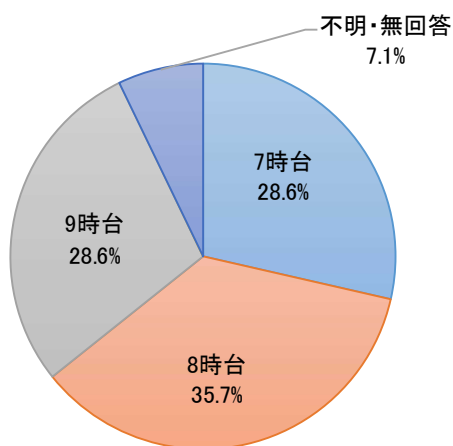
① 土曜日



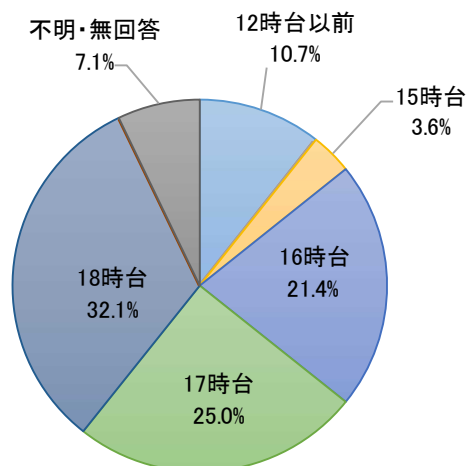
② 日曜・祝日



日曜・祝日利用希望：小学生(N=253)



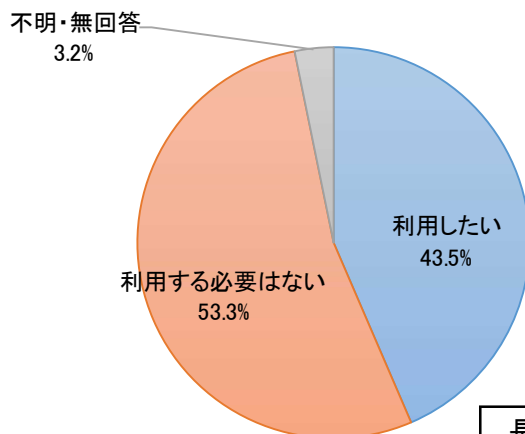
日曜・祝日希望終了時刻：小学生(N=28)



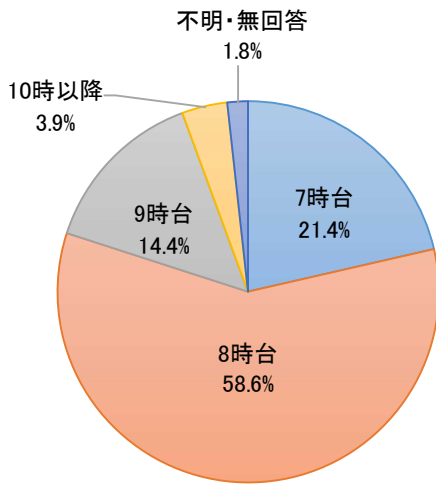
日曜・祝日希望終了時刻：小学生(N=28)

【小学生】問 1 4 夏休みや冬休みなどの長期休業期間中の児童センター（学童保育）の利用希望

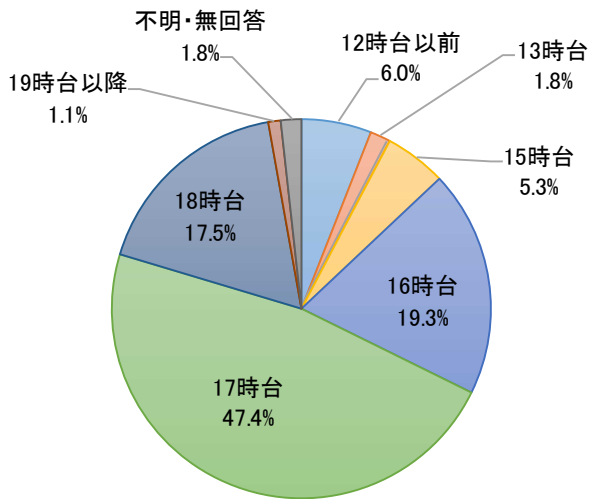
夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の利用希望については、「利用する必要はない」が53.3%となっており、「利用したい」を上回っています。



長期休業利用希望：小学生(N=655)



長期休業利用希望開始時刻：小学生(N=285)

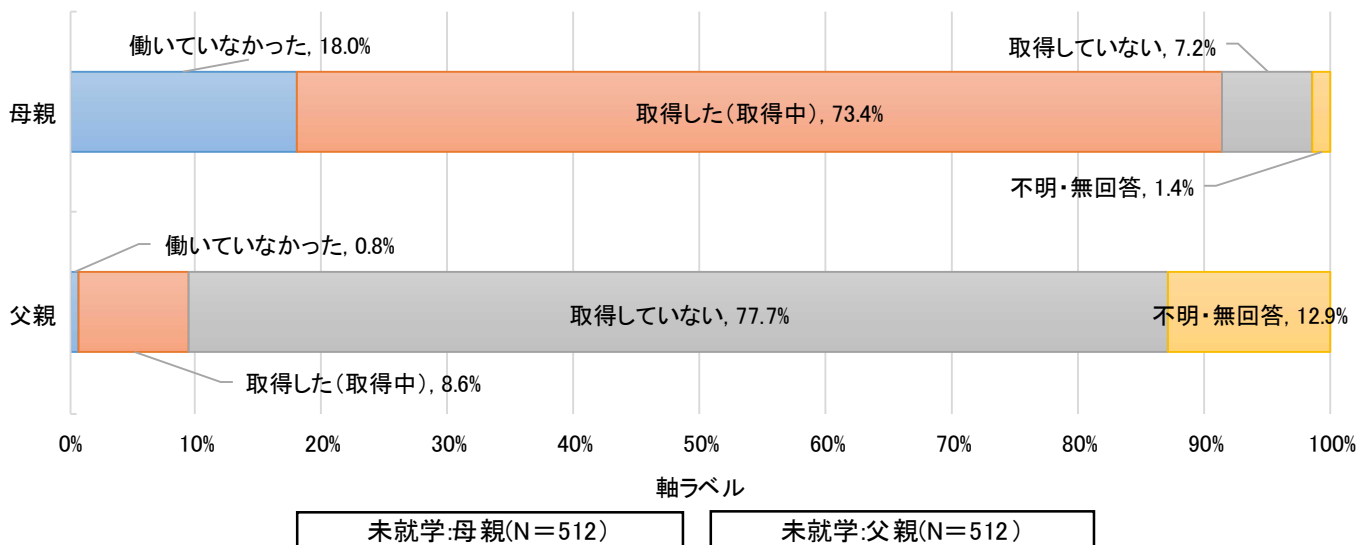


長期休業利用希望終了時刻：小学生(N=285)

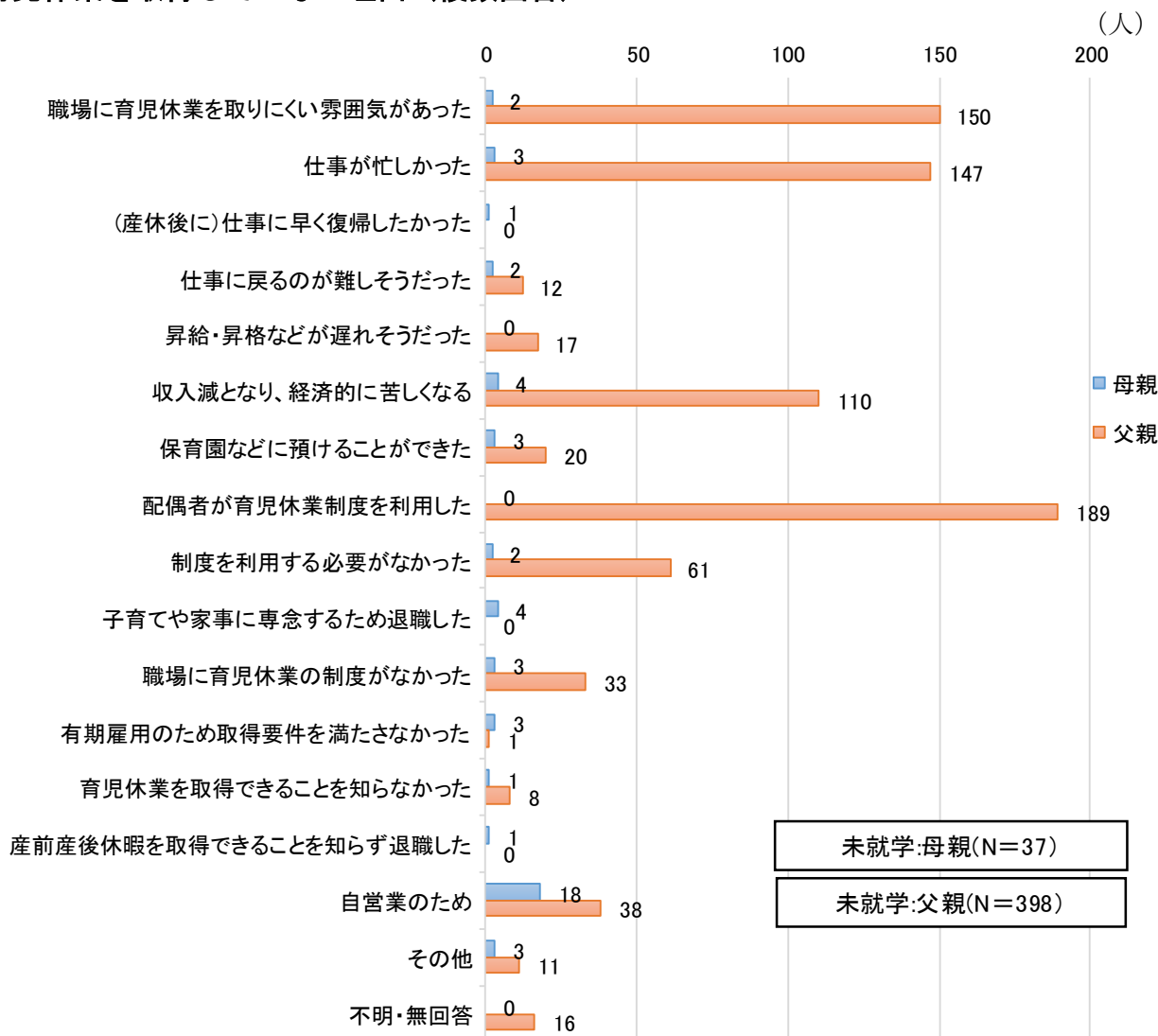
1 1 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

問 2 4 育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」が 73.4%と最も多くなっています。また、父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が 77.7%で最も多く、その理由は、「配偶者が育児休業制度を利用した」が最も多くなっています。

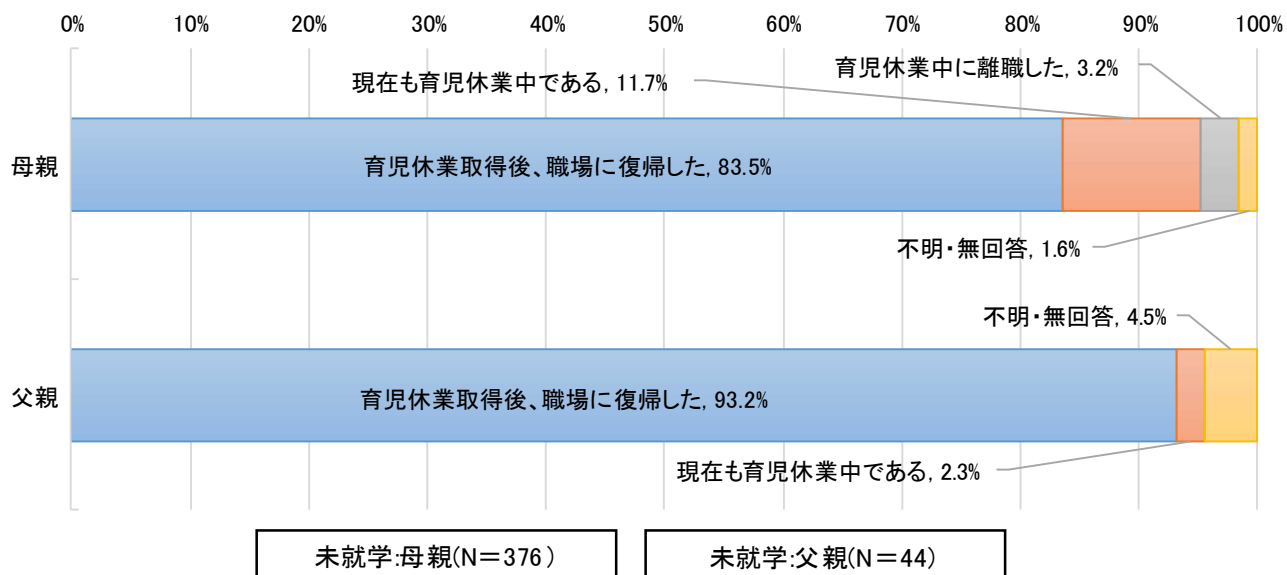


育児休業を取得していない理由（複数回答）

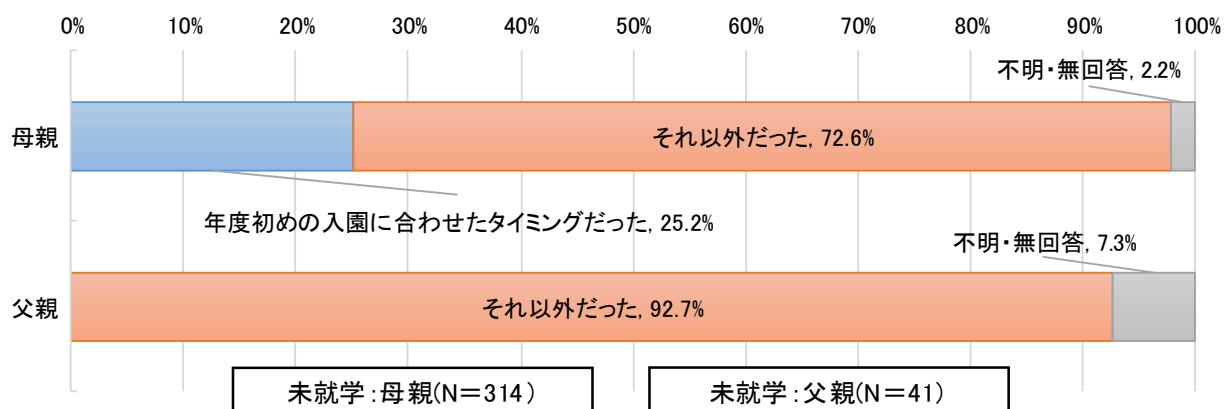


問 2 4-1 育児休業取得後の職場復帰状況

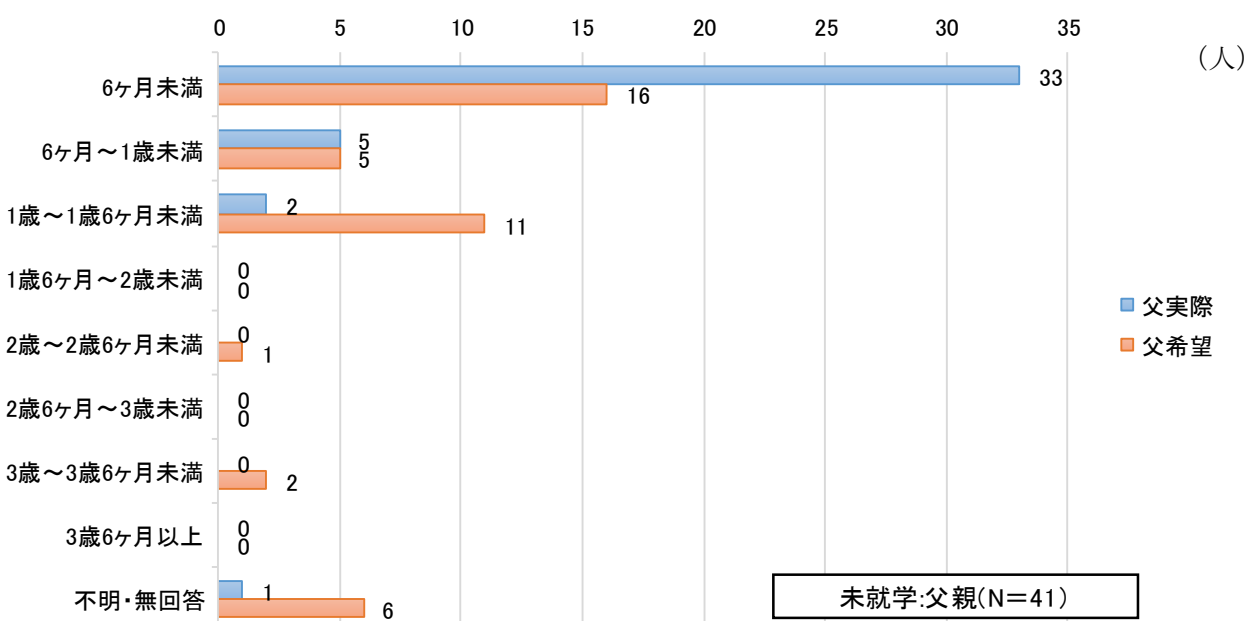
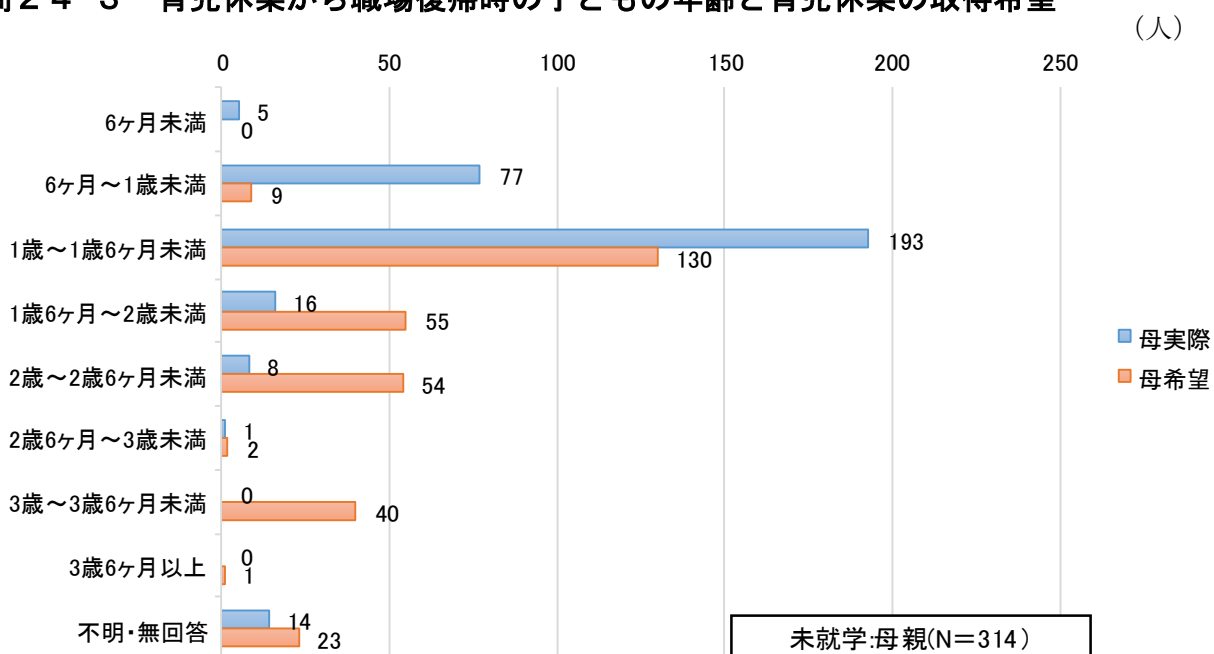
育児休業取得後の職場復帰状況については、母親、父親ともに、「育児休業後、職場に復帰した」が最も多くなっています。



問 2 4-2 育児休業から職場復帰のタイミング



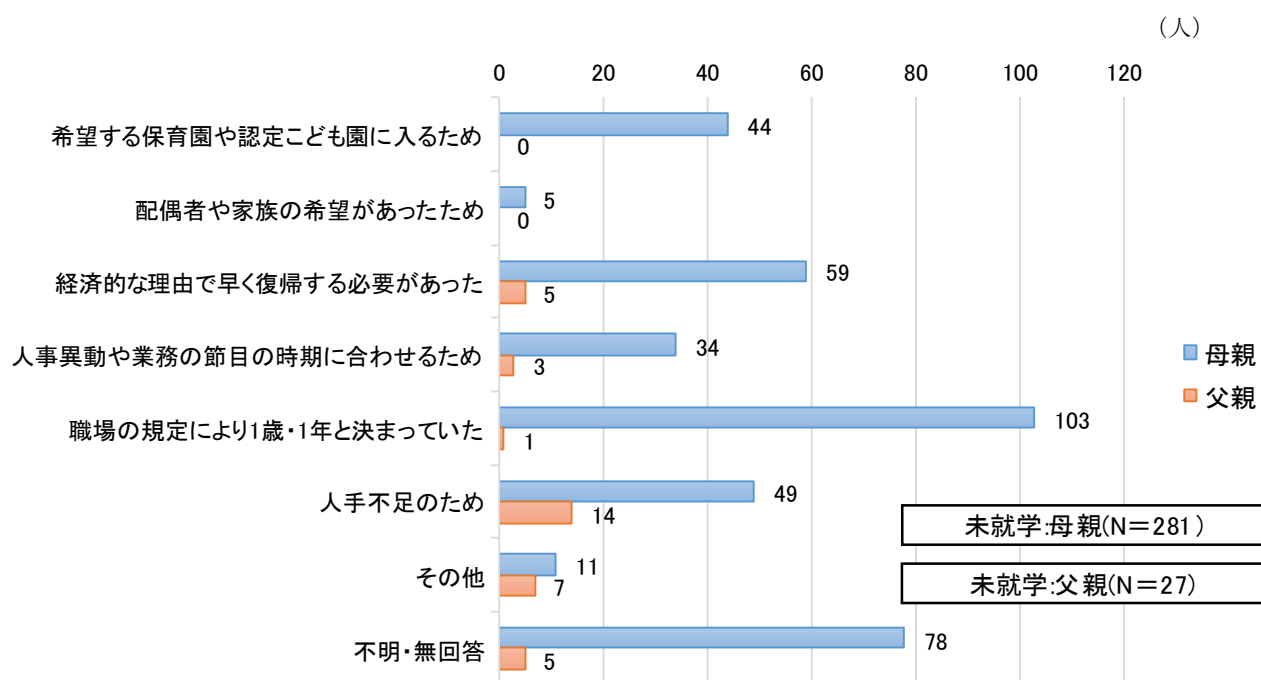
問 2 4-3 育児休業から職場復帰時の子どもの年齢と育児休業の取得希望



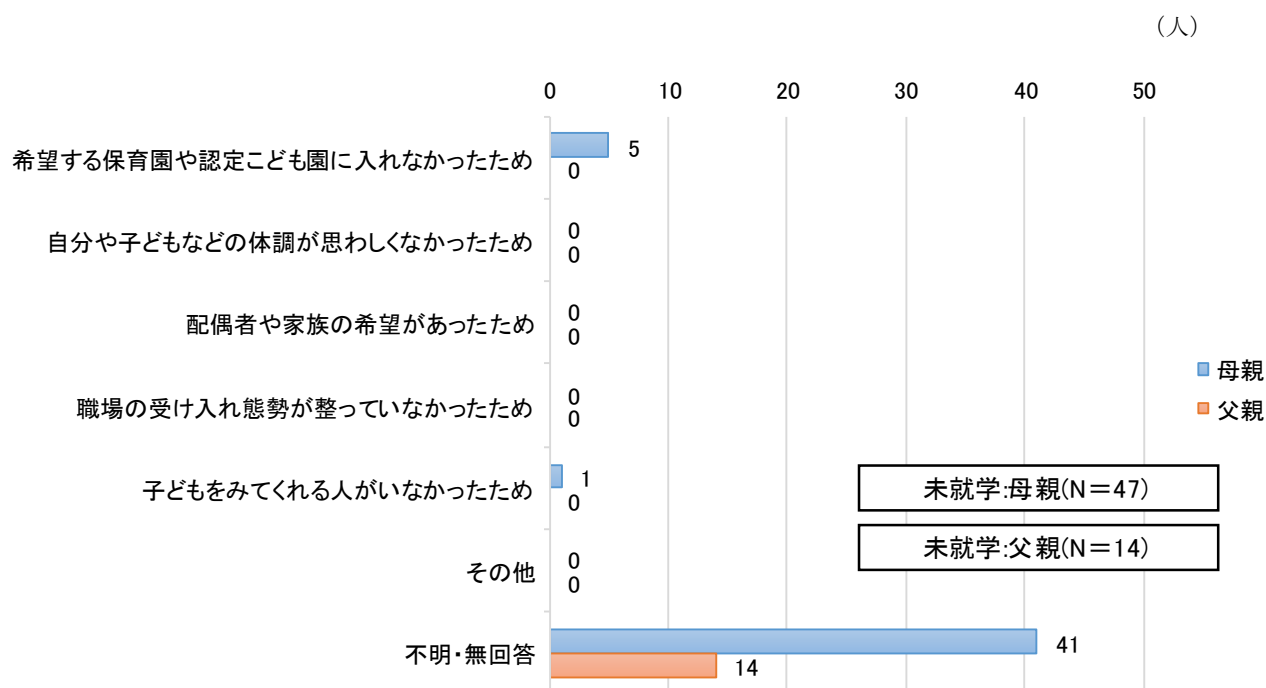
問 2 4-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答）

母親の職場復帰の時期については、希望より早く復帰したケースが多く、希望と時期が異なる理由については、「職場の規定により1歳・1年と決まっていた」、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が多くなっています。「その他」の内容では、「自営業のため」、「職場の雰囲気を取りづらい」などがありました。

（１）「希望」より早く復帰した方（複数回答）



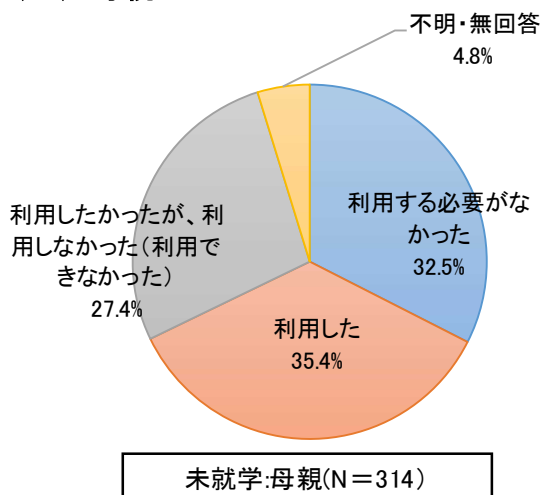
（２）「希望」より遅く復帰した方（複数回答）



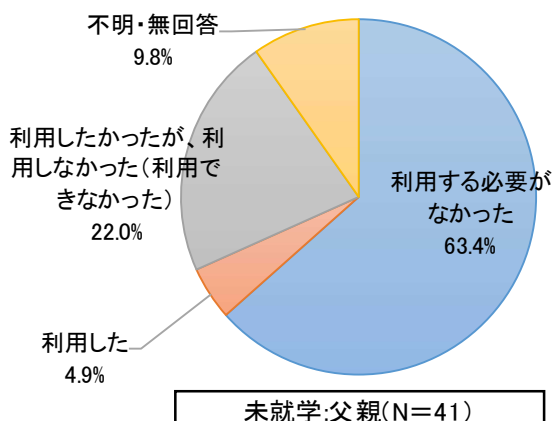
問 2 4-5 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

短時間勤務制度の利用状況については、母親については、「利用した」が 35.4%となっています。また、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 27.4%となっています。父親については「利用する必要がなかった」63.4%でした。

(1) 母親

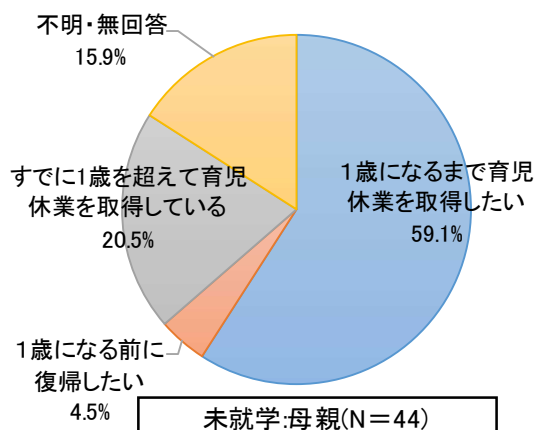


(2) 父親

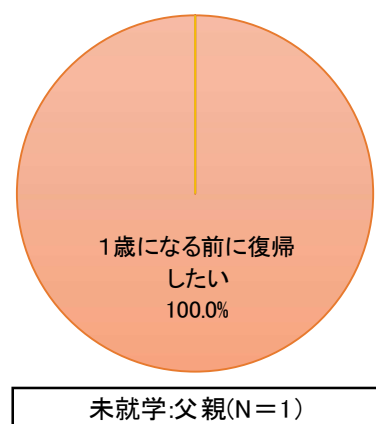


問 2 4-6 子どもが1歳になったときに預けるなど、必ず利用できる事業があった場合の職場復帰希望

(1) 母親



(2) 父親

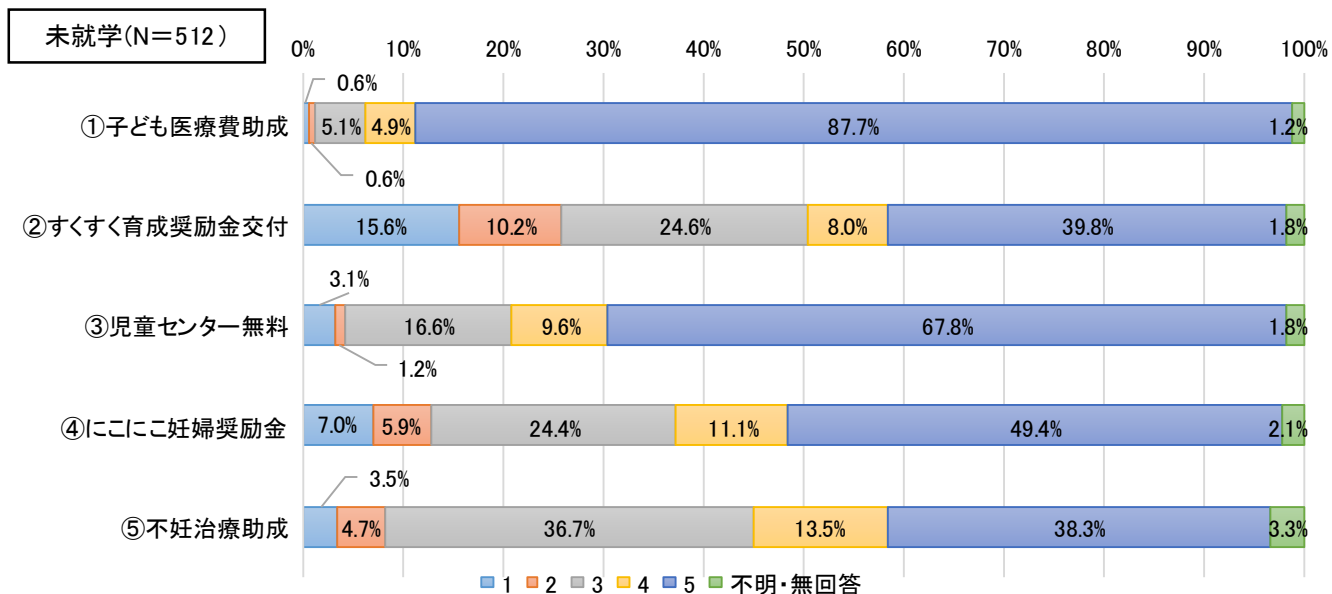


1 2 子育て環境及び支援

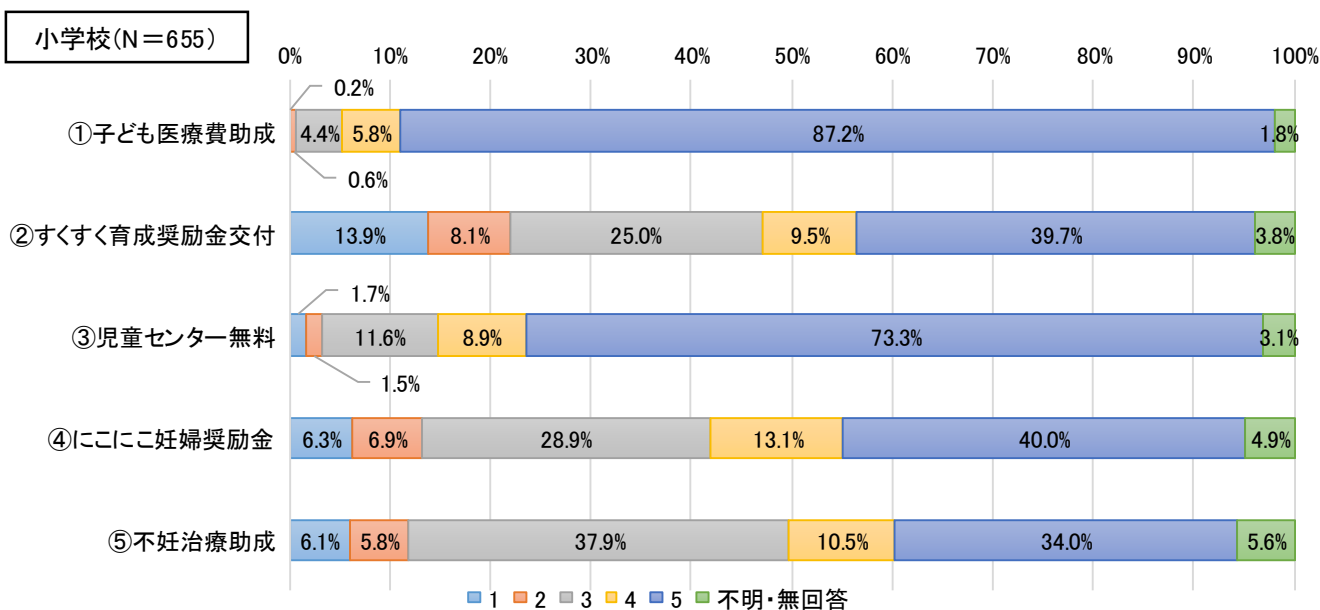
問 2 5 子育ての環境や支援への満足度【小学生用は問 1 0-1】

勝山市の子育て環境や支援である、①子ども医療費助成、②すくすく育成奨励金、③児童センターの利用が無料、④にこにこ妊婦奨励金、⑤不妊治療助成の満足度について、満足度の高低を「1（満足度が低い）」～「5（満足度が高い）」の5段階で聞きました。

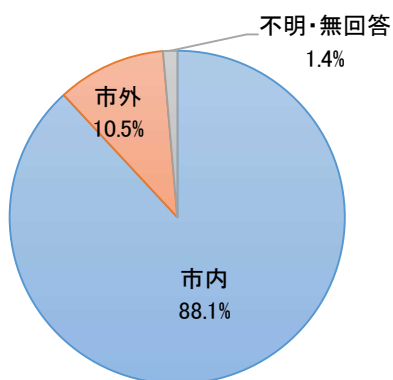
その結果、未就学、小学生ともに「①子ども医療費助成」と「③児童センター利用料無料」について「5（高）」が最も多くなっています。特に「①子ども医療費助成」の満足度が高かったのは、令和2年9月から対象を18歳までに拡充したためと考えられます。



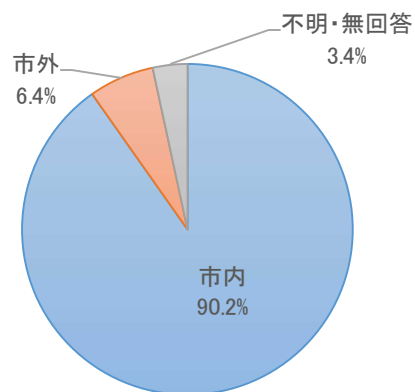
満足度低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度高い、右端は不明・無回答



問 2 6 子どものかかりつけ医【小学生用は問 1 6】



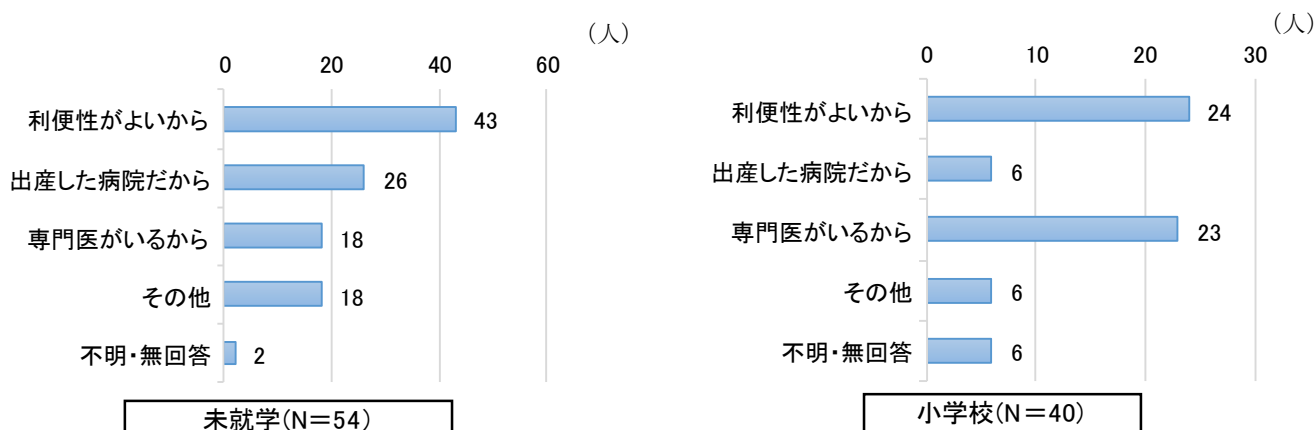
未就学(N=512)



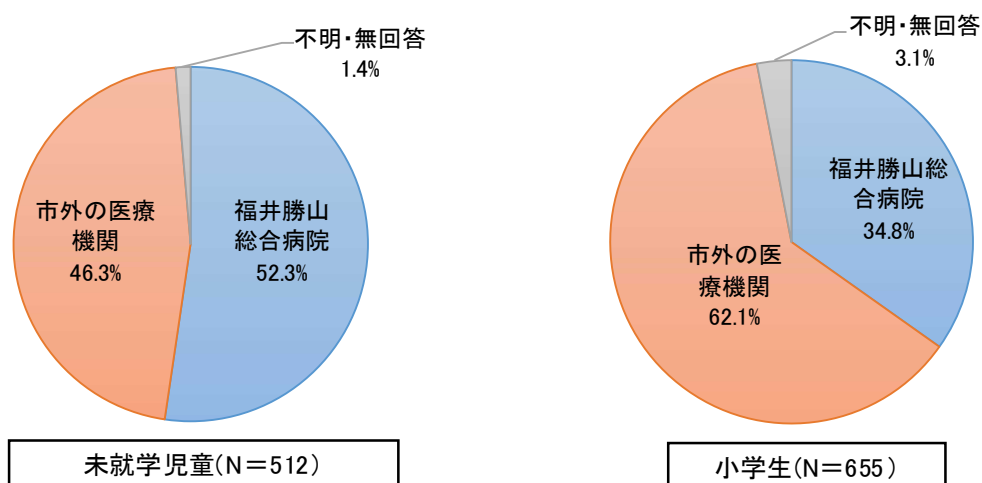
小学校(N=655)

問 2 6-1 子どものかかりつけ医が市外の理由（複数回答）【小学生用は問 1 6-1】

市外のその他の理由としては「時間外対応などの環境・設備が整っている」、「市内には小児科の選択が少ない」などでした。

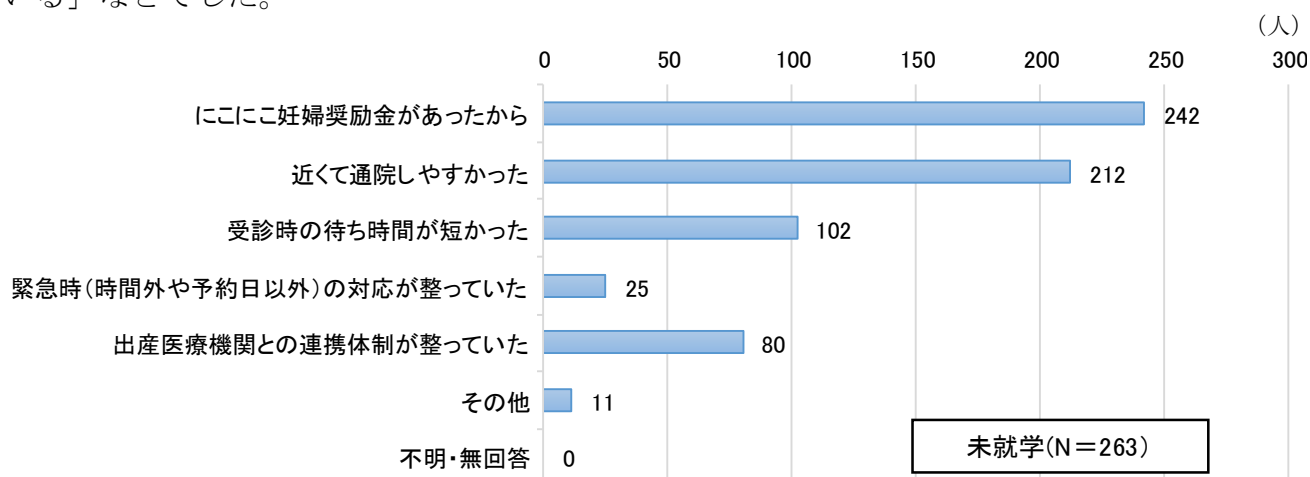


問 2 7 定期の妊婦健康診査の受診機関【小学生用は問 1 7】

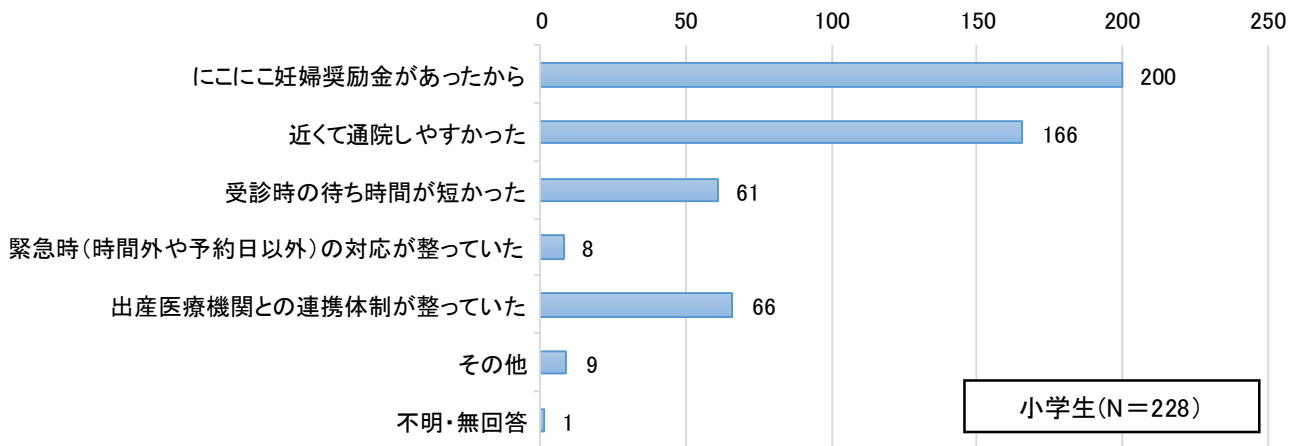


問 2 7-1 定期の妊婦健康診断を市内の病院にした理由（複数回答）【小学生は問 1 7-1】

福井勝山総合病院にした理由は未就学、小学生ともに「にこにこ妊婦奨励金があったから」が最も多くなっています。その他の理由としては「信頼できる医師がいる」「女性の医師がいる」などでした。



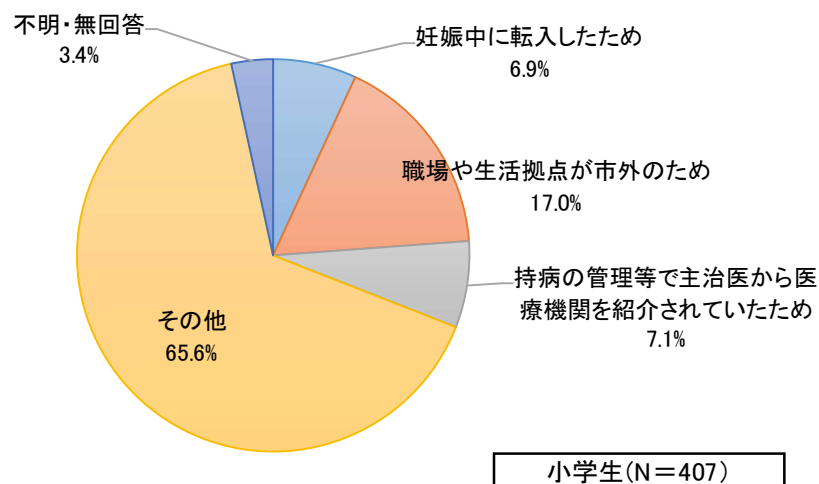
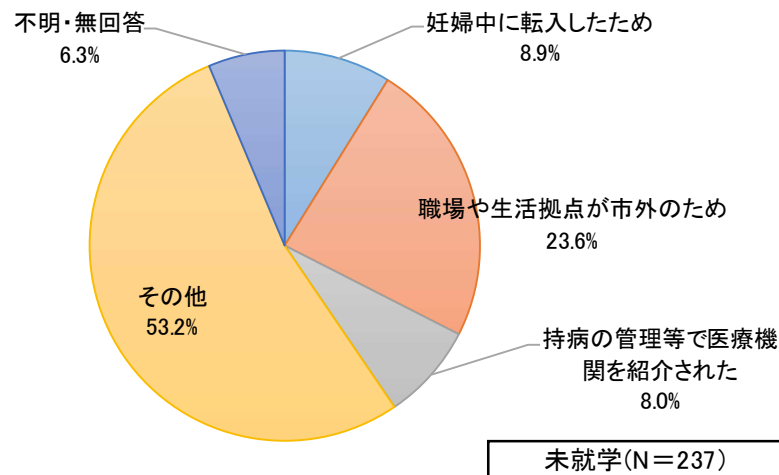
(人)



問 2 7-2 定期の妊婦健康診断を市外の病院にした理由(複数回答)【小学生は問 1 7-2】

市外の理由は「その他」以外では「職場や生活拠点が市外のため」が多くなっています。

「その他」の理由として未就学では「健診から出産まで同じ病院がよい」「土曜や時間外の診察があった」「市外に住んでいたため」などとなっています。また、小学生では「上の子と同じ病院であった」「緊急時の対応が不安であったから」「設備の整った病院であったため」「実家に近かった」「不妊治療で通院していた」「土曜日の受診ができる」などでした。

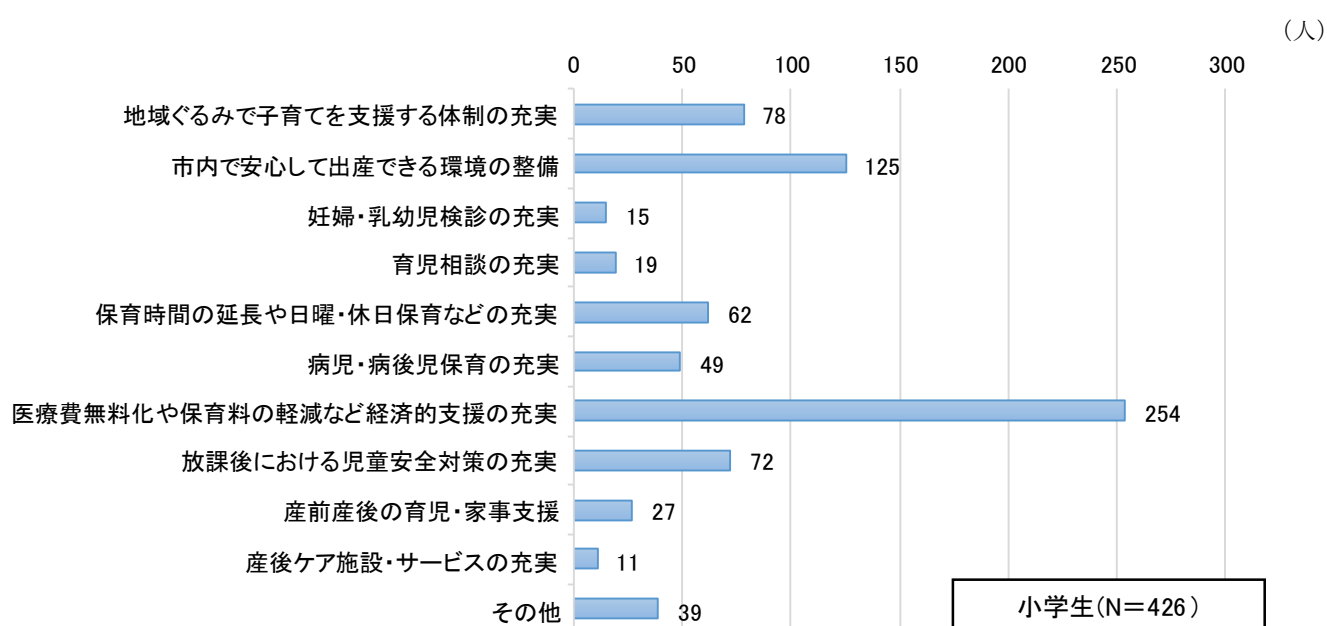
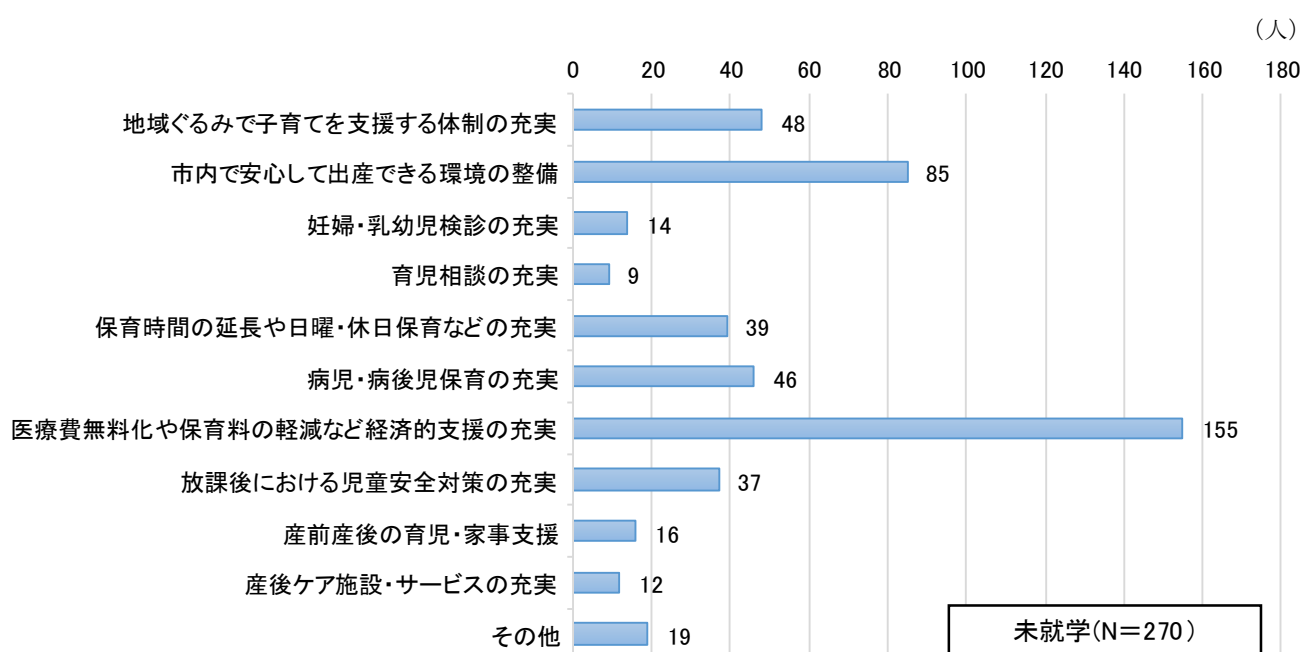


問28 安心して子どもを産み育てるために、今後力を入れるべき施策（2つまで回答）【小学生用は問10-1】

今後力を入れるべき点については、未就学、小学生ともに「医療費無料化や保育料の軽減など経済的支援の充実」が最も多く、次いで「市内で安心して出産できる環境整備」となっています。

「その他」の理由として未就学では「小児科の充実」、小学生では「経済的支援」「職場環境の改善」などでした。

なお、回答については、「不明・無回答（3つ以上の選択肢を選んでいるものなど）」を除いています。



事由記載意見のまとめ

1 保育

一時預かり	職員不足で預けられない場合、病院受診等の預かりなど複数箇所での対応及び充実	3
休日保育	年末年始や日曜、休日、夕方など時間外、条件緩和、対応箇所の増加	7
教育	幼稚園での教育と同様のことが受けられるか不安	1
周囲のサポート	子育て支援センターには育児中大変お世話になりました	1
職員	朝の迎え入れや障がい、特性のある子の対応するための先生の増加	2
	子どもが元気に育っているので感謝の証があればいいと思う	1
制度	開業届でなくフリーランスにも対応した申請ができるようにしてほしい	1
	希望する園に入園できるようにしてほしい	1
	持ち物準備の負担減とペーパーレス化	1
	学童保育時間の延長や長期休業期間中の昼食の提供等、学童保育での支援充実	1
	平日の参観は参加しにくい	1
	公立子ども園があれば良い	1
	コロナ前のような保育環境に戻してほしい	1
	利用時間設定（8時開始、19時までの延長）	3
	一時預かり利用料金の減額	1
	保育園では先生方がいつも温かくみてくださり感謝しています	1
	こども園で希望者が園バスを利用できるサービスがあるといい	1
臨時対応	災害時に臨時で保育できる体制整備	1
土曜保育	預かり条件の緩和と給食などサービスの充実により利用しやすい体制	6
病児保育	病児保育施設を増やしてほしい	5
	病児保育が預けやすくなると良い（人数枠・時間帯・無料化）	6
	分かりやすい情報提供が必要	1
	病児保育は必要、助かっている	2
その他	病状が軽い場合でも早退させられることが多く辛い	1

2 小中学校

学校生活環境	発達障害のある子への生徒、保護者等、情報共有と理解による学校生活環境づくり	1
給食	温かい給食を出してほしい	1
教育環境	統合した時いじめにあわないか心配 相談体制の充実	2
	子どもの個性を生かした教育、学習サポートの充実 教員数の確保	5
	高校の隣に中学校建設反対 保護者の意見に耳を傾けておらず不満	1
	先生方がとても暖かく丁寧な支援に感謝している	1
経済的支援	第3子以降の給食費やバス通学のバス代の無償化	1
周囲のサポート	PTAや地区子供会、体協等子供世帯にのみ役割が求められ不公平感、負担がある	1
職員	小学校の先生に不安はなく、今後も平等な対応を希望する	1
中学校再編	地下道や生徒数の増加、部活、送迎など併設に不安がある	10
	中学校が高校の併設反対、保護者や市民の意見を聞いてほしい	7
	中学、高校ともに市内で十分な教育が受けられると良い	1
	登校が不便となり福井への流出により若者が減る	1
振替休日	子どもだけ平日休みになる負担になるため振替休日をなくしてほしい	1
その他	放課後の過ごし方が心配	1

3 児童センター

給食	長期休暇時の利用時に昼食が提供されることを希望する	2
周囲のサポート	預かっていただき感謝します	2
	家族全員仕事をしているため大変助かっている	1
職員	職員により対応が違う、児童を尊重し優しさを感じるホールを望む	6
	待遇改善し職員の確保、質の向上につなげてほしい	2
制度	利用時間を延長してほしい	3
利用環境	運動できる時間づくりを希望	2
	過ごし方の見直しを行ってほしい	2
	制限なく児童センターが利用できる環境を希望	2
	利用制限がないのはありがたい	1

4 子育て支援

過剰支援	預かる環境を整備しすぎている、対象者により自己負担を求めればよい	2
支援体制	産前産後、不妊治療に対する支援の充実	1
	勝山市は子育てに関する支援が多く子育てしやすい	8
	妊婦から子どもまで便利に利用できる支援を体制作ってほしい	2
	第3子以降に限らず長期的にこどもも平等の支援を希望	4
	発達障がい児が大人になるまで継続的な支援・サービスが受けれるよう充実させてほしい	1
	子育て支援の対象をすべての子に変更してほしい	2
周囲のサポート	応援隊をいつでも利用できるよう人員を増や体制を充実してほしい	8
	サポートしてくれる人が周りにいないと産めない	1
	父親が子育てに協力できる環境を作る支援、教育	1
	介護負担を減らす二世帯サポート補助や子育て世代の共同サポート住居作りなど協力しあえる環境があると良い	1
	子の習い事、家族の時間、自分の時間の確保など3人も子どもを作るのは無理、時間がない	1
	気軽に相談できる場所の充実	1
	夜の時間に説明会がある場合等センターの利用時間延長などであると良い	1
	市が企業と連携し子どもの急な休みに親が対応できる仕組みづくり	1
	未就学児の地域への参画方法が少ない	1
	子育てするひとり親のコミュニティの場があると良い	1
助成	子育てにお金がかかるので節目事に補助があるとよい	1
	市民への情報提供、手続の簡素化により利用しやすくしてほしい	1
	学費免除対象外や所得で児童手当の減額等不公平	1
	幼少期の支援ありがたいが大学進学を見越した支援体制の検討を希望	1
	色々な助成で助かっているので今後も安定した助成が継続されると良い	1
職員	こども支援係の窓口や電話対応を改善し相談しやすい対応を希望する	1
食事の提供	子どもの長期休暇時の昼食サービス	1
職場環境	出産・育児をする職員に対する勝山市の事業所の理解	1

5 医療

医療機関の充実	時間外・休日診療、小児科医確保を希望	61
	産婦人科を増やして欲しい	2
	妊娠から出産まで市内で一貫して行えるようにしてほしい	10
	勝山病院小児科の診療時間延長、時間外対応、機器整備	5
	産婦人科女医の増員を希望	1
	小児科、夜間の受診などの情報提供の充実	1

6 公園・遊び場

イベント	子供向けイベントの開催	2
交友環境	少人数の小学校同志の交流の場を増やしてほしい	2
施設	0～1歳児が遊べる場所希望	1
	天候に関係なく親子で遊べる広くて安全な場所があると良い	34
	曜日関係なく無料で室内で遊べる施設が欲しい	2
	放課後や休日に遊べる場所が欲しい	3
	空いた体育館等活用し遊び場にならないか	2
	公園の遊具の整備をしてほしい	6
	市内に屋内型の遊べる施設が欲しい	11
	子どもが集まれる場所や施設があると良い	4
	冬季スポーツ時の防寒着やスキーのレンタルがあると良い	1

7 安全安心

周囲のサポート	村部地域の見守り隊など地域活動参加への負担	1
設備	通学路に街灯を増やしてほしい	1
環境	SNSの使用により犯罪に巻き込まれないように親子で一緒に考える環境づくり	1
通学路	通学路の安全性の確保	2
老朽建物	老朽建物が通学路にあり危険	1

8 その他

アンケート	アンケートの活用はどのようにされるかわからない	1
	アンケートの回答をオンラインでできると良い	2
	アンケートが多い時間がかかる、設問の工夫が必要	4
	子育ての基本は家庭だと思う	1
	市がきちんと病児保育を理解してアンケートすべき	1
給食	学童、高校すべて給食にしてほしい	2
	給食費の無償化や自給給食など他の市町に差をつける	1
	給食費の無償化	7
教育環境	教育環境が不安	1
	性犯罪に巻き込まれないような教育をして頂きたいです	1
	市内と市外とで同等の教育レベルの教育が受けれると良い	1
	大人の働き方や収入に関係なく教育環境の整備を期待する	1
	地域愛、道徳心、探求心を育む教育および先進的教育の推進	1
	教員が不足している、教員の負担軽減を考える必要あり	1
経済的支援	にこにこ妊婦奨励金の対象を拡げてほしい	2
	何でも無償化してしまうとありがたみがなくなる	1
	収入や家族構成、子供の数や年齢に関係なく経済的支援を希望	35
	高校生までの医療費無料化 大学や専門学校、車校への助成	2
	0～2歳児の保育料の無料化	1
	住宅の費用、介護の費用とも連動した子育て支援をしてほしい	1
	大学生までの教育費、交通費の助成と児童センターでの高学年の育成環境を希望	1
	大学の無償化	3
施設	近くに何も無い。遊べる所、買い物、病院など	2
	森の幼稚園ができてほしい	1
	子ども会館を作るなら、木育の施設にしてほしい	1
	子連れで利用しやすい施設、お店が少ない、情報入手ツールがあると良い	1
	学生が学習できる図書館が近くにあると良い	1
	運動やスポーツをする場を増やしてほしい	1
	小さな子供も食べられ金銭的に手軽に行ける店が欲しい	1
	各施設に授乳室やおむつ交換スペースの確保	1
	子供向けの本を増やし分かりやすくしてほしい	1
	こども課は教育会館にあるよりすこやかにある方が利用しやすかった	1
	子ども達の居場所がたくさんある住みたいと思う街にしてほしい	1

市の取組み	市の取り組みが不明で市民の声が届いているのか心配であるため明確化してほしい	1
	税金は他の施設に使うなど使い方を考えてほしい	1
	登校時間に間に合うよう除雪してほしい	1
	今後も良い施策をお願いします	1
	勝山市で就業するための資格取得できるコースを勝高に作ってほしい	1
	幼稚園の閉園や中学校の統合など利用する子の保護者の意見を聞く体制がない	1
	市内の医療機関一覧をできる範囲で詳細に作成してほしい	1
職員	相談窓口の職員の対応改善	2
	支援事業にかかわる職員の賃金拡充及び負担場所へのバックアップをしてほしい	1
仕事と子育て	土日祝休みで月収の安定した職がない	1
	こどもが病気の時の休みやすい職場環境	3
	子育てと仕事の両立に対して理解、制度が欲しい	7
	企業側に父親の育休取得の要望をしてほしい	3
	市や県が率先して残業ゼロを厳守する	2
	子育てと仕事を両立できる環境作り、働き方改革の先駆者に勝山がなってほしい	2
	障害児を持つ親が安心して働ける環境、支援を希望する	1
助成・制度	子育てのための離職後、再就職が難しい	1
	タクシーバスの補助券の利用期間が3歳までだと助かる	1
	スキー用具購入クーポンの配布を希望	1
	母乳外来の助成期間を延長してほしい	1
	にこにこ妊婦奨励金の拡充	2
	産後1か月健診受診券の市外利用、妊産婦医療費の継続	1
	育児休暇を延長しても手当てが欲しい	1
	将来子供たちが借金を背負うことになる程の補助金は希望しない	1
	慣らし保育中でも子育て支援センターが利用したい	1
	0～1才頃：産後ケア施設（出産後1ヶ月程度入れる所）	1
	不妊治療への支援	1
	産後ケア利用料金が低い	1
	乳房ケアの期間を期限なしにしてほしい	1
	健診の時間が昼寝時間と重ならないようにしてほしい	1
	医療費が無料で安心してすぐに受診できありがたい	1
	幼稚園がなくなり残念	1
	支援センターを毎週土曜日開催してほしい	1
交通手段	家族が不在だった時の為に、陣痛タクシーがあるといい	1
	スクールバスの整備	3
子育て環境	より良い環境づくりがなされ感謝している	1
	環境としてはよいと思うが子ども人口の増加は期待できない	1
手続き	児童手当の口座を子供の口座にできるようにしてほしい	1
	健診、母子手帳交付その他手続きが平日しかできないので大変である	1
支援体制	相談窓口の改善、充実、オンライン化、アプリを使う	6
	仕事を調整することが大変なので健診のお知らせは早め早めの対応をしてほしい	1
相談・アドバイ ス	勝山市ならではのサービスを作り「勝山市っていいね」と言われたいです	1
	子のための投資を大切に市と企業でタイアップし有効な活用に取り組んでほしい	1
	小学校ですぐ使わなくなる教材はレンタル化し金銭的負担の軽減をしてほしい	1
	子育て支援は充実しているがそれでも出生数が伸びないのは何らかの策が必要	1
	勝山市には出産育児に関する補助が多いが県外市外の人には知られていない	1
	発達障害児の成長段階に応じたサポートをしてほしい	2
交流の場	障がいがある人の親同士が話せたりできる場	1
情報発信	イベント情報を皆に伝わるように発信してほしい	1
	保育園に対する要望等を話す機会がない、保護者の意見を聞いてほしい	1
	空き中学校を各地域の災害拠点として使うと良いと思う	1
	子どもに係る必要物品が多く中古の貸し借りなどできると助かる	2
	新中学校の説明会が今後あるが、定期的に回数を増やすと安心ができる	1
	子どもをたくさん産みたい、育ててあげたいと思えるような市にしたい	1

支援体制	正しい知識が得られるよう専門職による教育の継続を希望する	1
	緊急時の学校の対応が遅く、改善しない	1
	長期休暇中の教育イベントを増やしてほしい	1
	学校でのカウンセラーの面談回数を増やしてほしい	1
	子育ての相談などのPRが足りないと思う	1
	産後に家事支援を依頼して少し心が楽になった	1
地域環境	健全な友達関係・育成できる環境	1
	転入者には地域の伝統活動への参加が難しい	2
	市でも体操教室などいろいろな習い事や教室の実施と周知	5
	保護者同士が交流、協力し合う機会を増やし行政とともに活動することが大切	1
	スポ少の時間が遅いため入団できず開始時間を早めてほしい	1
	父親がいなくて男風呂に一人で行かせられないので困る	1
保育士の処遇	保育士の待遇改善	3
イベント	イベントを企画とあわせて子育て相談もできることを希望する	1
満足	充分すぎる	1
	子育て支援センターには大変お世話になり感謝している	3
	教育制度の充実ありがたい	1
	保育料の無償化や給付金など経済面でとても助かっています	3
	都会にはないきめ細やかなサポートにとっても感謝しています	1
	周りの市町村と比べて、とても教育・保育環境が充実している	3
	勝山は子育てしやすい町	1